

令和 6 年度 第 2 回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

日時：2025 年 3 月 24 日（月）14:00～16:00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2 階

次 第

1. 開会
2. 報告
 - 1) 前回議事要旨について
 - 2) 令和 6 年度取組内容について
3. 議事
 - 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について
4. 閉会

○配布資料

- ・ 前回議事要旨 資料 1
- ・ 令和 6 年度取組内容 資料 2
- ・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案） 資料 3
- ・ 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱 参考資料 1
- ・ アンケート集計結果 参考資料 2
- ・ 令和 5 年度報告書（A4）及び概要版

第 1 回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会
議事要旨

日時：令和 6 年 10 月 02 日（木）14:00～16:00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2 階

1. 開会

2. 説明 1) 第 1 回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会 資料説明

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球バス	- 事例にある出雲市について教えて頂きたい。 - ウォーカブルを実現するには沖縄の暑さ対策も考えなければいけない。	(事務局) - 道路空間を活用した一例として記載している。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。
沖縄 総合事務局 開発建設部 道路建設課	- ウォーカブル推進計画策定に向けてはターゲットについてもしっかりと考えて頂きたい。 - 地域の人がどう利用し、どう移動しているか等についてビッグデータだけでなく、詳細に把握して取り組みに繋げることが重要である。	(事務局) ご指摘について、地域にあった形で検討していきたい。
沖縄 総合事務局 開発建設部 南部国道 事務所	- 自転車ネットワークについても検討する必要があるのではないか。エリアのみならず、全体を考える必要がある。 - 防災についてどのような検討を考えているのか。	(事務局) - ネットワークの検討も重要と考えている。基本構想においても位置付けており、引き続き検討していきたい。 市、県、国で実施される整備検討委員会等、意見交換しながら防災の考え方を整理していきたい。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市 観光物産協会	ウォークアブルエリア推進計画を整理するにあたり、どういったイメージを持たれているのか教えて頂きたい。	(事務局) ウォークアブル推進計画について、バスを中心とした 3 つの通り(ゲート通り、国道 330 号、パークアベニュー)と、それに囲まれたエリアにおいて、歩いて楽しい空間を実現するための施策・理念・目標等を位置付けていきたいと考えている。
コザパルミラ 通り会	- 沖縄アリーナから一番街商店街までの導線が分かりづらい状況である。まちの賑わいは行政側では対応難しいのは理解できるため、ハード・ソフト両面について連携しながら取組を行っていく必要がある。 - 日中に歩いてもらうためには、暑さ対策が必要である。 - 沖縄県民への自転車の乗り方についても周知が必要である。	(事務局) - まちのコンテンツについては行政側では対応ができないため、今後も地域と連携しながら取り組んでいきたい。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。 - ご意見を参考に検討を進めていきたい。
胡屋 大通り会	社会実験について詳細な情報を教えて頂きたい。	(事務局) 【夜間バス】 - 夜間バスは、11 月の 9 日(土)～12 月 29 日(日)で運行予定。 - 時間は、夜の 10 時半と 11 時。 - 車両は大型バス 50 名程度。 - 料金は無料だが、利用条件にアンケート記入をお願いする予定。 【シェアサイクリング】 - ポート 7 ヶ所設置。 - 沖縄アリーナ、球場前のコザ運動公園 2 ヶ所、パルミラ通り、胡屋十字路 BC コザ、沖縄市役所、銀天街。 - アプリをダウンロードすることで利用可能。

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
池田委員長	▪ 沖縄市外の方は利用可能なのか。今後の周知方法も色々あると思うので、工夫頂きたい。	(事務局) ▪ 誰でも利用可能となっている。ご意見参考に進めていきたい。
池田委員長	▪ デザイン検討部会と社会実験との関係について教えて頂きたい。 ▪ 2月の委員会において、検討内容を共有いただきたい。	(事務局) ▪ デザイン部会では、まちの文化・歴史を踏まえ沖縄市らしいデザインを考える場のような機能として検討していくことを考えている。社会実験ではバスを想定してデータ取りをしたいと考えており、それぞれ進めていく予定である。 ▪ 承知した。
胡屋ゲート 通り	▪ ウォークブルについて、図を活用するなどして、もう少しイメージが分かるような資料構成にしていきたい。	(事務局) ▪ 承知した。
池田委員長	▪ ウォークブルの整理にあたって、沖縄市と同じ条件の事例があるとよいのではないか。	(事務局) ▪ 承知した。
沖縄 総合事務局 開発建設部 南部国道 事務所	▪ 道路占用等による賑わい創出についてはほこみち制度といったものもあるため、様々な制度を活用して取り組みを進めて頂きたい。	

令和6年度取組内容

令和7年3月24日（月）
沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

- 沖縄市では、交通拠点やバス路線網の議論を行っている国や県と連携しながら、胡屋・中央地区バスタと連携した周辺まちづくりについて検討を行った。

■胡屋地区交通結節点整備検討委員会・公共交通活性化推進協議会との連携・役割分担

沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

第1回：R6.10
第2回：R7.3

【主な役割】

- 交通拠点と連携した周辺まちづくりの検討推進

【事務局】

- 沖縄市

下部組織：デザイン検討部会 等



連携

連携

胡屋地区交通結節点整備検討委員会

第1回：R6.10 第2回：R7.3

【主な役割】

- 全体取りまとめ・総括
- 各検討会での議論を踏まえた交通拠点に導入すべき具体機能の検討

【事務局】

- 沖縄市、沖縄県、沖縄総局、南部国道事務所

連携

沖縄県公共交通活性化推進協議会

第46回：R6.9 第47回：R7.3

沖縄県地域公共交通協議会

第3回：R7.1

【主な役割】

- 基幹バスシステムの導入、バスレーン
- 沖縄県地域公共交通計画の作成・実施

【事務局】

- 沖縄県

- 令和6年度では、基本構想で位置付けた**施策の実現**に向けた検討及び機運醸成を図りながら、**沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）の検討**を行った。

- 1) 機運醸成及び合意形成
- 2) 基本構想の実現に向けた方面別取組の検討
- 3) ウォーカブルエリアの実現に向けた検討
- 4) 連携施策の検討
- 5) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）の作成

1) 機運醸成及び合意形成

- 令和6年度は、居心地のいいまちづくりと広場やカフェ空間との関係について知見を持つ飯田美樹氏を講師として招き講演会を実施。
- 講演会での知見は、広場空間の必要性等の整理にも活用。

講演会内容

令和4年度 講師：岡崎正信氏(株オガール代表取締役)

参加者：101名(※地域住民、商店街関係者等が参加)

- 地域住民等を対象に、バスターミナル整備の概要の説明と、地域の活性化を踏まえバスターミナル整備に取り組んだ専門家からその事例等について講演



令和5年度 講師：羽藤英二氏(東京大学教授)

参加者：60名(※地域住民、商店街関係者等が参加)

- 地域の活性化の取組、交通事業者、地域(商工会・住民)、行政との連携について講演。アーバンデザインセンター等、今後の取り組みに向けて提言



令和6年度 講師：飯田美樹氏(ルミエール代表)

参加者：44名(※地域住民(子育て世代)等が参加)

- 居心地がいい街にするための7つのルールと題して、居心地が良く、誰もが楽しめるまちづくりについて講演



1)機運醸成及び合意形成

②まちあるき

参加人数:18名(男性7名、女性11名)

- 3班に分かれてまち歩きを実施



令和6年度の取組内容

○ワークショップで得られた交通拠点まちづくりに対する意見

③ワークショップ

参加人数：18名(男性7名、女性11名)

- 3班に分かれて、居心地が良いまちについて議論し発表



1班	2班	3班
【ゲート通り】 (高校生的に)遊ぶ目的地となくにくい - 夜の印象が強く、瓶のかけら等も休憩スペース(テシオ、ハイビスカスベンチ)	【ゲート通り】 - ゴミやカン等のゴミが多い - 綺麗なベンチが必要 夜、アメリカ人の街のイメージ	【ゲート通り】 - 夜に輝く比重が高い - カラフル、鮮やか - ゴミが多い
【商店街】 - シャッター通りで来る目的がない - 人が動いているところを眺める場所が必要	【商店街】 - ガラス張りテナント多いので歓迎感がある - 地元の人との交流出来る雰囲気	【商店街】 - カフェ、居酒屋、家族や人の多様性がある通り - 歩きやすくて良かった
【パークアベニュー】 - てるりん祭が今年で14回目 - スケボーのお店は閉まっている	【パークアベニュー】 - 花壇はいいが座れるスペースが必要 - 飲食店が少なく、滞在時間が短そう	【パークアベニュー】 - シャッターよりもガラス張り - 通り会で照明を設置している
【共通・全体】 - 車を持っていない子育て世代への配慮も必要 - ファミサポ(若年妊産婦、子育て世代の支援施設)以外の目的施設が周りにないため中々利用されないかもしれない - 目的が無くてゆっくりできる場所が必要 - 安いカフェ(100~200円)、自習スペースが欲しい	【共通・全体】 - 今の空気感は大事にしてほしい - コザのポテンシャルを引き出すバスターミナルであってほしい - つくりかえて残す - 子育て関連、就労、学習、行政の機能が欲しい - 沖縄市らしくちゃんがるー - アートデザインで歓迎する雰囲気を増やす	【共通・全体】 - 朝輝く街にしたい - バス停近くにカフェなど待つ場所が必要 - 何のお店かわからない店が多い - 夜のお店が多い - 朝の活気がほしい - 押しカフェ巡りしたい、おしゃれなカフェなど - シャッター街ならテンションが下がる

2)基本構想の実現に向けた方面別取組の検討

- 基本計画(案)の検討にあたり、基本構想で位置付けた方面別の取組案について、概算、補助活用、スケジュール、役割分担等より具体的な検討を行う。

■検討イメージ

基本構想 ①沖縄アリーナ方面



出典：沖縄市交通拠点整備基本構想

○スケジュール

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート
歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備	歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備	歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備	歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備
自転車等の走行空間整備	自転車等の走行空間整備	自転車等の走行空間整備	自転車等の走行空間整備
アクセス機能の向上	アクセス機能の向上	アクセス機能の向上	アクセス機能の向上
モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等	モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等	モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等	モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等
安心して暮らせる場所の創出	安心して暮らせる場所の創出	安心して暮らせる場所の創出	安心して暮らせる場所の創出
交通整理事業	交通整理事業	交通整理事業	交通整理事業
生活道路対策	生活道路対策	生活道路対策	生活道路対策

○補助メニュー

- まちなかウォーカブル推進事業 等

○取組事例



2) 基本構想の実現に向けた方面別取組の検討

- 基本計画(案)の検討にあたり、基本構想で位置付けた方面別の取組案について、概算、補助活用、スケジュール、役割分担等より具体的な検討を行う。

■検討イメージ

基本構想 ②沖縄こどもの国方面

② 沖縄こどもの国方面



出典：沖縄市交通拠点整備基本構想

○スケジュール

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出			
県外・海外からの観光客誘致	観光客の増加		
日本一ユニークな施設への整備拡充	県外・海外からの観光客誘致		
	沖縄こどもの国施設整備の推進		

○補助メニュー

- 都市公園・緑地など事業
- 特定防衛施設周辺整備交付金
- 沖縄振興特別推進市町村交付金
- 中心市街地活性化ソフト事業 等

○取組事例



- 基本計画(案)の検討にあたり、基本構想で位置付けた方面別の取組案について、概算、補助活用、スケジュール、役割分担等より具体的な検討を行う。

基本構想 ③一番街・八重島方面



出典:トリップショット市販版・映画コゼHP

2)基本構想の実現に向けた方面別取組の検討

- 基本計画(案)の検討にあたり、基本構想で位置付けた方面別の取組案について、概算、補助活用、スケジュール、役割分担等より具体的な検討を行う。

■検討イメージ

基本構想 ④沖縄市役所・コザ方面



出典:沖縄市交通拠点整備基本構想

○スケジュール

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート	歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ベンチ等の休息場所の整備	「まちの個性を生かしたにぎわいの創出」(まちの個性を生かしたにぎわいの創出)	
自転車等の走行空間整備	自転車専用レーン等の整備	自転車専用レーン等の整備(自転車専用レーン等の整備)	
アクセス機能の向上	駅前・中央地区バスターミナルの整備	駅前・中央地区バスターミナルの整備(駅前・中央地区バスターミナルの整備)	
誰もが楽しめる居心地いい環境の創出	誰もが楽しめる居心地いい環境の創出(誰もが楽しめる居心地いい環境の創出)	誰もが楽しめる居心地いい環境の創出(誰もが楽しめる居心地いい環境の創出)	
安心して暮らせる場所の創出	安心して暮らせる場所の創出(安心して暮らせる場所の創出)	安心して暮らせる場所の創出(安心して暮らせる場所の創出)	
生活環境対策	生活環境対策(生活環境対策)	生活環境対策(生活環境対策)	

○補助メニュー

- 社会資本整備総合交付金 等

○取組事例



出典:ENEOSホールディングス株主資料より

3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

- 基本構想では4方面別に回遊性向上の取組を位置付けを行ったが、中心市街地の回遊性向上も重要であることから、中心市街地を対象にウォーカブルエリアの検討を実施

○各通りの条件整理



中央パークアベニュー

沖縄市の中心市街地のメインストリートとして商業の中心地として成り立ってきた。全長452mの通りは、1985年の改修工事を経て、車道を一方通行にし、歩行者を優先とした歩道と景観を整備。白いカプセル型のアーケードが特徴。



コザゲート通り

米軍基地の出入り口であるゲートを起点とし、基地の門前町の表玄関にふさわしく、外国人向けの横文字看板を掲げる飲食店や衣料店などが並び、異国情緒溢れる景観で街歩きを楽しむことができる。



パルミラ通り

パークアベニューと一番街商店街をつなぐ100メートル程度の短い通り。古今のコザの情報を発信する施設が詰まっている。



○ウォーカブル空間の方針(案)

ウォーカブル空間の考え方①コザを感じる歩いて楽しい“通り”づくり

- チャンブル（いい意味でごちゃごちゃしている）まちなみ形成
⇒昔ながらの街並みと新しい街並みの融合
- 個性あふれる様々な店舗・施設の立地促進
⇒新たな機能導入やリノベーションの活性化に向けた仕組みづくり

ウォーカブル空間の考え方②まち個性あふれる歴史・文化の継承・発信

- エイサー、音楽、ダンス、バスケットボールの更なる活性化
- イベント等の更なる推進（参加しやすさ）
⇒様々なイベントの開催、イベント会場へのアクセス性の向上
- アメリカな雰囲気や異文化交流等の推進
- ヒストリートや亀甲墓の更なる周知・活用の推進

ウォーカブル空間の考え方③だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

- 官民連携による誰もが楽しめるスペース・場の創出
(こどもの遊び場、働き世代のためのコワーキングスペース、高齢者等が憩える居場所 等)
⇒空き施設等の積極的な活用

ウォーカブル空間の考え方④安全・安心でキレイな歩行空間の創出

- きれいで歩きやすい歩行者空間づくり
⇒まちぐるみ（まちに住む人、使う人等）による美化活動の推進
- 自治会等による防犯活動の推進

—ウォーカブル空間の方針(案)—
コザの個性あふれる歴史・文化を体感し、未来へ繋げる、
歩いて楽しい歩行者空間の創出
～コザを感じるウォーカブルなまちづくりの推進～

3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

令和5年度ワークショップ意見(参加者16名)

	1班(5名)	2班(3名)	3班(4名)	4班(4名)
主な意見	- バス利用者以外にも使いやすいウォーカブルな場所としての機能、駐車場からの新たな歩行ルート創出 - 防災機能やバリアフリー設計の意見、立ち止まるきっかけとなる壁画アートなどのアートモニュメント - コザの個性や各店舗の魅力を活かした通り全体の魅力づくり - 昔ながらの店と新たな店が融合する商店街の再生 - オープンテラス席の増設などにより賑やかな雰囲気 - の創出、生活機能がコンパクトに集約 等	- 小中高の修学旅行等、昼夜を問わず子供も大人も楽しめるにぎわいある商店街 - アメリカンな雰囲気と非日常感の演出 - ミュージックタウンでは音楽の歴史、ヒストリートではコザの歴史、両世代のエンターテインメント空間としての魅力創出 - 花と緑による歩行者中心の「人のための道」のPR - 治安がよくきれいなまちで、昼も夜も楽しめる独自性あふれるエリアの実現 等	- 観光協会では戦後の沖縄市の変遷や基地との共存、多文化共生などを学べるプログラムを提供 「ドル体験」など、海外のようなまちのイメージ - 様々な花が咲く美しい通りや、个性的で大人気の店舗が軒を連ねる - 各国の食事が楽しめるほか、旧沖縄らしい景観と新しいまちなみの融合 - わかりやすい案内表示や深夜まで運行するバス便の整備、治安がよくきれいなまち 等	- 若いオーナーへの商店街の歴史の共有 - イベントを継続すること - 店舗の魅力を引き出すこと 等
ウォーカブルなまちづくりの考え方	- バスターミナルを中心拠点として、魅力的な店や目的地があるエリアをウォーカブル空間とするべき - 電飾、植栽等によるまちなみの形成、モニュメントや店前のオープンテラス等があるにぎやかな通りづくり - 個々のお店の魅力を活かしつつ通りが一体となったまちづくり - 生活者、滞在者が安心して過ごせる公園、綺麗な公衆トイレ等やバスターミナル周辺の防災機能、バリアフリー等が必要	- コザに人を呼び込むことを目的に、修学旅行の誘致を積極的に受け入れるための特徴的なまち歩きルートを設定 - コザゲート通りや中央パークアベニュー、一番街商店街等、主要な通り・エリアについてはコザの歴史や文化を感じられる取組を検討・実施(シャッターアート、ライブハウス、ヒストリート、亀甲墓等) - 海外を感じるアメリカンな看板や夜間照明等によるコザならではの空間づくりを推進	- コザゲート通りは外国を感じる通り、パークアベニューは花が咲くきれいな通り、一番街商店街周辺には色々な国の食事ができる、旧沖縄のまちなみがあるなど魅力がたくさんあるので、その魅力を活かしたまちづくり - 看板を海外風に統一するなどコザにしかない特徴を出したまちづくり	- 色々な店舗が入って魅力的なまち - 外国の雰囲気(バルミラ、ゲート通り等)を活かしたまちづくり

住民が考えるコザのウォーカブルなまちづくり

コザの魅力的な店・通り・エリア(歴史・文化)を活かしたウォーカブル空間としたい！

↓ 住民が感じるコザの魅力的な場所とは？

	1班	2班	3班	4班
コザの魅力的な通り・場所	一番街商店街周辺(300m圏内) バスターミナル及び周辺	コザゲート通り 中央パークアベニュー 一番街商店街周辺	コザゲート通り 中央パークアベニュー 一番街商店街周辺 バスターミナル及び周辺	バスターミナル及び周辺

↓ 各班の意見を踏まえ抽出

住民が感じるコザの主な魅力的な場所・通り

一番街商店街周辺

バスターミナル及び周辺

コザゲート通り

中央パークアベニュー

3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

- 住民が感じる魅力的なエリアを踏まえウォーカブルエリアを設定した。



3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

「胡屋・中央地区交通拠点におけるにぎわい創出の社会実験」

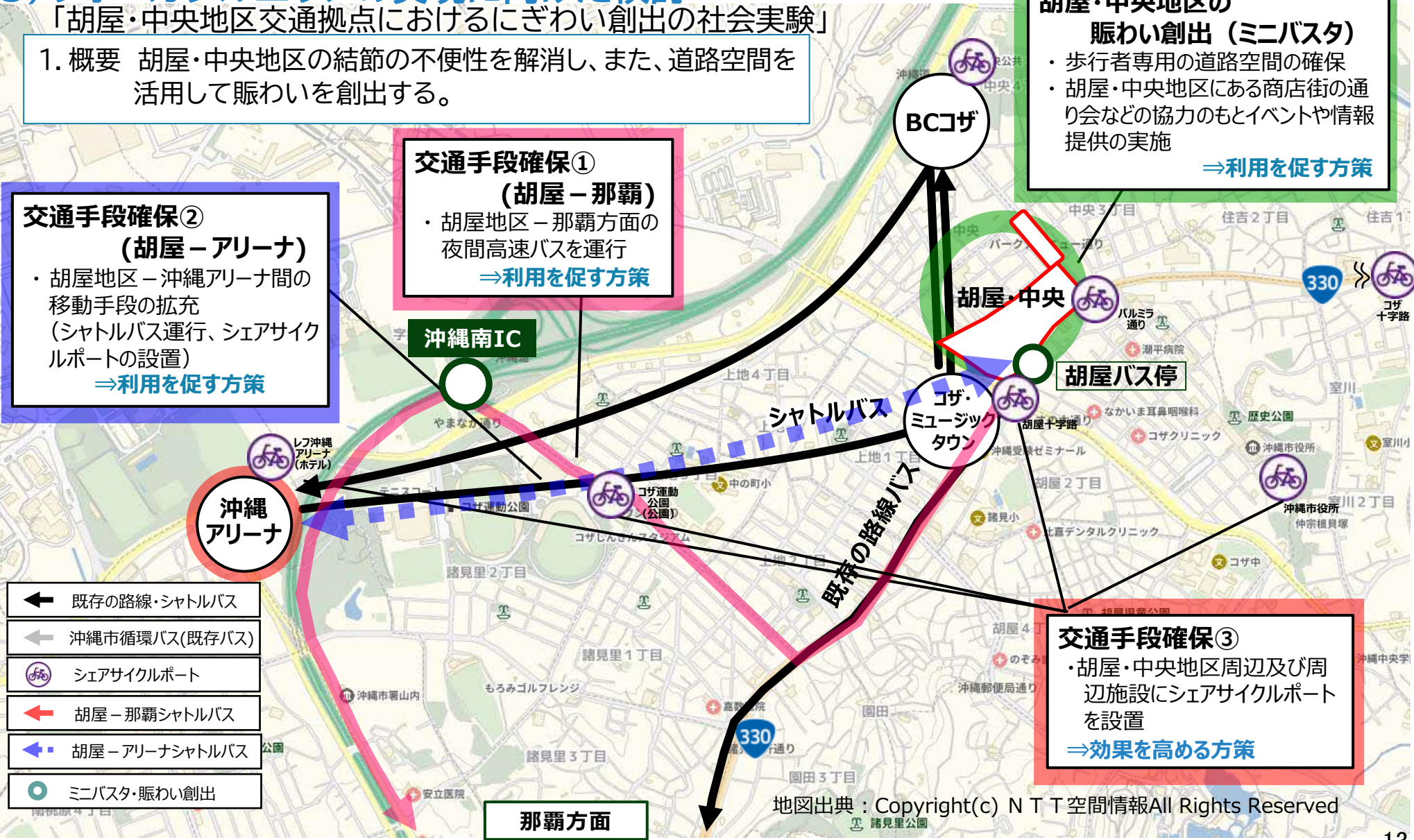
1. 概要 胡屋・中央地区の結節の不便性を解消し、また、道路空間を活用して賑わいを創出する。

交通手段確保②
(胡屋－アリーナ)
・ 胡屋地区－沖縄アリーナ間の移動手段の拡充
(シャトルバス運行、シェアサイクルポートの設置)
⇒**利用を促す方策**

交通手段確保①
(胡屋－那覇)
・ 胡屋地区－那覇方面の夜間高速バスを運行
⇒**利用を促す方策**

胡屋・中央地区の賑わい創出 (ミニバスタ)
・ 歩行者専用の道路空間の確保
・ 胡屋・中央地区にある商店街の通り会などの協力のもとイベントや情報提供の実施
⇒**利用を促す方策**

交通手段確保③
・ 胡屋・中央地区周辺及び周辺施設にシェアサイクルポートを設置
⇒**効果を高める方策**



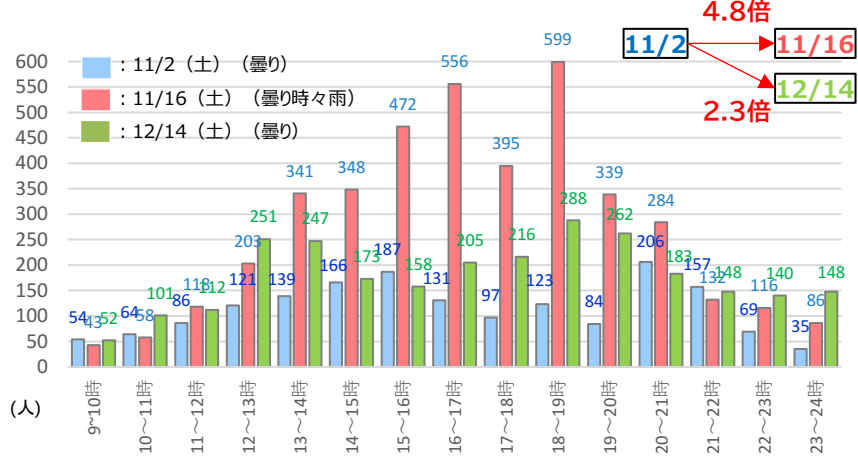
3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討



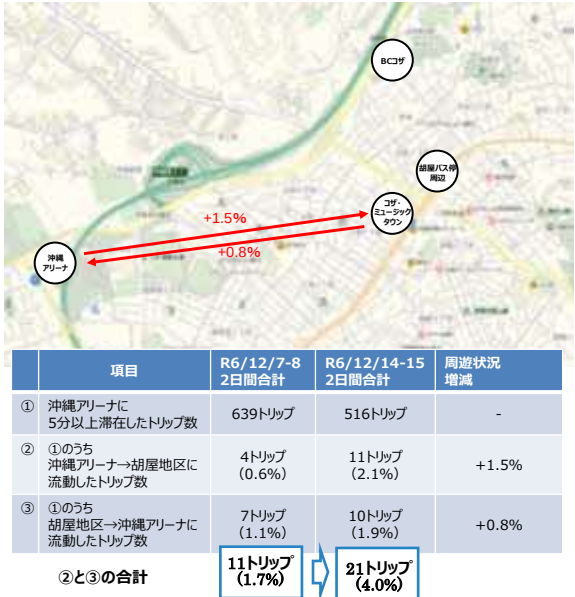
3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

2. 実験結果 (胡屋地区周辺における賑わいの創出)

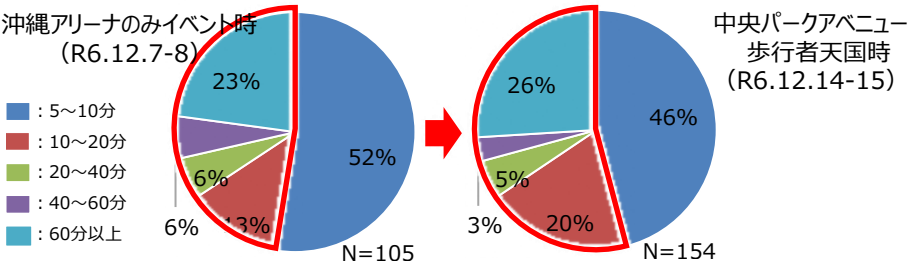
○イベント時の歩行者通行量
⇒11月と12月に開催した中央パークアベニューでのイベント時の歩行者数は、18時～19時の時間帯が多く、11月では、**通常の4.8倍**(599人)、12月では、**通常の2.3倍**(288人)増加している。



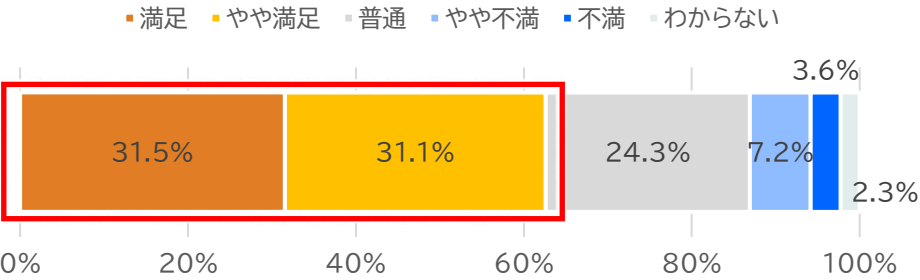
○立ち寄り割合
⇒アリーナ等施設利用者の胡屋地区周遊割合は、4%と胡屋地区でイベントがない場合で1.7%に比べ、**胡屋地区への立ち寄り割合が増加**している。



○胡屋地区滞在時間
⇒胡屋地区来訪者の滞在時間は、56分となり、平常時49分に比べ、**1.14倍滞在時間が増加**している。



○満足度
⇒胡屋地区来訪者の**満足度は、62.6%**であった。



3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討

2. 実験結果(イベント開催に合わせたバスの運行・シェアサイクルポート設置)

・イベント開催に合わせたバスの運行

○夜間無料バスの利用者数

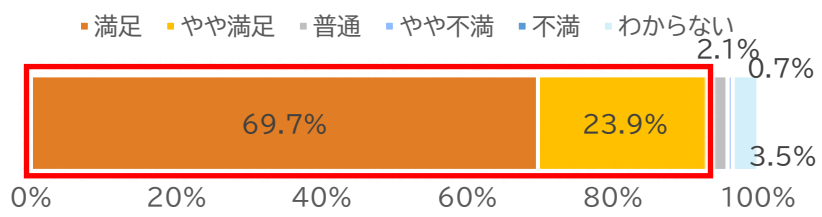
⇒11月利用者数は、79名(1便目53名、2便目26名)
12月利用者数は、216名(1便目113名、2便目103名)
と12月では11月の2.7倍 2便目で限ると3.9倍増加している。

日付	出発時間	予定乗車人数	実施乗車人数
11/9 (土)	22:30	6	2
	23:00	10	8
11/10 (日)	22:30	0	0
	23:00	0	0
11/16 (土)	22:30	13	9
	23:00	5	5
11/17 (日)	22:30	4	0
	23:00	2	2
11/23 (土)	22:30	9	8
	23:00	6	6
11/24 (日)	22:30	9	8
	23:00	2	2
11/30 (土)	22:30	39	26
	23:00	13	3
11月 計	22:30	80	53
	23:00	38	26
11月 AVG.	22:30	11	8
	23:00	5	4

日付	出発時間	予定乗車人数	実施乗車人数
12/1 (日)	22:30	30	10
	23:00	8	3
12/7 (土)	22:30	29	18
	23:00	22	12
12/8 (日)	22:30	7	3
	23:00	8	4
12/14 (土)	22:30	45	26
	23:00	34	22
12/15 (日)	22:30	11	10
	23:00	5	4
12/21 (土)	22:30	23	13
	23:00	33	20
12/22 (日)	22:30	19	12
	23:00	2	0
12/28 (土)	22:30	34	16
	23:00	31	23
12/29 (日)	22:30	16	5
	23:00	31	15
12月 計	22:30	214	113
	23:00	174	103
12月 AVG.	22:30	24	13
	23:00	19	11

○夜間高速バス満足度

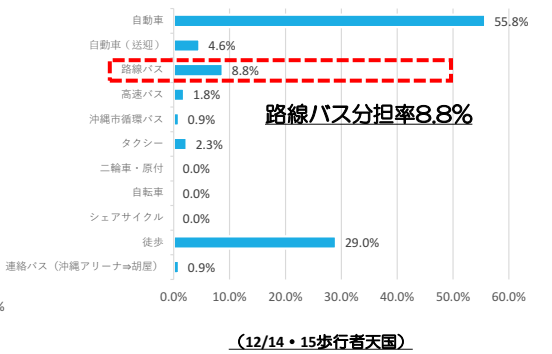
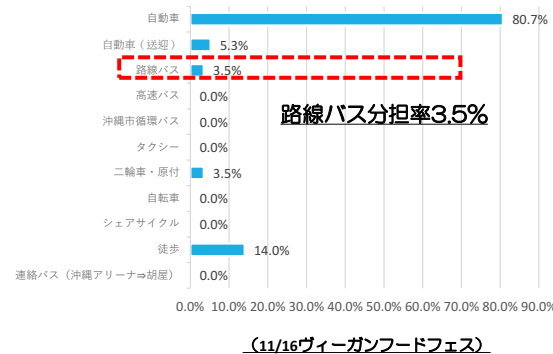
⇒夜間高速バスの満足度は、93.6%



○バス利用分担率

⇒イベント来場者のバス利用者割合は、11月イベント時3.5%、12月イベント時で8.8%

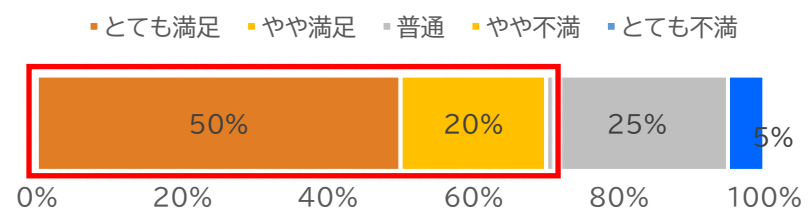
■胡屋・中央地区への来訪手段(N=57) ■胡屋・中央地区への来訪手段(N=217)



・シェアサイクルポート設置

○シェアサイクル満足度

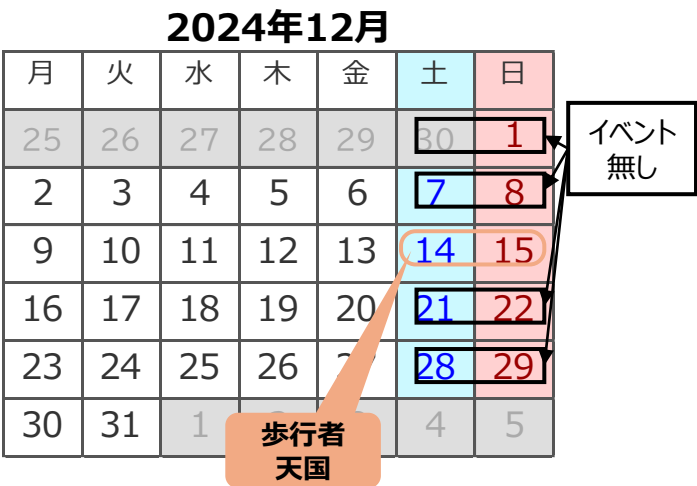
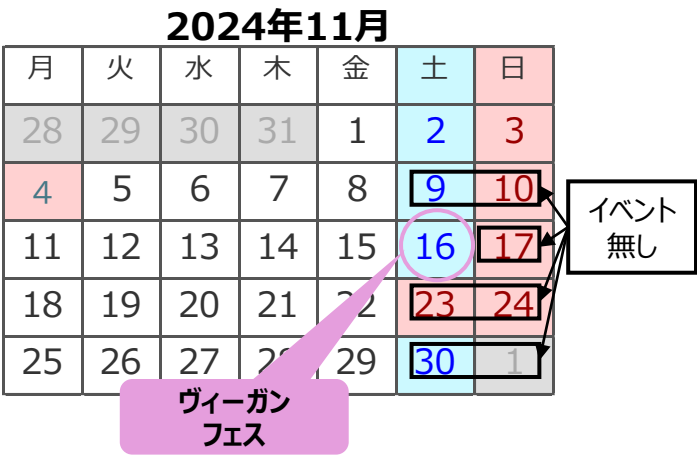
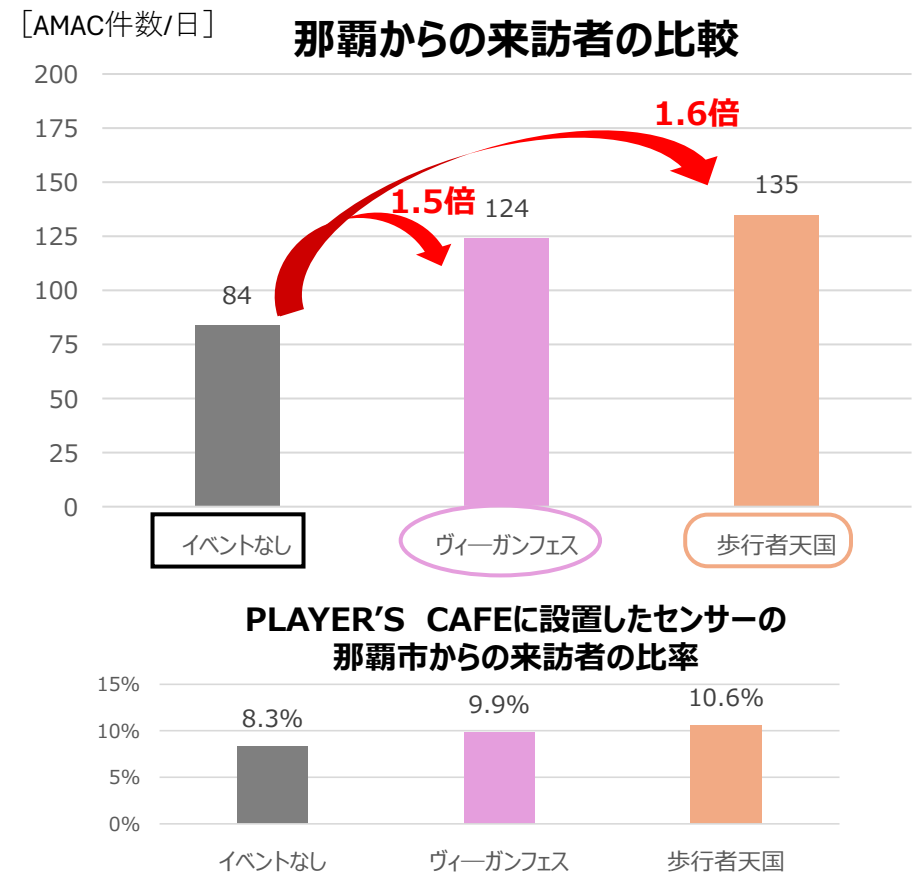
⇒シェアサイクル利用者の満足度は、70%



3)ウォーカブルエリアの実現に向けた検討 Wi-Fi調査

- 胡屋・中央地区でのイベント時に那覇市からの来訪者は、**イベント無しの日と比較**して、ヴィーガンフェス(11/16)で**1.5倍**、歩行者天国(12/14・15)で**1.6倍増加**している。(※Wi-Fi調査結果)

- 集計定義
- 同一日に以下のどちらかの条件にあてはまったAMACの件数を日単位で集計
- 県議会棟とPLAYER’S CAFE（パークアベニュー）の両方のセンサーで捕捉
 - おもろまち駅とPLAYER’S CAFE（パークアベニュー）の両方のセンサーで捕捉



■基本構想に位置付けられた連携施策について、胡屋バスタの整備事業の検討にあたり、優先的に検討を必要とする連携施策について、検討を行った。



令和6年度の取組内容

4)連携施策の検討

デザイン部会(※沖縄市交通拠点まちづくり基本計画(素案)へ反映)

○目的

- 本部会は、「沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会」(R6.10設置)の部会として、まちなか交流拠点も含めた地域のデザイン全般について、胡屋・中央地区の交通拠点が地域に根ざした拠点となるよう、地域の歴史・文化・生活等の多様な視点を踏まえた機能やデザインを検討し、沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の検討に活用する。

■第1回デザイン検討部会(R7.1.15 プラザハウス 3F会議室)



○部会メンバー

項目	氏名	備考
有識者	羽藤 英二 (東京大学教授)	・ 全国のバスタ事例、デザインセンター等に関わられている知見を踏まえ、地域デザインについて意見をいただく。
	石垣 綾音 氏 (株さびら)	・ 沖縄の交通まちづくりの観点から、地域デザインについて意見をいただく。
地域	神山 繁 氏 (株ファンファーレ・ジャパン)	・ 地域で活動する視点から地域デザインについて意見をいただく。
	恩河 尚 氏 (沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート)	・ 沖縄市戦後文化・歴史の視点から地域デザインについて意見をいただく。
	松田 健治 氏 (センター自治会)	・ 地域住民の視点から地域デザインについて意見をいただく。
	島袋 恭治 氏 (胡屋自治会)	・ 地域住民の視点から地域デザインについて意見をいただく。
	普久原 真吾 氏 (中の町自治会)	・ 地域住民の視点から地域デザインについて意見をいただく。

4)連携施策の検討

デザイン部会における展開方針(素案)の整理

中心市街地(胡屋、山里、コザ等)の概況整理		
【歴史】 - 越来間切(沖縄市の前身)は、古琉球期における要衝の地であり、越来グスクには、尚泰久王や尚円王の弟である尚宣威王などが居城(国指定名勝「越来グスク」)。 - 戦前は工芸、柑橘類、竹細工の産地として、戦後は嘉手納基地の門前町としてまちが形成、以後は様々な文化が織りなす(チャンプルー)地域に。 【地域】 - 胡屋十字路地区は、商店街を有し、<u>異国情緒あふれる独特な景観、国際色豊かな商業エリア</u>。琉球GK(プロバスケットチーム)との連携、スタートアップ企業の支援拠点、ミュージックタウンを中心とした<u>音楽のまちとして定着</u>。 - 山里地区は、「プラザハウスショッピングセンター」が1954年に誕生。現在も舶来品店として営業中で<u>当時の琉米文化を感じさせる雰囲気</u>を有する。 - コザ十字路地区は、米軍人・軍属を顧客とした商売等発展。現在は銀天街プラザ等<u>活性化に向けた機運が向上</u>。		
【地域の拠点】 ○コザ運動公園、沖縄アリーナ ○市民小劇場あしびなー、沖縄市立図書館 ○八重島公園、沖縄市民会館 ○沖縄市中央公民館 ○沖縄こどもの国 ○越来城水辺公園 ○ミュージックタウン音市場 ○コザゲート通り、パルミラ通り、パークアベニュー通り ○沖縄市立郷土博物館 ○沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート ○商店街	【上位・関連計画】 ○沖縄市中心市街地活性化基本計画 ○沖縄市都市計画マスタープラン ○沖縄市景観計画、ガイドライン	【ハード事業】 ○区画整理事業(中の町、安慶田) ○胡屋・中央地区バスタ事業 ○胡屋北交差点改良事業 ○道路改築事業(県道20号線) 【ソフト事業】 ○基幹バス構想 ○わった〜バス利用促進乗車体験事業 ○胡屋・中央地区交通拠点におけるにぎわい創出の社会実験
【キーワード】 地域の拠点、居場所、交流促進、回遊性の向上 等	【キーワード】 特色を生かしたデザイン、デザインコード 等	【キーワード】 インフラ整備、整備までの取組、産官学連携 等
展開方針1 地域の居場所となり、地域の交わりを促し、 地域を繋ぐ展開	展開方針2 地域を体現する空間創出に向けた展開	展開方針3 時間軸をとらえた実効性のある展開

4)連携施策の検討

デザイン部会における展開方針(素案)の整理

展開方針1: 地域の居場所となり、地域の交わりを促し、地域を繋ぐ展開

- 中心市街地エリアの拠点として、地域の居場所となる場、エリア内外の交流促進、地域を繋ぐ機能や取組の検討
- 回遊性を高めるとともに、各施策の相乗効果を高め、地域を再生成する機能や取組の検討 等

展開方針2: 地域を体現する空間創出に向けた展開

- 地域の生活・歴史・文化に加えて、地形的な特徴を踏まえつつ、街の空間スケールにあった空間創出に向けたデザインコードの検討
- 胡屋・中央地区バスターミナルを中心としたコザゲート通り、くすの木通り、中央パークアベニュー、一番街商店街、パルミラ通り等の特色を活かした空間デザインの検討 等

展開方針3: 時間軸をとらえた実効性のある展開

- インフラ整備や施設改修などの契機を活かした展開の検討
- 交通拠点が整備されるまでの取組みの検討(高齢化対策、空地の利活用等)
- 地域全体をとらえ、各種取組を繋ぎ実践する仕組みの構築に向けた検討
- 地域の主体性を高める産官学連携の取組の検討 等

○デザインコード(素案)

コード1: まちの骨格を生かした空間

- ・ 沖縄市における商業景観軸、重点地区に設定されているコザゲート通り地区・くすの木通り地区が交わる重要なエリアであることを踏まえた空間の構築

【空間構築に大切なもの】

①空が大きく広がる風景



胡屋交差点

②沖縄らしい緑の風景



中央パークアベニュー

③点在する楽しみの拠点



編集者撮影



出典: 沖縄観光情報WEBサイト



出典: 沖縄観光ポータルサイト



出典: 東南植物楽園公式HP



出典: 美らタウン沖縄

越来水辺公園

県民の憩いの場でもあり、観光資源でもあるこれら拠点を尊重し、際立たせられるようバスターミナル・周辺回遊空間とうまく繋げていくことが市全体の活性化につながる。

コード2: 小さな風景がつくるコザらしさ

- ・ 地域に点在する様々な街の機能、特徴を結び、地域の生活や歴史や文化を感じることができる空間の構築

【空間構築に大切なもの】

①小さな文化の砦



シアタードーナツ(地域の映画館)

②写真で紡ぐ文化



プラザハウス・ストリート写真館

③歴史と学びの場



沖縄市戦後文化資料展示館 ヒストリート

④戦前の記憶



コザ工芸館ふんどう

○デザインコード(素案)

コード3: 生き生きとしたまちの表情に溶け込ませる

- 商店街と一体となった新たな拠点の構築により、地域と調和した徒歩を中心とした人間スケールの空間の構築

【空間構築に大切なもの】

- ①連鎖する豊かな歩き空間
- ②工夫により生かされる古い建築



一番街商店街



トリップショットホテルズ・沖縄コザ

- ③各地区の特色の融合
- ④開放感あふれる琉米文化の空気感
- ⑤国道による分断の接合
- ⑥豊かな地域の活動



プラザハウス(琉米文化の空気感)

コード4: 多様性が絡み合う自由な空気感

- 地域の活動などの受け皿となるとともに、様々な人が憩い、佇むことができる居場所となる空間の構築

【空間構築に大切なもの】

- ①力強いエイサーやスケートボードの風景
- ②賑わいを生む溜まり空間



沖縄全島エイサー



スケートボード



一番街商店街

- ③全ての人の居場所となる空間
- ④暫定的な土地の風景
- ⑤朝から夜までにぎわう多様な空間



中央パークアベニュー



跡地の活用(那覇市牧志公設市場)

4)連携施策の検討

■まちなか交流拠点創出に向けた検討

- ・ 胡屋・中央地区バスターミナルを地域に根ざした拠点としていくため、地域の歴史・文化等、沖縄市らしさを持つまちなか交流拠点のデザイン検討を行った。拠点の検討にあたっては、検討部会等を設置し具体検討を行った。
- ・ デザイン部会の検討内容も踏まえ、まちづくりの拠点と、歴史や文化が融合したまちなか交流拠点の創出を目指す。(ヒストリート、図書館等の複合機能)



沖縄市戦後文化資料展示館 ヒストリート



沖縄市立図書館



プラザハウス・ストリート写真館

胡屋・中央地区 まちづくりの拠点 (デザインセンター)

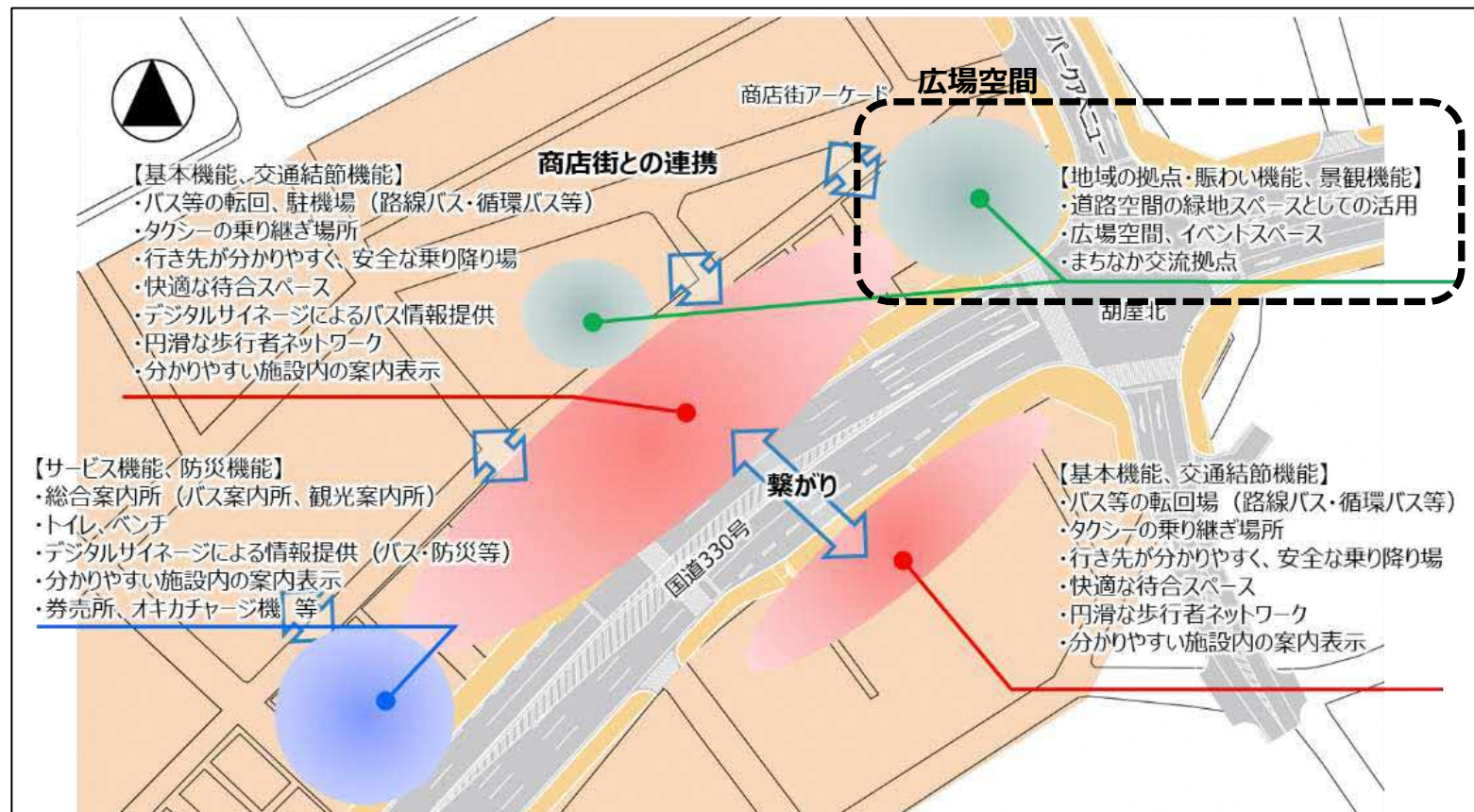


出典：愛媛県松山市アーバンデザインセンターHP

4) 連携施策の検討

■ 胡屋・中央地区交通結節点整備

- ・ 広場空間の必要性について、整理・検討を行った



4) 連携施策の検討

- 広場について、国土総合研究所手引きでは、「広場の適切な配置はまちの回遊の拠点となり、全体へ波及効果が期待できる」とされている。

広場とは？

【立地・空間】 広場の多様性・多機能性

- 広場とはそれ単体で存在しうるものではありません。その先に何が接続しているか？周りに何があるか？など、周辺環境に応じて広場の性格は様々変わってきます。広場のあり方は実に多様です。
- また、広場空間は建物、壁、植栽、座席、テーブル、照明、シェルターなど様々な要素とそれらの組合せによって、多様な機能を発揮します。

【行為】 広場での人の行動・活動

- 広場での人の行動は大きく「移動」と「滞在」の2つに分けられます。目指すべき広場像に応じて、広場に期待される活動は様々です。
- 魅力的な空間では、必要に迫られて現れる行動だけではなく、意図的に楽しむための活動や、思いがけず他者とふれあう活動などもみられます。
- 平常時とイベント時では、広場の利用者数・アクティビティ（移動や滞在に関わる活動）は大きく変化しますが、魅力的な都市生活という観点からは、どちらも重要な都市の舞台です。

【効果・効用】 広場の効果

- 効果的な位置に広場をもうけ、その広場空間の質を高めることは、広場そのものの魅力を高め利用者の満足度を高めるだけではなく、そこが街の回遊の拠点になるなど、街全体への波及効果が期待できます。
- その結果、持続性のある自主的な運営やコミュニティ形成も可能となります。



植栽を背に歩行者を眺められるベンチ
(グリーンけやき広場)



可動式の椅子(ニューヨーク)

4) 連携施策の検討

- 飯田美樹氏(講演会講師)からは、広場の重要性について「様々な人たちが思い思いに楽しむことが出来る場所」であるとされている。
- 胡屋・中央地区周辺において、広場空間の必要性を踏まえ、全ての人の居場所となる空間構築を目指し、国と連携しながら取組を進める。

北谷フィッシャリーナ交流緑地



南池袋公園



出典：居心地が良いまちにするための7つのルール
(飯田美樹氏 R7. 2. 22講演会資料)

■デザインコード(4 多様性が絡み合う自由な空気感)

【全ての人の居場所となる空間】

あらゆる人を受け入れ、ホッと落ち着く包容力のある空間も欠かせない。
ちょっとした**ベンチやポケットパークの整備**により、ウォーカブルで豊かな多様性のあるまちを目指せる。



中央パークアベニュー

出典：大西正紀(2022-01-25). note.

【暫定的な土地の風景】

バスターミナル建設中も、敷地周辺に**コミュニティの中心となるような空間**が求められる。UDCや公設市場跡地の暫定的活用が良い参考事例となるだろう。



牧志公設市場跡地の活用

※沖縄の配慮事項として、日影の創出等の対応

4) 連携施策の検討

■ まちなかの回遊(歩きやすい空間づくり) ※再掲

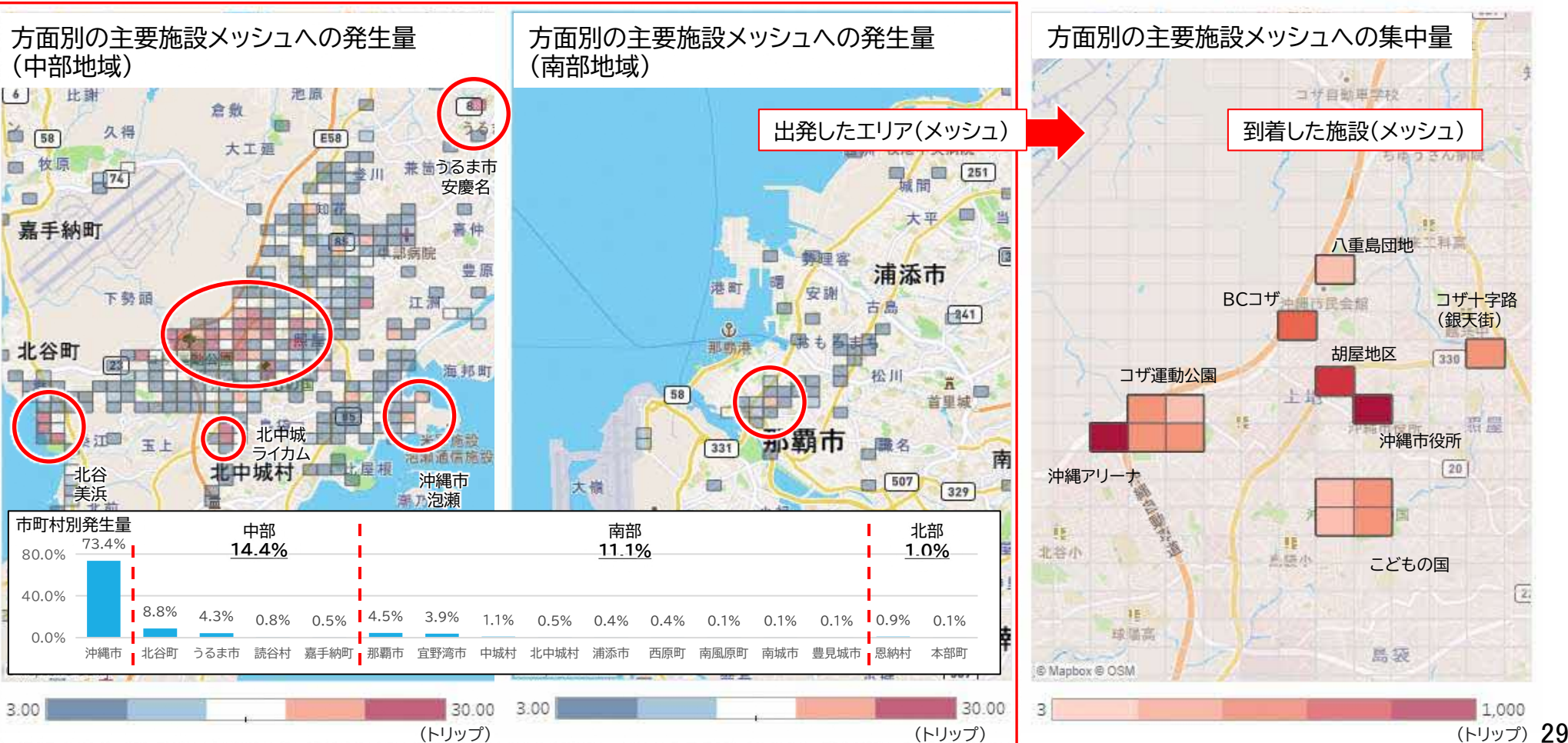


4)連携施策の検討

ビッグデータ概要：2023年8月1ヶ月間の人流データ(ブログウォッチャー社)

■循環バス

- 方面別の主要施設への移動需要を見ると、市内を中心に広がっているが、沖縄市東部、北谷町、北中城村、うるま市、那覇市方面においても需要が見られることから、循環バスと他市町村からの広域移動との連携が必要。



沖縄市交通拠点まちづくり基本計画 (素案)

令和7年3月24日 (月)

沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

- 1 目的と位置付け
- 2 対象区域
- 3 計画の方針と施策
- 4 取組の検討
 - 1) 取組イメージ
 - 2) 取組のロードマップ
 - 3) 取組体制

本市では、交通拠点のまちづくりに関する基本構想である「沖縄市交通拠点整備基本構想」を令和6年6月に策定し公表した。

沖縄市交通拠点整備基本構想に位置付けた交通拠点のまちづくりに寄与する施策について、地域住民及び関係者の合意を図り、具体的そして実効性のある計画として「沖縄市交通拠点まちづくり基本計画」の作成を行う。

沖縄市交通拠点まちづくり基本計画は、胡屋・中央地区の交通拠点整備へ向けた目標・取組を明確にするとともに市民・行政・教育研究機関等との取組の方向性を共有し関係者が連携したまちづくりの実現を目指す「手引き」として位置付ける。

1 目的と位置付け

○基本計画の位置付け

- 基本構想の取組を具体的・実効性を持って推進するための手引きとして作成、令和6年度は案を作成、令和7年度に関係機関と調整の上計画として取りまとめ

沖縄市

国・県

沖縄市交通拠点整備基本構想

R6.6策定

- 国、県の広域道路交通施策と連携した拠点づくりを目指し、胡屋・中央地区を中心とした4方面について回遊性向上の取組を位置付け

(国) R3.3策定
新広域道路交通ビジョン・計画

(県) R4.3改定(H21.3策定)
(5市村)地域公共交通総合連携計画

整合

沖縄市交通拠点まちづくり基本計画

R6年度(案)作成
R7年度策定予定

- 基本構想に位置付けた交通拠点のまちづくりに寄与する施策について、地域住民及び関係者の合意を図り、具体的・実効性を持って推進するための手引き

(県) R6.5策定
沖縄県地域公共交通計画

(国)
(仮称)胡屋・中央地区バスタ整備方針

整合
推進

R8年度以降

※すぐに実行可能な取組は、計画と整合を図りながらもR7年度から対応

○中心市街地活性化基本計画(R6.4策定)

○立地適正化計画(未)

○地域公共交通計画(未)

連携
整合

【中心エリア、各方面別の取組】

- 歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート
- アクセス機能の向上
- 安心して暮らせる場所の創出
- 誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出
- まちの個性を生かしたにぎわいの創出
- スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出 等

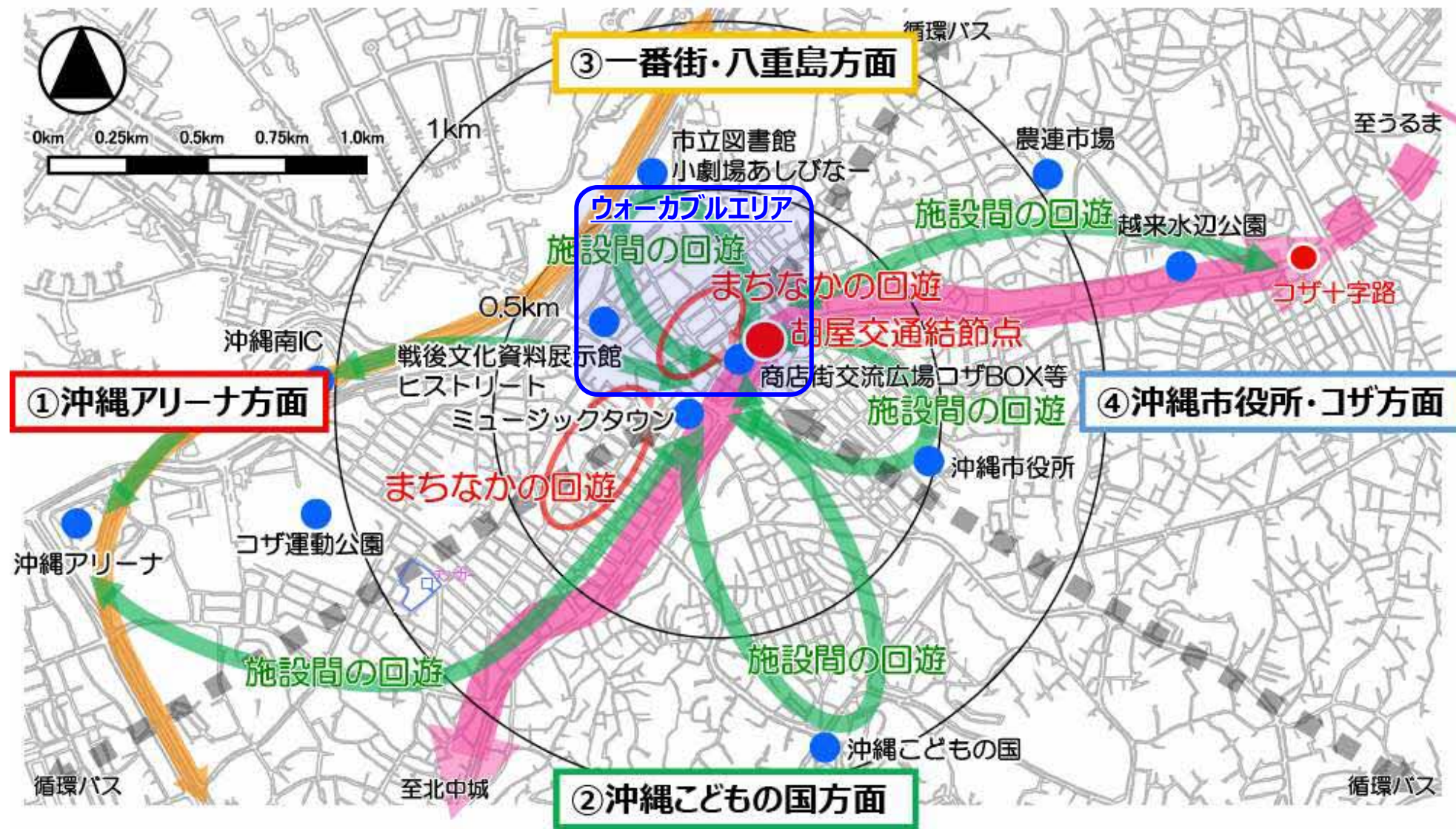
(国)
胡屋・中央地区バスタの機能検討

(県)
公共交通利用促進に向けた取組

連携

○基本計画の対象エリア:

胡屋交通結節点を中心とする半径2キロ圏内にある4方面及びウォカブルエリアとする。



○沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の方針

沖縄市交通拠点 整備基本構想

K
O
Z
A
の
み
ん
な
で
つ
く
る
活
力
に
満
ち
た
ま
ち

【方針①】
だれもが楽しめる、居心地がいい場づくり

【方針②】
まちとまちとの結びつきを強くする場づくり

【方針③】
まちなかの結びつきを強くする場づくり

【方針④】
KOZAの歴史・文化が感じられる場づくり

【方針⑤】
より安全で安心なまちづくり

デザインコード(素案)

デザインコード1:

まちの骨格を生かした空間
沖縄市における商業景観軸、重点地区に設定されているゴザゲート通り地区・くすの木通り地区が交わる重要なエリアであることを踏まえた空間の構築

デザインコード2:

小さな風景がつくるコザらしさ
地域に点在する様々な街の機能、特徴を結び、地域の生活や歴史や文化を感じることができる空間の構築

デザインコード3:

生き生きとしたまちの表情に溶け込ませる
商店街と一体となった新たな拠点の構築により、地域と調和した徒歩を中心とした人間スケールの空間の構築

デザインコード4:

多様性が絡み合う自由な空気感
地域の活動などの受け皿となるとともに、様々な人が憩い、佇むことができる居場所となる空間の構築

○コザらしさを育む ～地域の魅力向上～

- より長く滞在してもらえる安心感のある場所の創出
- 胡屋が有するユニークな歴史・文化・雰囲気の魅力を感じて訪れてもらえる場所の創出
- 住みたいと思う人が暮らせる場所の創出
- 様々な人のための交流、憩いの場の創出 ・地域イベントにも活用できる賑わいのための溜まり空間の創出
- 商店街の連鎖する豊かな歩き空間を活用した魅力の創出
- おもてなしを感じられる出迎え空間（ゲート等）の創出

○繋がる往来 ～都市間のアクセス機能の向上～

- 那覇市と沖縄市を結ぶ軸となる基幹バスシステムとの連携
- 路線バス、観光バス、高速バス、タクシー等との連携
- まちづくりと連携した駐車場施策の促進
- 先行が分かりやすい乗降場、上屋、待合所、デジタルサイネージ、インフォメーションセンター等の整備

○まちを巡る ～地域内の回遊性向上～

- 点在する楽しみの拠点を結び、バス（路線、循環、シャトル）、タクシー、その他交通手段（シェアサイクル、高齢者用乗り物、観光用乗り物 等）との連携
- 点在する楽しみの拠点を結び、歩いて楽しい（ウォークアブル）空間の創出
- 全ての人の居場所となるため、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進

○まちの顔 ～沖縄市が持つ個性的な空間づくり～

- 国際色豊かで地域と調和した街並みの形成
- KOZA（戦前・戦後の記憶、琉米文化等）が感じられる空間の形成
- 沖縄市独自の緑を活かした玄関口にふさわしい空間の形成
（国道330号、パークアベニュー、ゲート通り 等）

○安心を紡ぐ ～防犯・防災機能の向上～

- 防災情報（警報、注意報等）や交通機関の運行情報等の情報発信
- 一時避難場所としての待合所・広場の活用
- 安全・安心なまちの創出（防犯・交通安全）
- 沖縄アリーナとの連携 ・Wi-Fi等、災害時・緊急時の通信手段の確保
- 無電柱化

○沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の取組(案)

方面	取組案	
① 沖縄アリーナ	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○ベンチ等小休憩場所の整備
	アクセス機能の向上	○シャトルバス乗り場整備 ○タクシー乗り場整備 ○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティ・ハブの設置
	安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策
	誰もが楽しめる居心地のいい環境の創出	○乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化 ○商店街と拠点連携による賑わいの創出(周辺エリアの情報発信 等) ○まちなか交流拠点の創出
	まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○駐車場の整備、更新、連携
	スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出	○スポーツイベント等 ○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり
② 沖縄じゅんぐの国	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備
	安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策
	沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出	○県外・県内からの観光客誘致 ○日本一ユニークな施設への整備拡充

方面	取組案	
③ 一番街・八重島	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備 ○ベンチ等小休憩場所の整備
	アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○モビリティ・ハブの設置 ○駐車場の整備、更新、連携
	安心して暮らせる場所の創出	○生活道路対策
	まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○宿泊施設の誘致 ○商店街への誘客や交流促進 ○パークアベニュー整備事業(対面2車線化) ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○駐車場の整備、更新、連携 ○公園を活用したイベント
④ 沖縄市役所・コザ	歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり ○自転車等の走行空間整備
	歩行者を中心とした回遊ルート	○歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり
	アクセス機能の向上	○シェアサイクル等ポート整備 ○バス停等の整備 ○モビリティハブの設置
	安心して暮らせる場所の創出	○区画整理事業 ○生活道路対策
	まちの個性を生かしたにぎわいの創出	○商店街への誘客や交流促進 ○昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ)) ○公園を活用したイベント
ウォーカブル	コザゲート通り	○統一された景観(アメリカン)
	一番街商店街周辺	○コザの音楽や歴史の継承 ○昔と新たな店舗が融合した商店街
	バスターミナル及び周辺	○住民の居場所づくり ○花やみどりにあふれたひと中心の通り
	中央パークアベニュー	○人々が滞留する空間 ○分かりやすい案内整備
	全体(ウォーカブル区域)	○バスターミナルを拠点にした回遊性の促進

1) 取組イメージ

① 沖縄アリーナ方面

1. スポーツを楽しむ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性(商業・文化・歴史)を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出

③ 一番街・八重島方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出



② 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

④ 沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性(商業・文化・歴史)を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

1) 取組イメージ

歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート

【歩きやすい、歩いて楽しい道路空間づくり】

- ・ 来訪者が楽しく歩ける機能の充実を図ります。

道路空間イメージ(例:丸の内仲通り)



出典:官民連携まちづくりポータルサイト(国土交通省都市局HP)

【概要】シェアードストリート(NACTO リ・デザイン例より)

- ・ 歩行者を中心とした道路空間(車や自転車等も通行可能)。舗装は歩行者の優先順位を強化するために歩道と統一化を図る。

①すべての入り口に警告用のストリップを設置。

②配送車両用のエリアをマーク。

③ベンチ、プランター、アートワーク、樹木、噴水、ボラード、駐輪場などのストリートファニチャーを使用して、共有スペース内の走行車線を描写。

④安全で居心地の良い環境を作り出すため照明を整備。

⑤プランターや樹木などの造園。可動プランターを使用した、特定の時間帯の車両の交通アクセスの制限等。



出典:NACTO(Global Street Design Guide)

4 計画の推進

1) 取組イメージ

歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート

【自転車等の走行空間整備】

- 来訪者が楽しく、自転車等で安全に走行できる機能の充実を図ります。

整備形態	整備イメージ
自転車道	A. 自転車と自動車を横断物により分離する場合 歩道 自転車道 自動車道 歩道 自転車道 自動車道 歩道 自転車道 自動車道
自転車専用通行帯	B. 車道内で自転車と自動車の通行帯を分離する場合 歩道 自転車専用通行帯 自動車専用通行帯 歩道 自転車専用通行帯 自動車専用通行帯
車道優先	C. 車道優先とする場合 歩道 自転車専用通行帯 自動車専用通行帯 歩道 自転車専用通行帯 自動車専用通行帯

図 1-8 基本的な整備形態（イメージ）

出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省HP)

道路空間イメージ(例:大阪市 御堂筋・なんば広場)



出典：第82回基本政策部会配布資料(国土交通省HP)

1) 取組イメージ

歩行者を中心とした回遊ルート

【ベンチ等小休止場所の整備】

- ・ 来訪者が歩きやすくなる機能の充実を図ります。

道路空間イメージ(例:ISEMACHI PARKLET)



社会実験(パークレット)の様子



4 計画の推進

1) 取組イメージ

アクセス機能の向上

【モビリティハブの整備 等】

- 来訪者の利便性を高めるため、結節機能の充実を図ります。

モビリティハブ

- 「モビリティ・ハブ」とは、様々な交通モード（小型モビリティ、電動キックボード、電動アシスト付自転車、E Vバイク等）の接続・乗り換え拠点を指している。

イメージ(例:東京都世田谷区)



出典:ENEOSホールディングス㈱資料より



▲中心市街地での導入(東京都豊島区)



▲観光地での活用(広島県福山市)

出典:グリーンスローモビリティの導入と活用のための手引き(国土交通省)

シェアサイクルポートの設置(例:沖縄市銀天街前の広場)



1) 取組イメージ

安心して暮らせる場所の創出

【土地区画整理事業】

- 地域住民の生活環境を高めるため、土地区画整理事業の推進を行います。

土地区画整理事業(中の町地区、安慶田地区)



4 計画の推進

1) 取組イメージ

安心して暮らせる場所の創出

【生活道路対策】

- 地域住民の安全な歩行空間を確保するため、生活道路安全対策を行います。

生活道路対策イメージ(例:浦添市宮城地区)

●位置図



●生活道路対策の実施事例(浦添市仲西小学校前)

・狭さく、イメージハンプ

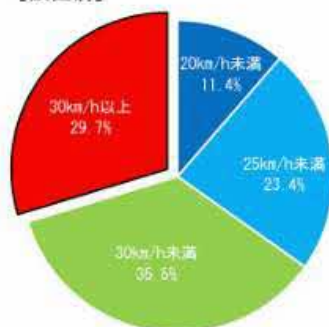


・ハンプ

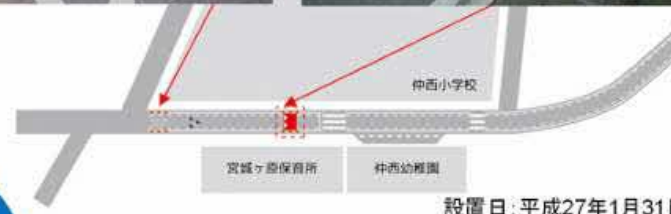
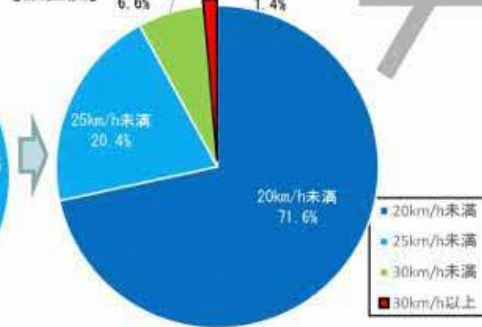


●ハンプ設置後の車両速度分布の変化

【設置前】



【設置後】



設置日:平成27年1月31日

出典:沖縄県公共交通活性化推進協議会

出典:浦添市における生活道路対策の取組について(浦添市道路課)

4 計画の推進

1) 取組イメージ

誰もが楽しめる居心地いい環境の創出
【乗り継ぎ利便性向上、待合環境の充実化】

- 来訪者の乗り継ぎ利便性を向上に向けた機能の充実を図ります。

表 2-1 交通拠点の機能の概要

区分	機能	機能の具体例
交通機能	基本機能	バスやタクシー等への乗降や乗降までの移動・待機、また、車両の拠点内の移動や停留・待機、交通ターミナルの運営等、交通拠点が備えるべき基本的な機能  
	交通結節機能	交通拠点における多様な交通モードが一体となって機能するよう、交通モード間を円滑に接続するための機能  
	防災機能	交通拠点の交通機能を災害時においても確保するための機能  
交流等機能	地域の拠点・賑わい機能	まちづくりと連携し、賑わいのある空間を創出するための機能  
	サービス機能	交通拠点を利用する歩行者の利便性向上に係る各種サービスの提供を行うための機能  
	景観機能	交通拠点として地域の顔にふさわしい景観の創出、また、訪れる人にとりや安心感を与えるための機能  

➡

- 待合空間の創出・小型モビリティの導入
・ 便利で快適な待合空間を確保するため、**バス待合所を設置し、デジタルサイネージ等でバス運行時刻等の情報提供** 等
・ 周辺施設の回遊性向上及び当該施設利用圏域を広げるため、**自転車等小型モビリティを導入**

➡

- 移動円滑化・地区全体でのバリアフリーな空間の形成
・ 安全性・アクセス向上のため、**円滑な歩行者ネットワークを確保**するとともに、**バリアフリーな空間を形成** 等

➡

- 防災機能の構築
・ **待合空間を一時避難場所**として活用
・ **デジタルサイネージを活用した防災情報の提供** 等

➡

- 多様な都市活動促す施設・広場の創出
・ 賑わい・滞留・交流機能等の**多様な都市活動が可能となる拠点づくり**。

➡

- 公共交通利用促進等の情報提供機能の創出
・ 交通拠点内に**総合案内所を設置し、利用者のニーズ(券売所、交通系IC等)に対応** 等

➡

- 道路と緑地の立体的・良好な空間の形成
・ 道路空間の緑地スペースとしての活用、良好な環境の創出、景観の形成 等

出典：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン(国土交通省)

1) 取組イメージ

誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【商店街と拠点の連携による賑わい創出】

- ・ 来訪者が楽しめるよう機能の充実を図ります。

道路空間イメージ(例:沖縄市胡屋・中央地区 一番街商店街での誘客イベント)



1) 取組イメージ

誰もが楽しめる居心地いい環境の創出

【まちなか交流拠点の創出】

- 様々なまちづくり関係者(行政、民間、学識等)が集い、まちづくりの取組が行える機能の充実を図ります。

まちづくり交流拠点イメージ(例:愛媛県松山市 松山アーバンデザインセンター)



1) 取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【宿泊施設の誘致】

- 様々なまちづくり関係者(行政、民間、学識等)が集い、まちづくりの取組が行える機能の充実を図ります。

宿泊施設の誘致イメージ(例:沖縄市 一番街商店街、パークアベニュー)



1) 取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))】

- ・ 来訪者の目的地となるよう、機能の充実を図ります。

飲食店、販売店の誘致イメージ(例:沖縄市 ゲート通り、パークアベニュー)



1) 取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【駐車場の整備、更新、連携】

- ・ 来訪者のアクセス性を向上するため、駐車機能(P&R等)の充実を図ります。

駐車施設イメージ(例:広島県呉市 呉駅西駐車場)



4 計画の推進

1) 取組イメージ

沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出

【県外・海外からの観光客誘致】

- 観光客を誘致するため、コンテンツの充実を図ります。

取組イメージ(例: 沖縄こどもの国 NIGHT ZOO レストラン(夜間の飲食))



出典: 沖縄こどもの国HP



出典: イザ☆コザ(沖縄市コザ地域情報サイト)

1) 取組イメージ

沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出

【日本一ユニークな施設への整備拡充】

- 観光客を誘致するため、機能の充実を図ります。

取組イメージ(例:沖縄こどもの国 ワニ展示エリア改修)



不思議な"フェイス"がお出迎え



地階から空中園路まで楽しめる多層構造



園路から動物達の生活空間を観覧

取組イメージ(例:飲食物販店の配置 空中ライドのルート)



図：物販・飲食施設の配置



図：空中ライドの標準ルート

1) 取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【パークアベニュー整備事業】

- ・ 渋滞を緩和するため、道路空間の再整備を図ります。ウォークブルな空間を図ります。

取組イメージ(例：パークアベニュー2車線化)



国道330号線～BCコザ街7



店舗から見た植栽



歩道から見た植栽



保線所交差点～国道330号線向け

1) 取組イメージ

まちの個性を生かしたにぎわいの創出

【公園を活用したイベント】

- ・ 来訪者のため、公園を活用した賑わいの創出を図ります。

取組イメージ(例:南池袋公園、八重島公園)



①沖縄アリーナ方面

1. スポーツを楽しみ、盛り上げる環境の創出
2. まちの個性（商業・文化・歴史）を活かしたにぎわいの創出
3. 安心して暮らせる環境の創出



4 取組の検討

2)取組のロードマップ

①沖縄アリーナ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
歩行者・多様な移動手段を中心とした回遊ルート 歩行者を中心とした回遊ルート			
歩きやすい、歩いて楽しい 道路空間づくり ベンチ等小休止場所の整備	ウォーカブル推進 計画検討 道路空間の再構築 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))		
自転車等の走行空間整備	自転車NW 計画検討	自転車走行空間の整備 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))	
シェアサイクル促進(まちなかウォーカブル推進事業、都市・地域交通戦略推進事業(社総金)、新モビリティサービス推進事業)			
アクセス機能の向上			
モビリティハブの整備 シャトルバス乗り場 タクシー乗り場 シェアサイクルポート バス停整備 等	必要機能、適地の検討	モビリティ・ハブの整備(社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金 等)	
シェアサイクル促進((都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等)、新モビリティサービス推進事業)			
安心して暮らせる場所の創出			
区画整理事業	区画整理事業(都市再生総合整備事業(社総金) 等)		
生活道路対策	生活道路対策の実施(交通安全対策補助制度 等)		

4 取組の検討

2)取組のロードマップ

①沖縄アリーナ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等) 市循環バス、高速バス、観光バス、 その他交通機能等との連携方策検討 P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街組織力等強化事業(中活計画) 商店街等誘客事業(中活計画) 中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		沖縄アリーナと商店街との連携
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

4 取組の検討

2)取組のロードマップ

①沖縄アリーナ方面の取組の進め方イメージ

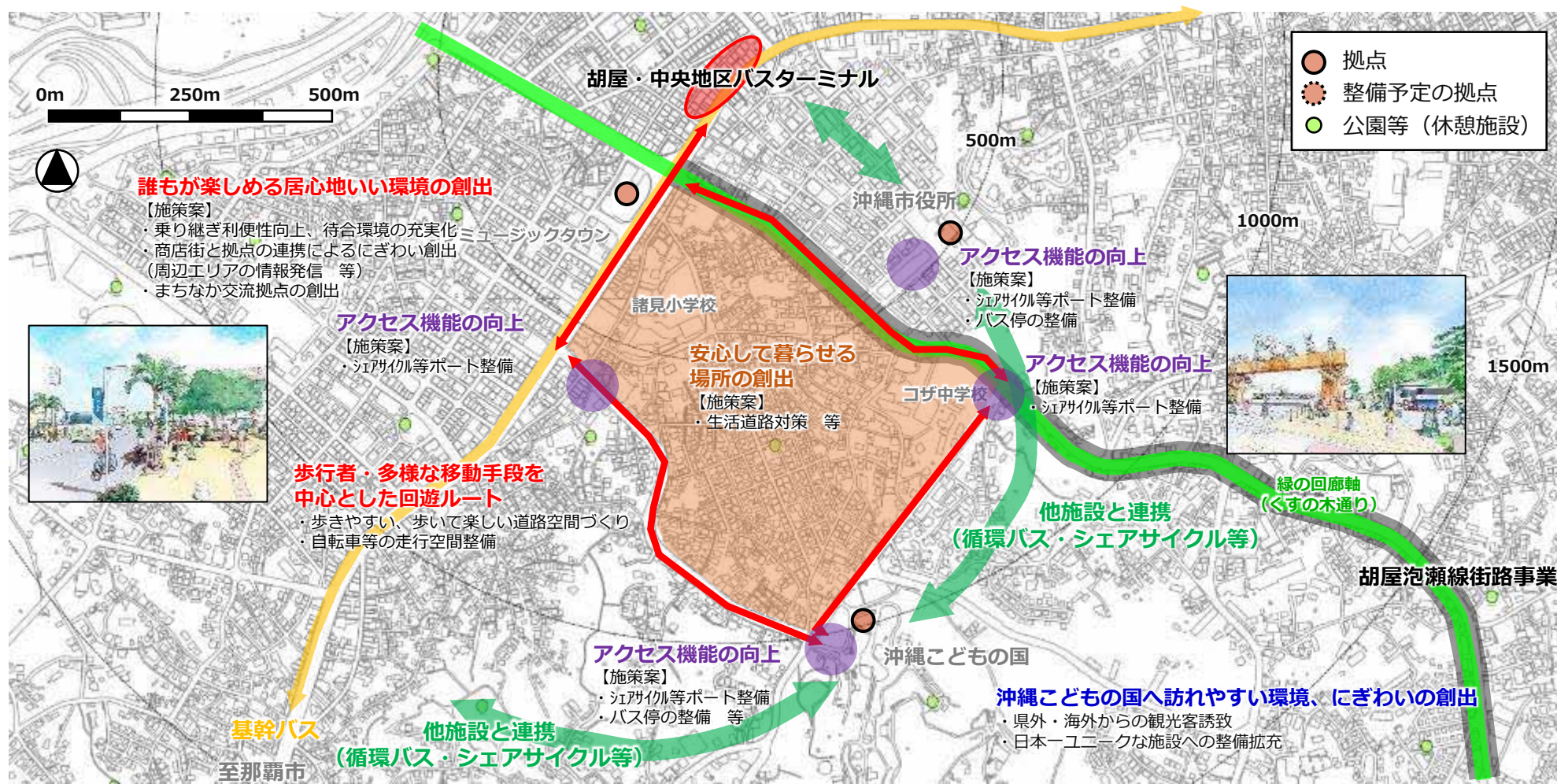
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
宿泊施設の誘致	宿泊施設等の観光関連産業の誘致(中活計画)		
商店街への誘客や交流促進	商店街組織力等強化事業(中活計画)		
昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	商店街等誘客事業(中活計画)		
	中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		
駐車場の整備、更新、連携	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
	中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		
スポーツを楽しむ、盛り上げる環境の創出			
スポーツイベント等	スポーツ振興事業(中活計画)		
	アーバンスポーツパーク(中活計画)		

2) 取組のロードマップ ② 沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

② 沖縄こどもの国方面

1. 沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

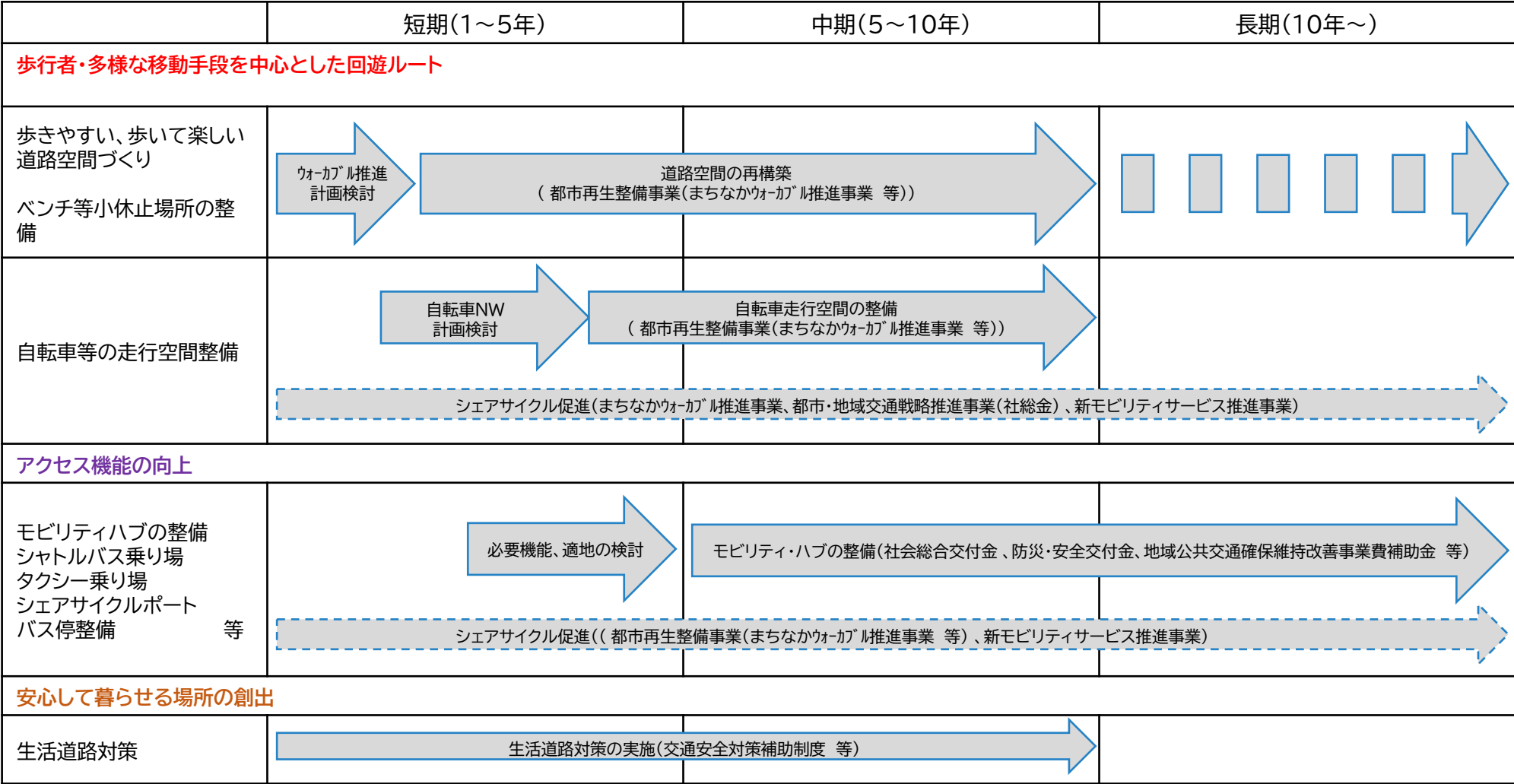


4 計画の推進

2) ロードマップ

② 沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



4 計画の推進

2) ロードマップ

② 沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等) 市循環バス、高速バス、観光バス、 その他交通機能等との連携方策検討 P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街組織力等強化事業(中活計画) 商店街等誘客事業(中活計画) 中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		沖縄アリーナと商店街との連携
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

4 計画の推進

2) ロードマップ

② 沖縄こどもの国方面の取組の進め方イメージ

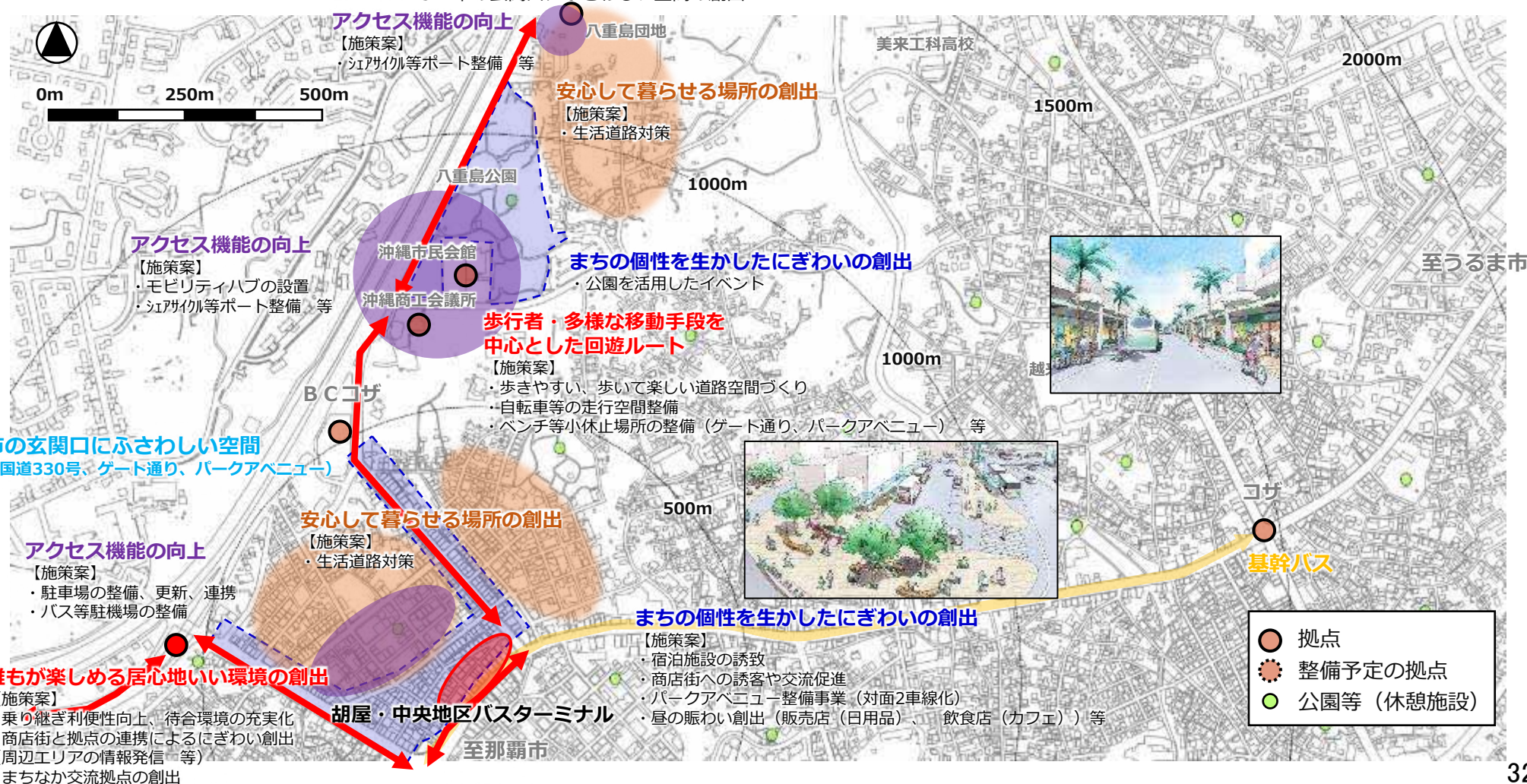
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
沖縄こどもの国へ訪れやすい環境、にぎわいの創出			
県外・海外からの観光客誘致	観光客の誘致		
日本一ユニークな施設への整備拡充	都市公園事業(こどもの国公園)(中活計画)		
	沖縄こどもの国整備事業(中活計画)		

2) 取組のロードマップ ③一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

③一番街・八重島方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出
3. 市の玄関口にふさわしい空間の創出

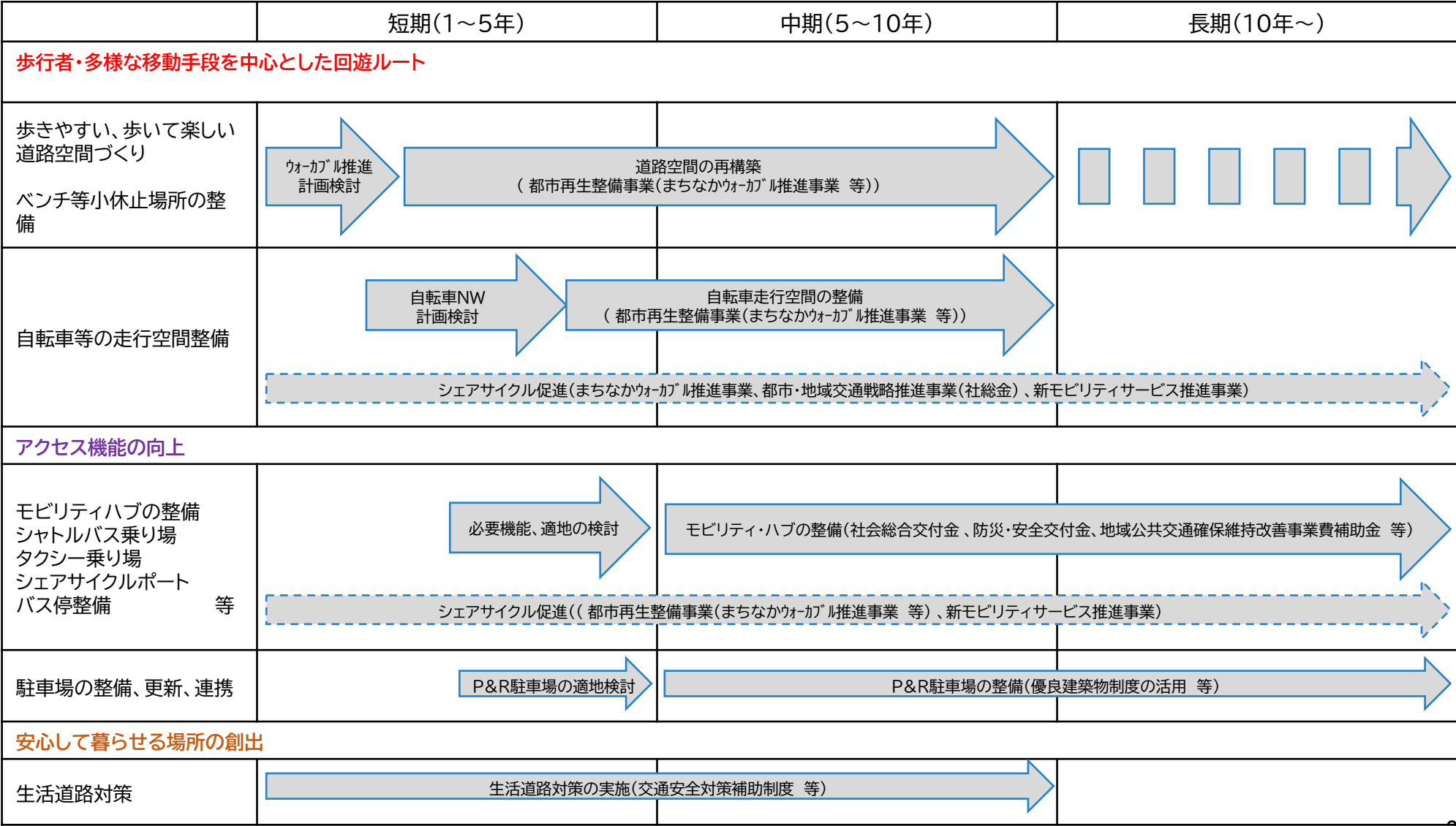


4 計画の推進

2) ロードマップ

③ 一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



4 計画の推進

2) ロードマップ

③ 一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等) 市循環バス、高速バス、観光バス、 その他交通機能等との連携方策検討 P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街組織力等強化事業(中活計画) 商店街等誘客事業(中活計画) 中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		沖縄アリーナと商店街との連携
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

4 計画の推進

2) ロードマップ

③ 一番街・八重島方面の取組の進め方イメージ

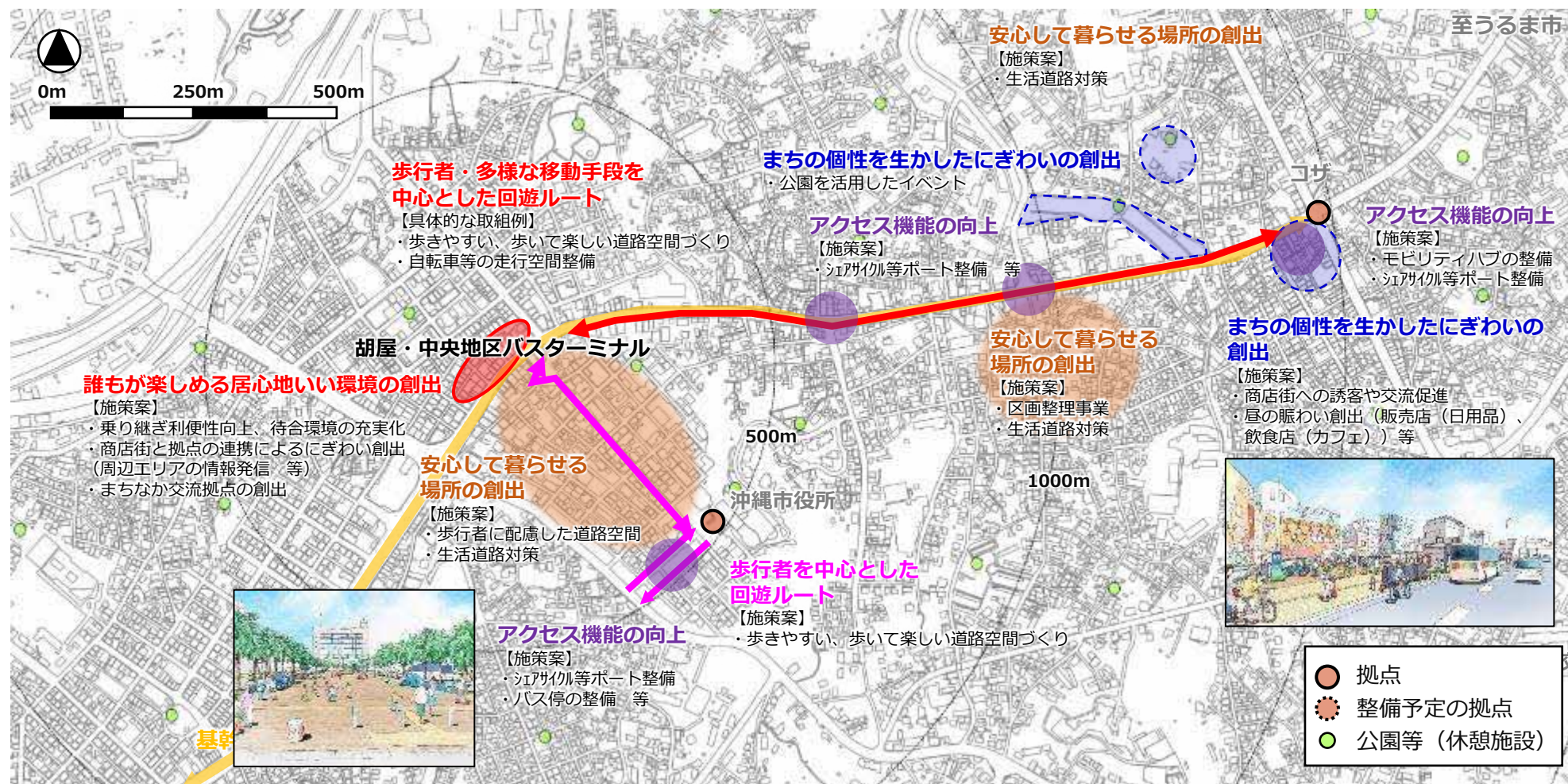
※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
宿泊施設の誘致	宿泊施設等の観光関連産業の誘致(中活計画)		
商店街への誘客や交流促進 昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	商店街組織力等強化事業(中活計画)		
	商店街等誘客事業(中活計画)		
	中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		
パークアベニュー整備事業	パークアベニュー2車線化事業(中活計画)		

2) 取組のロードマップ ④ 沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

④ 沖縄市役所・コザ方面

1. まちの個性（商業・文化・歴史）を生かしたにぎわいの創出
2. 安心して暮らせる環境の創出

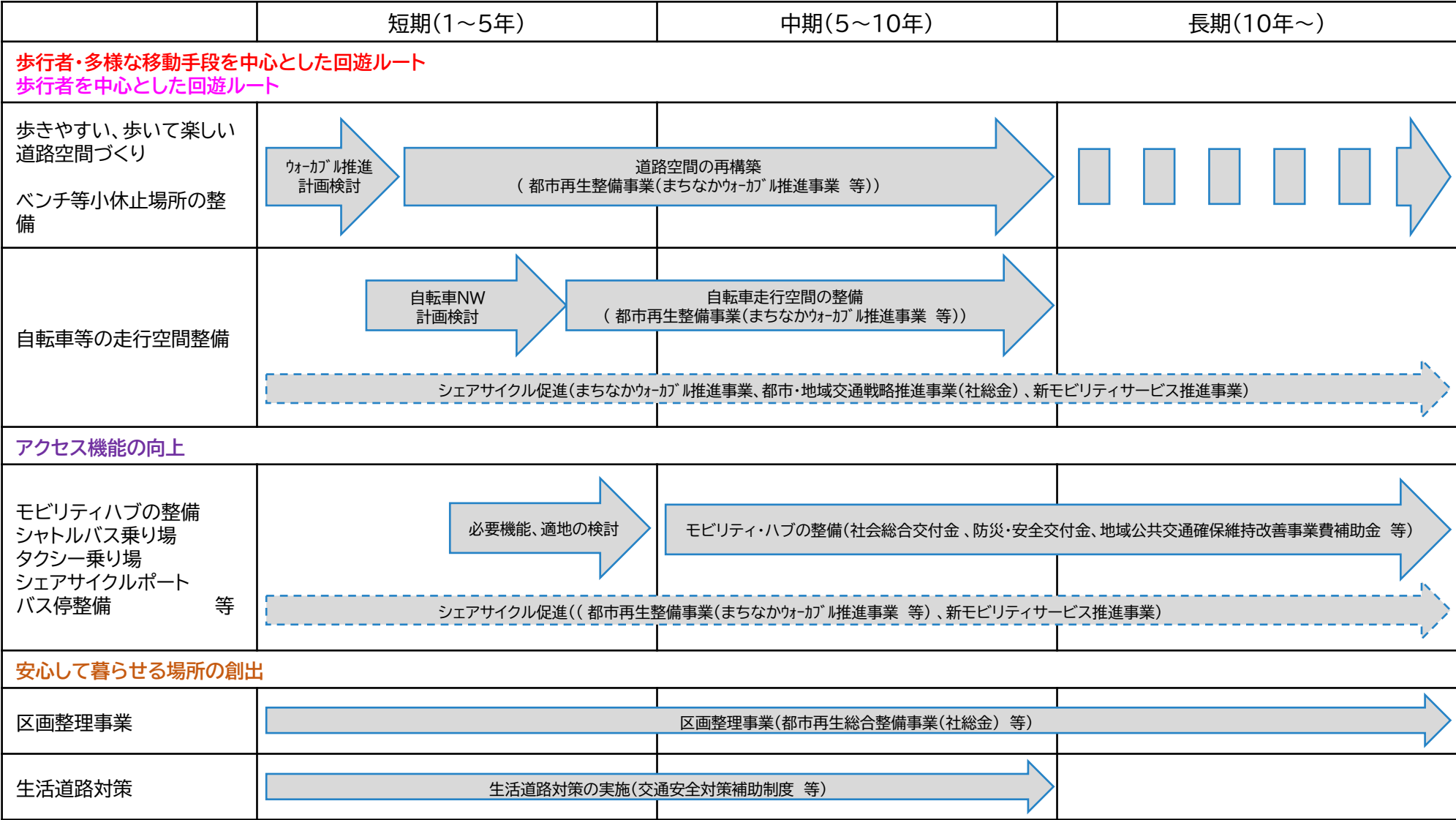


4 計画の推進

2) ロードマップ

④ 沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題



4 計画の推進

2) ロードマップ

④ 沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
誰もが楽しめる居心地いい環境の創出			
乗り継ぎ利便性向上	交通結節点整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
	市循環バス、高速バス、観光バス、 その他交通機能等との連携方策検討		
	P&R駐車場の適地検討	P&R駐車場の整備(優良建築物制度の活用 等)	
待合環境の充実化	待合環境の整備(バスタ事業、社会総合交付金、防災・安全交付金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金、新モビリティサービス推進事業 等)		
商店街と拠点の連携による賑わい創出	商店街組織力等強化事業(中活計画)		
	商店街等誘客事業(中活計画)		
	中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		
	沖縄アリーナと商店街との連携		
まちなか交流拠点の創出	教育研究機関と連携した実証実験	まちなか交流拠点の整備(社会総合交付金、都市再生整備計画事業、バスタ事業 等)	

2)ロードマップ

④沖縄市役所・コザ方面の取組の進め方イメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
まちの個性を生かしたにぎわいの創出			
商店街への誘客や交流促進 昼の賑わい創出(販売店(日用品)、飲食店(カフェ))	商店街組織力等強化事業(中活計画)		
	商店街等誘客事業(中活計画)		
	中心商店街駐車場利用促進事業(中活計画)		

4 取組の検討

2) 取組のロードマップ ⑤ウォーカブルエリアの取り組み方のイメージ

- 住民が感じる魅力的なエリアを踏まえウォーカブルエリアを設定した。

全体(ウォーカブル区域)

コザゲート通り

取組案：歩きやすい空間整備

- ・アメリカンな通りとなるように統一された景観
- ・コザの音楽や歴史の継承
- 活用可能事業例：高質空間形成施設等
(まちなかウォーカブル推進事業)
- 事例：道路空間再配分、歩道に芝生広場等滞留空間設置



(花園町通り／愛媛県松山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通省)

取組案：街路空間の利活用

- ・オープンテラス席等が多くありにぎやかな雰囲気
(バスターミナルを拠点に歩き回りたくなる空間)
- 活用可能事業例：
滞在環境整備事業(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：店舗前にオープンテラス設置



(SAGA ナイトテラスチャレンジ／佐賀県佐賀市)
出典：さがデザイン

取組案：地域住民主体の活動

- ・ゴミのポイ捨てをなくすため見まわり活動
- ・夜間のゴミ収集等の美化活動

中央パークアベニュー

取組案：緑化空間の創出

- ・花やみどりにあふれたひとと中心の通り
- 活用可能事業例：高質空間形成施設
(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：沿道緑化、舗装整備



(本通商店街／広島県福山市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通)

一番街商店街周辺

取組案：既存建築物の改修(リノベーション)

- ・昔からある店舗と新たな店舗が融合した商店街
- 活用可能事業例：エリア価値向上整備事業等
- 事例：空き店舗を活用した交流スペース整備



(もぶるテラス／愛媛県松山市)
出典：全国まちなかひろば研究会

取組案：空地(駐車場等)の利活用

- ・住民の居場所づくり
- 活用可能事業例：活用可能事業例：暫定利用等
- 事例：ウッドデッキや緑化が設置された暫定的な屋外広場



(新栄テラス／福井県福井市)
出典：空き地等の新たな活用
～空き地等の利活用に関する先進的取組～(国土交通)

バスターミナル及び周辺

取組案：休憩場所の創出

- ・人々が滞留する空間(待ち合わせ場所等)
- 活用可能事業例：滞在環境整備事業
(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：路上停車帯にパーレット整備



(元町パーレット／神奈川県横浜市)
出典：ウォーカブルポータルサイト(国土交通)

取組案：案内板・情報版の設置

- ・わかりやすい案内整備
- 活用可能事業例：
地域生活基盤施設
(まちなかウォーカブル推進事業)等
- 事例：デジタルサイネージ



(愛知県名古屋市中区)
出典：Nagoya まちなかウォーカブル戦

取組案：シェアサイクル等の導入

- ・バスターミナルを拠点にした回遊性の促進
- 活用可能事業例：
道路占用許可の特例等
- 事例：道路占用許可制度によるシェアサイクルポートの設置



4 計画の推進

2) ロードマップ

⑤ ウォーカブルエリアの取り組み方のイメージ

※役割分担は今後の検討課題

	短期(1～5年)	中期(5～10年)	長期(10年～)
コザゲート通り			
歩きやすい空間整備	ウォーカブル推進 計画検討	道路空間の再構築 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))	
一番街商店街周辺			
既存建築物の改修	ウォーカブル推進 計画検討	エリア価値向上整備事業 等	
空地(駐車場等)の利活用		暫定利用 等	
バスターミナル及び周辺			
休憩場所の創出	ウォーカブル推進 計画検討	(都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))	
案内版・情報版の設置			
シェアサイクル等の導入		道路占用許可の特例 等	
中央パークアベニュー			
緑化空間の創出	ウォーカブル推進 計画検討	高質空間形成施設 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))	
全体(ウォーカブル区域)			
街路空間の利活用	ウォーカブル推進 計画検討	道路空間の再構築 (都市再生整備事業(まちなかウォーカブル推進事業 等))	
地域住民主体の活動			

3) 取組体制

■ 胡屋地区交通結節点整備検討委員会・公共交通活性化推進協議会との連携・役割分担

沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

第1回：R6.10
第2回：R7.3

【主な役割】

- ・交通拠点と連携した周辺まちづくりの検討推進

【事務局】

- ・沖縄市

下部組織：デザイン検討部会 等



連携

連携

胡屋地区交通結節点整備検討委員会

第1回：R6.10 第2回：R7.3

【主な役割】

- ・全体取りまとめ・総括
- ・各検討会での議論を踏まえた交通拠点に導入すべき 具体機能の検討

【事務局】

- ・沖縄市、沖縄県、沖縄総局、南部国道事務所

連携

沖縄県公共交通活性化推進協議会

第46回：R6.9 第47回：R7.3

沖縄県地域公共交通協議会

第3回：R7.1

【主な役割】

- ・基幹バスシステムの導入、バスレーン
- ・沖縄県地域公共交通計画の作成・実施

【事務局】

- ・沖縄県

沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 沖縄市胡屋・中央地区における交通結節点及びその他周辺整備等（以下「沖縄市交通拠点まちづくり」という。）に係る沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）（以下「基本計画」という。）の策定にあたり、専門的な知見等から幅広く意見聴取を行うことを目的として、沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、「沖縄市交通拠点まちづくり」について、様々な観点から検討及び協議し、意見を述べるものとする。

(委員会構成)

第3条 委員会は、市長が委嘱し、又は任命する委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱又は任命された日より沖縄市交通拠点まちづくりに係る基本計画の策定までとする。

3 委員会は別表に掲げる委員をもって構成する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長と副委員長を各1名置き、委員の互選でこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員長は、必要があると認めるときには、委員会の会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聞くことができる。

4 委員会の会議は、原則公開とする。ただし、委員長は、公開することにより公正かつ円滑な会議運営に著しい支障が生ずると認められるなど、特別な理由がある場合には、非公開とすることができる。

5 委員長は、やむを得ない理由により委員会を開くことが出来ない場合において、事案の概要を記載した書面を委員に配布し、その意見を徴することができる。

6 前項の規定により意見を徴した場合、委員長が次の委員会において報告しなければな

らない。

(代理出席)

第6条 委員がやむを得ず出席できない場合であって、市長が必要と認めたときは、委員は代理出席者を会議に出席させることができる。

(基本計画の策定)

第7条 市は、基本計画の策定にあたり、委員会で聴取した意見を十分に考慮するとともに、基本構想に反映させるよう努めるものとする。

(検討部会)

第8条 委員長は、必要に応じて検討部会を設置することができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、沖縄市建設部都市整備室都市交通担当において処理する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和6年10月 日から施行する。

別表

分類	役割	所属	役職
学識者	委員	琉球大学	名誉教授
	委員	琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース	准教授
市民・利用者	委員	胡屋自治会	会長
	委員	センター自治会	会長
	委員	中の町自治会	会長
	委員	まちづくりNPO コザまち社中	理事長
	委員	社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会	事務局長
	委員	一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	会長
商業関係者	委員	沖縄市一番街商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市サンシティ商店街振興組合	理事長
	委員	沖縄市センター商店街振興組合	代表理事
	委員	コザゲート通り会	会長
	委員	コザパルミラ通り会	会長
	委員	胡屋大通り会	会長
	委員	合同会社イドムス	代表社員
	委員	沖縄商工会議所 中小企業振興部	部長
交通関係者	委員	一般社団法人 沖縄県バス協会	専務理事
	委員	沖縄バス株式会社	取締役運輸部長
	委員	東陽バス株式会社	運輸部部长
	委員	株式会社 琉球バス交通	代表取締役
	委員	一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	専務理事
行政	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	課長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 運輸部 企画室	室長
	委員	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所	副所長
	委員	沖縄県 企画部 交通政策課	課長
	委員	沖縄市 企画部	部長
	委員	沖縄市 建設部	部長
	委員	沖縄市 建設部	参事
	委員	沖縄市 経済文化部	部長
オブザーバー		内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所 管理第2課	課長
		独立行政法人 都市再生機構九州支社 沖縄まちづくり支援事務所 まちづくり支援課	課長

胡屋・中央地区交通拠点における にぎわい創出の社会実験 ～アンケート集計結果～

令和7年3月24日（月）
沖縄市 建設部 都市整備室 都市交通担当

○実験概要等

1. 実験概要

- ・ 胡屋・中央地区の結節の不便性を解消し、また、道路空間を活用して賑わいを創出する。

2. 実験内容、実験結果

①胡屋地区周辺における賑わいの創出

- ⇒歩行者量は、18時～19時の時間帯の歩行者量が多く、11月のイベント時で599人、12月のイベントで288人とそれぞれ通常時の4.8倍と2.3倍歩行者量が増加している。
- ⇒アリーナ等施設利用者の胡屋地区周遊割合は、4%と胡屋地区でイベントがない場合で1.7%に比べ、胡屋地区への立ち寄り割合が増加している。
- ⇒胡屋地区来訪者の滞在時間は、56分となり、平常時49分に比べ、1.14倍滞在時間が増加している。
- ⇒胡屋地区来訪者の満足度は、62.6%となり、目標値の70%より7.4ポイント下回っている。

②イベント開催に合わせたバスの運行

- ⇒11月～12月の合計利用者数は309人(11月50人、12月259人)
- ⇒イベント来場者のバス利用者割合は、11月イベント時3.5%、12月イベント時で8.8%であり、12月時は目標値を2.8ポイント上回っている。
- ⇒自動車から公共交通への展開では、11月イベント時80.7%、12月イベント時で55.8%であった。
- ⇒シャトルバスの満足度は、93.6%と目標値70%を23.6ポイント上回っている。

③シェアサイクルポートの設置

- ⇒シェアサイクル利用者の満足度は、70%と目標値と同数値である。



○アンケート実施概要

○アンケート実施期間:11月9日～12月29日の土・日

○アンケート対象者

- ①夜間高速バス(連絡バス)利用者 :バス乗車確認時にQRコードを配布
- ②11/16パークアベニュー来訪者 :パークアベニューで聞き取り調査を実施
- ③12/14、15パークアベニュー来訪者 :パークアベニューで聞き取り調査を実施
- ④12/14、15沖縄アリーナ来訪者 :沖縄アリーナで聞き取り調査を実施

○アンケート実施方法

①夜間高速バスの利用者への配布

- ・ シャトルバス乗り場(ホテルバス停前)、夜間高速バス乗り場(胡屋バス停)でQRコードを配布

※車内への乗り込み・回答の催促について、シャトルバスは人数が制限されること、夜間高速バスは車内立ち移動が禁止されること、また、飲酒された人とのトラブルが想定されることから、基本的に行わない。



図 配布カードイメージ

②胡屋地区への来訪者への配布

- ・ 胡屋地区・パークアベニューイベントへ来訪した人へヒアリング調査。ヒアリングが難しい場合はQRコードを配布。

③アリーナへの来訪者への配布

- ・ 配布方法は①と同様を想定。
- ・ アリーナでのイベントが開催されない日は対象外とする。

①夜間高速バスの利用者への配布

対象 : 夜間バス・シャトルバスを利用する人 ※シャトルバス、夜間バスは基本セット予約
手法 : QRコード配布(カードをバス入口で手渡し) ※飛び込みも受け入れ予定のため
時間 : 22:30、23:00の2便
調査員 : 1名

※車内への乗り込み・回答の催促について、シャトルバスは人数が制限されること、夜間高速バスは車内立ち移動が禁止されること、また、飲酒された人とのトラブルが想定されることから、基本的に行わない。



図 配布カードイメージ

②胡屋地区への来訪者への配布

対象 : 胡屋地区へ訪れた人(商店街内)

手法 : ヒアリングアンケート(聞き取り) ※難しければQRコード配布

時間 : 9:00~21:00 ※11月16日、12月14、15日の3日間

調査員 : 4名(2名ずつ交代)



③アリーナへの来訪者への配布

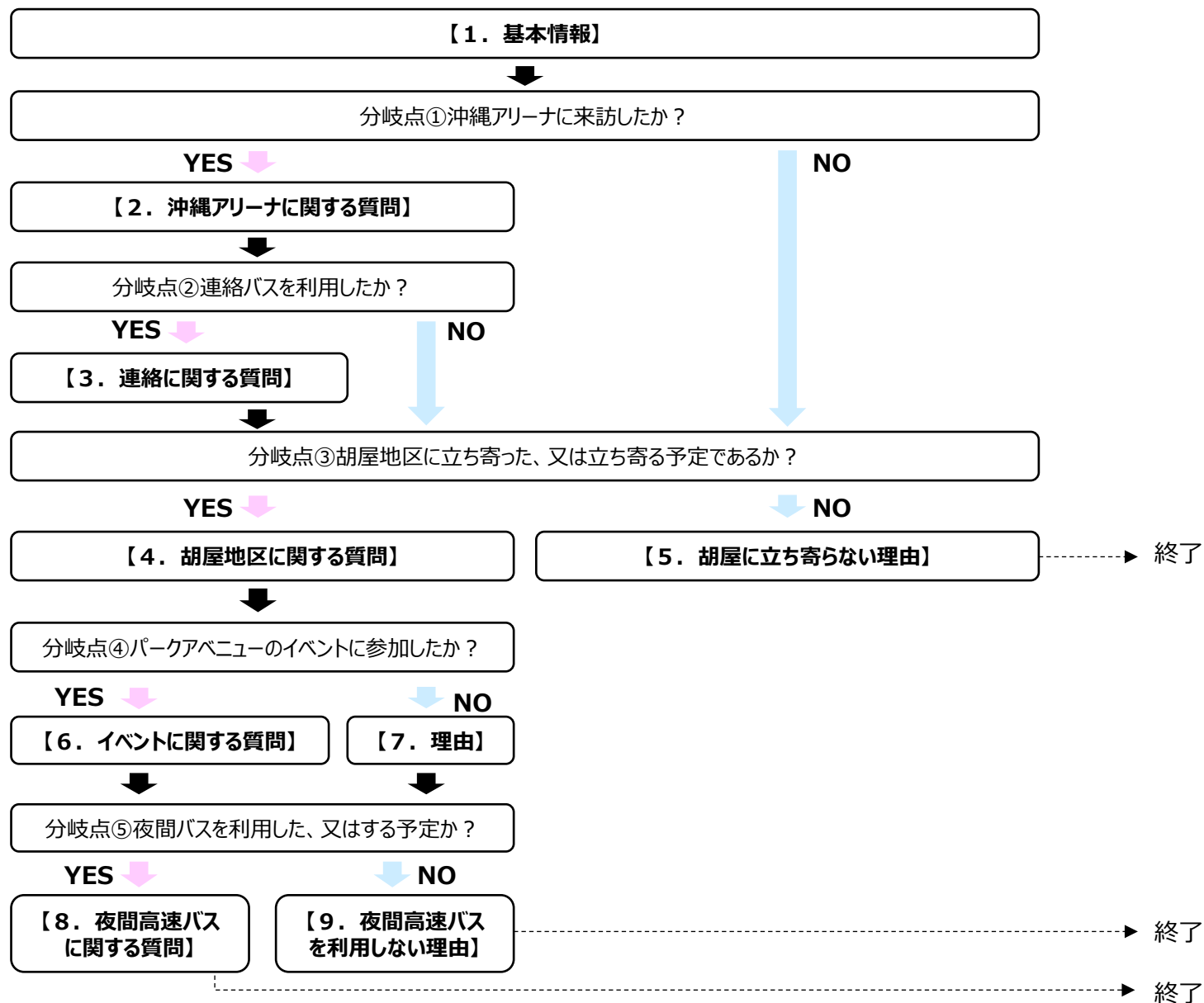
対象 :アリーナへ訪れた人

手法 :QRコード配布

時間 :12:00～15:00 ※12月14、15日の2日間
→試合時間が15:05～であることから、入場前の時間で配布

調査員 :2名

○アンケート項目のフロー



1. 基本情報

項目	選択項目	備考
性別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他	性別による違いを把握
年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上	年齢別による違いを把握
居住地	☐ 沖縄市内 ☐ 沖縄市外(記述) ☐ 県外	居住地別による違いを把握。市内外、県内外での違い
宿泊先(3が県外であった場合)	☐ 沖縄市内 ☐ 沖縄市外(那覇 北谷 その他)	宿泊先による違いを把握。
沖縄への来訪回数(3が県外であった場合)	☐ 初めて ☐ 2～5回程度 ☐ 6～10回程度 ☐ 11回以上	初来訪者とリピーターによる違いを把握
何人で来ましたか	☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人 ☐ 4人以上	人数による違いを把握
同伴者との関係は	☐ 親、兄弟 ☐ 友人、同僚(同級生) ☐ その他 ☐ なし	同伴者との関係性による違いを把握
胡屋中央地区への来訪手段	☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族に送迎) ☐ 自動車(誰かに送迎) ☐ 路線バス ☐ タクシー ☐ 二輪車・原付 ☐ 自転車(シェアサイクル) ☐ 徒歩 ☐ その他	アリーナのみ来訪して帰る方のために、胡屋への手段とは切り分けて把握
胡屋中央地区での移動手段	☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族に送迎) ☐ 自動車(誰かに送迎) ☐ 路線バス ☐ タクシー ☐ 二輪車・原付 ☐ 自転車(シェアサイクル) ☐ 徒歩 ☐ その他	アリーナのみ来訪して帰る方のために、胡屋への手段とは切り分けて把握

1. 基本情報

項目	選択項目	備考
【シェアサイクルを利用された方】 使ってみて良かった点(悪かった点)は何ですか？	☐小回りが利き自由に動けた ☐ポートが多く使いたい場所から使えた ☐バス等への乗り継ぎがしやすかった ☐利用方法が分かりやすかった ☐渋滞等に巻き込まれることなく移動できた ☐バス等と違い、待ち時間無く利用できた ☐その他(記述式)	
シェアサイクル等の小型モビリティの利用を考える際に、重要視することはなんですか？	☐料金が安い ☐ポートが多い ☐台数が多い ☐他交通手段への乗り継ぎのしやすさ ☐周辺道路環境(道路側の安全性、快適性等) ☐モビリティ本体の安全性 ☐操作方法の分かりやすさ ☐利用方法の分かりやすさ ☐その他()	

2. 沖縄アリーナに関する質問(YESの場合)

項目	選択項目	備考
沖縄アリーナへの来訪回数	☐ 初めて ☐ 2～5回程度 ☐ 6～10回程度 ☐ 11回以上	初来訪者とリピーターによる違いを把握
沖縄アリーナまでの移動手段	☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族に送迎) ☐ 自動車(誰かに送迎) ☐ 路線バス ☐ 沖縄市循環バス ☐ タクシー ☐ 二輪車・原付 ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ シャトルバス(琉球GK) ☐ シャトルバス(予約) ☐ その他	移動手段による違いを把握
沖縄アリーナで使用した金額 (チケット代を除く)	☐ 1,000円以内 ☐ 1,000～2,000円 ☐ 2,000～3,000円 ☐ 3,000～4,000円 ☐ 3,000～4,000円 ☐ 4,000～5,000円 ☐ 5,000円以上 ☐ わからない	経済効果を把握
沖縄アリーナの後の目的地	☐ 自宅 ☐ 胡屋地区 ☐ 駐車場 ☐ ホテル ☐ その他(記述式)	沖縄市R4アンケート項目と統一 イベント参加後の目的地を把握

3. シャトルバスに関する質問(YESの場合)

項目	選択項目	備考
今回のシャトルバスを利用して良かった点は何ですか？ (悪かった点はこれの裏返し)	☐ 無料だった ☐ 待合環境(ベンチがある、雨風をしのげる 等) ☐ 運行頻度(欲しい時間帯に便があった 等) ☐ 正確さ(遅延が少ない、時間が読みやすい 等) ☐ 自分で運転しなくてよかった(お酒を飲める、寝られる) ☐ わかりやすさ(ダイヤ・料金等、情報がわかりやすかった 等) ☐ バリアフリー、ユニバーサルデザイン ☐ その他	夜間バスとシャトルは分けて整理 シャトル利用者＝アリーナ訪問者であるはずなので、アリーナに関する設問の中で聞き取る
どの媒体で情報を入手したか	☐ 新聞 ☐ ラジオ ☐ SNS ☐ チラシ ☐ ポスター(道の駅) ☐ ポスター(那覇バスターミナル) ☐ ポスター(商業施設) ☐ ポスター(モノレール駅) ☐ モノレール各駅の広告 ☐ アリーナでのサイネージ ☐ 友人・知人からの口コミ ☐ その他 ☐ 知らなかった	情報を入手した媒体を把握 ※最終的にどの媒体で広報するかに応じて選択肢を変更

4. 胡屋地区に関する質問(YESの場合)

項目	選択項目	備考
胡屋地区への来訪目的	☐ 飲食 ☐ 買い物 ☐ 仕事・業務 ☐ イベント参加 ☐ その他	来訪目的を把握
胡屋地区への来訪回数	☐ 初めて ☐ 2～5回程度 ☐ 6～10回程度 ☐ 11回以上	初来訪者とリピーターによる違いを把握
胡屋地区までの移動手段	☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族に送迎) ☐ 自動車(誰かに送迎) ☐ 路線バス ☐ 沖縄市循環バス ☐ タクシー ☐ 二輪車・原付 ☐ 自転車 ☐ シェアサイクル ☐ 徒歩 ☐ シャトルバス(琉球GK) ☐ シャトルバス(予約) ☐ その他	移動手段による違いを把握
胡屋地区以外に周遊した(する予定)の市内の施設	☐ BCコザ ☐ ミュージックタウン ☐ こどもの国 ☐ その他()	周遊実態の把握
前問周遊に用いた移動手段	☐ 自動車(自分で運転) ☐ 自動車(家族に送迎) ☐ 自動車(誰かに送迎) ☐ 路線バス ☐ 沖縄市循環バス ☐ タクシー ☐ 二輪車・原付 ☐ 自転車 ☐ シェアサイクル ☐ 徒歩 ☐ その他	周遊実態の把握
胡屋地区で使用した金額	☐ 1,000円以内 ☐ 1,000～2,000円 ☐ 2,000～3,000円 ☐ 3,000～4,000円 ☐ 3,000～4,000円 ☐ 4,000～5,000円 ☐ 5,000円以上 ☐ わからない	経済効果を把握
胡屋地区の満足度		
①まち、通りの景観	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	5段階評価で把握
②まち、通りの雰囲気	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
③まち、通りの活気	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
④まち、通りの店舗	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
⑤通りの歩きやすさ	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
⑥胡屋地区の満足度	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	

5. 胡屋に立ち寄らない理由(NOの場合)

項目	選択項目	備考
胡屋地区へ立ち寄らない理由	☐ 時間がなかった ☐ 魅力を感じなかった ☐ 存在を知らなかった ☐ 移動手段がなかった ☐ その他(記述式)	立ち寄らない理由を把握
どのような移動手段があれば、胡屋地区に立ち寄ろうと思うか？(周辺を周遊してみようと思うか？)	☐ 小回りの利く交通手段 ☐ 無料で(安価で)利用できる交通手段 ☐ 待ち時間の少ない交通手段 ☐ 天候に左右されない交通手段 ☐ 複数人で移動しやすい交通手段 ☐ 安全な、事故リスクが低い交通手段 ☐ 遅れが無い、時間の読める交通手段 ☐ 誰にでも使いやすい、ユニバーサルデザインの交通手段 ☐ その他()	交通手段に対するニーズ 前問で”移動手段がなかった”を選択した人
胡屋周辺にどのような施設等があれば立ち寄ろうと思うか？	☐ 販売店(日用品等) ☐ 販売店(観光用等) ☐ 飲食店(カフェ等) ☐ 飲食店(居酒屋等) ☐ バスケットコート等の運動施設 ☐ 宿泊施設 ☐ 広場空間・イベントスペース ☐ その他(記述)	魅力に対するニーズ 前々問で”魅力を感じなかった”を選択した人

6. イベントに関する質問(YESの場合)

項目	選択項目	備考
イベントへの満足度		
①ダンスイベントについて	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	イベント内容に応じて選択肢の設定が必要
②飲食のお店	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
③憩いの場として	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
④キングス商店街	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
⑤イベント全体の満足度	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
今後、憩いスペースがあれば利用するか	☐ 利用する ☐ どちらかといえば利用する ☐ どちらかといえば利用しない ☐ 利用しない	
憩いスペースに求めるもの	☐ デザイン性 ☐ 快適性 ☐ 安心感 ☐ 特になし ☐ その他 (記述式)	

6. イベントに参加しなかった理由(NOの場合)

項目	選択項目	備考
イベントへ参加しない理由	☐ 時間がなかった ☐ 魅力を感じなかった ☐ 存在を知らなかった ☐ 移動手段がなかった ☐ その他(記述式)	参加しない理由を把握

7. 夜間バスに関する質問(YESの場合)

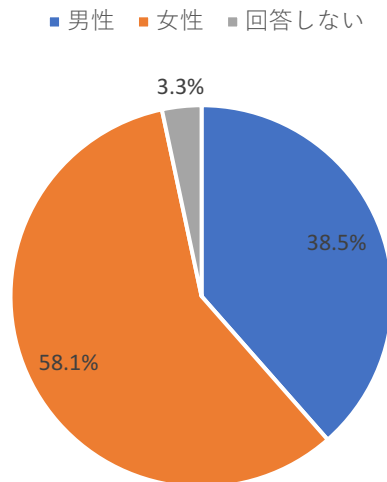
項目	選択項目	備考
今回の夜間バスを利用して良かった点は何ですか？ (悪かった点はこれの裏返し)	☐ 無料だった ☐ 待合環境(ベンチがある、雨風をしのげる 等) ☐ 運行頻度(欲しい時間帯に便があった 等) ☐ 正確さ(遅延が少ない、時間が読みやすい 等) ☐ 乗り継ぎ(乗り継ぎ時間が短い、乗り継ぎが分かりやすい 等) ☐ 胡屋地区に賑わいがあり、待ち時間も楽しめた ☐ 自分で運転しなくてよかった(お酒を飲める、寝られる) ☐ わかりやすさ(ダイヤ・料金等、情報がわかりやすかった 等) ☐ バリアフリー、ユニバーサルデザイン ☐ その他	公共交通で重要視する項目を把握 社会実験の効果検証なので、公共交通の一般論ではなく、あくまで社会実験を実施してみての感想を聞く形式にした方が良いと思います
夜間バスの満足度		
①夜間バスの運行ルート	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	5段階評価で把握
②夜間バスのダイヤ	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
③夜間バスの乗り場	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
④夜間バスに対する満足度	☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ 普通 ☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ わからない	
夜間バスが有料だとした場合、いくらまでなら利用するか	(記述式)	利用者の支払い意識を把握
どの媒体で情報を入手したか	☐ 新聞 ☐ ニュース ☐ ラジオ ☐ SNS ☐ チラシ ☐ ポスター ☐ モノレール各駅の広告 ☐ アリーナでのサイネージ ☐ 友人・知人からの口コミ ☐ その他 ☐ 知らなかった	情報を入手した媒体を把握 ※最終的にどの媒体で広報するかに応じて選択肢を変更

8. 夜間バスを利用しない理由(NOの場合)

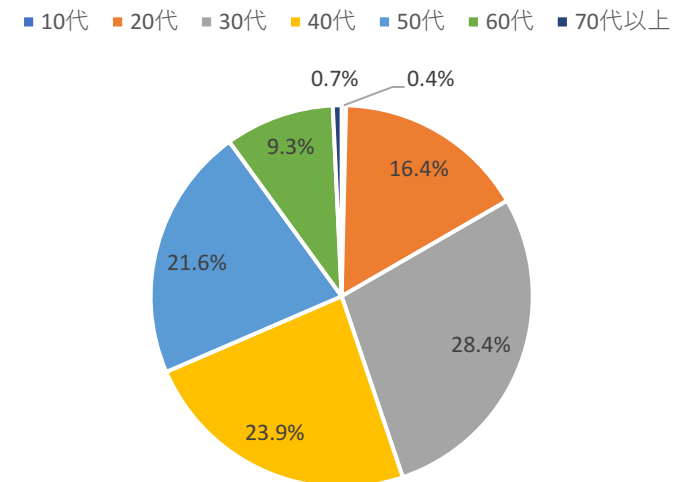
項目	選択項目	備考
夜間バスを利用しない理由	☐ 自家用車もしくはレンタカー等の他の交通手段を利用した ☐ 沖縄市内で自由に動けるの交通手段が無かった/わからなかった ☐ 希望の時間帯に便がなかった ☐ 遅延の可能性があったため ☐ 利用する必要が無かった(周辺に住んでいるため 等) ☐ 夜間高速バスの存在を知らなかった ☐ 那覇方面から沖縄市に向かう便(往路)が無かったため ☐ その他(記述式)	利用しない理由を把握
どの媒体で情報を入手したか	☐ 新聞 ☐ ニュース ☐ ラジオ ☐ SNS ☐ チラシ ☐ ポスター ☐ モノレール各駅の広告 ☐ アリーナでのサイネージ ☐ 友人・知人からの口コミ ☐ その他 ☐ 知らなかった	情報を入手した媒体を把握 ※最終的にどの媒体で広報するかに応じて選択肢を変更

集計結果

■性別(N=274)

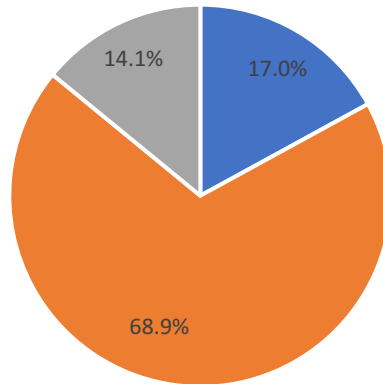


■年代(N=274)



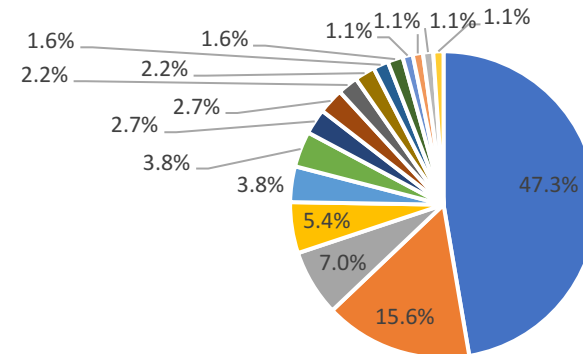
■来訪者の居住地(N=274)

■ 沖縄市内 ■ 沖縄市外 ■ 県外



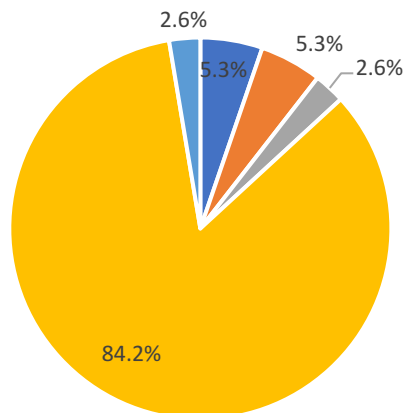
■沖縄市外の来訪者(N=186)

■ 那覇市 ■ 浦添市 ■ 豊見城市 ■ 宜野湾市 ■ 北谷町 ■ 名護市
 ■ うるま市 ■ 西原町 ■ 読谷村 ■ 南風原町 ■ 糸満市 ■ 与那原町
 ■ 金武町 ■ 今帰仁村 ■ 中城村 ■ 北中城村



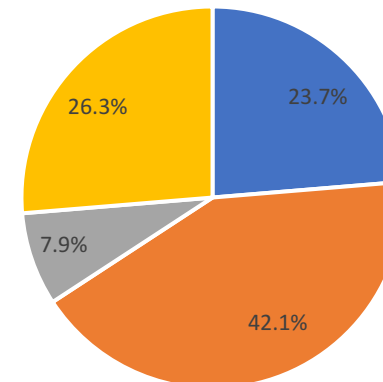
■県外の来訪者の宿泊先(N=38)

■ うるま市 ■ 沖縄市 ■ 宜野湾市 ■ 那覇市 ■ 北谷町



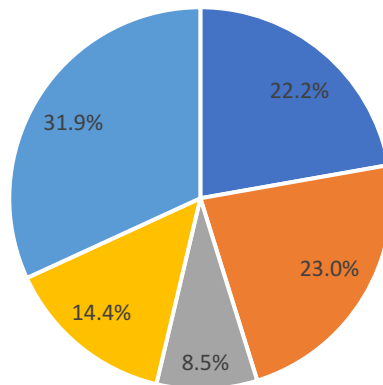
■沖縄本島への来訪回数(N=38)

■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



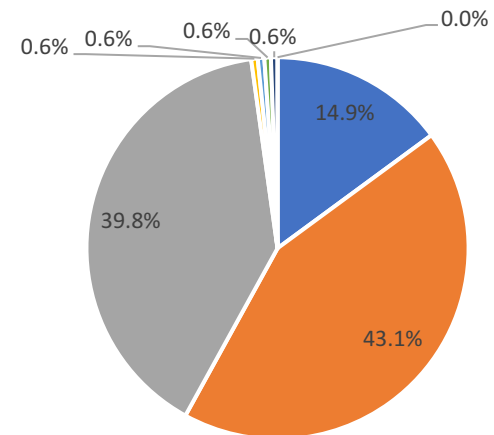
■同伴者の人数(N=274)

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上 ■ 同伴者はいない



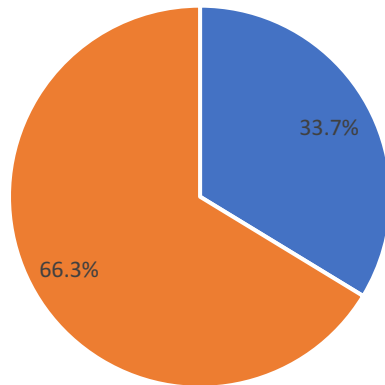
■同伴者との関係

■ 同僚 ■ 友人 ■ 親・家族 ■ ひとり利用 ■ 彼女 ■ 彼氏 ■ カップル ■ 未回答

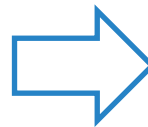


■アリーナへの来訪(N=274)

■ はい ■ いいえ

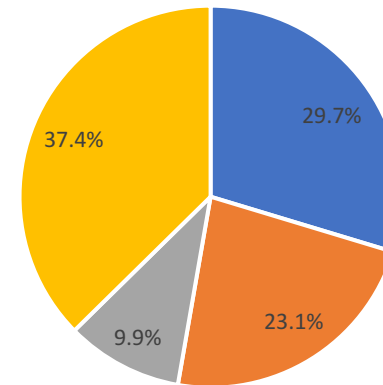


「はい」と回答した人

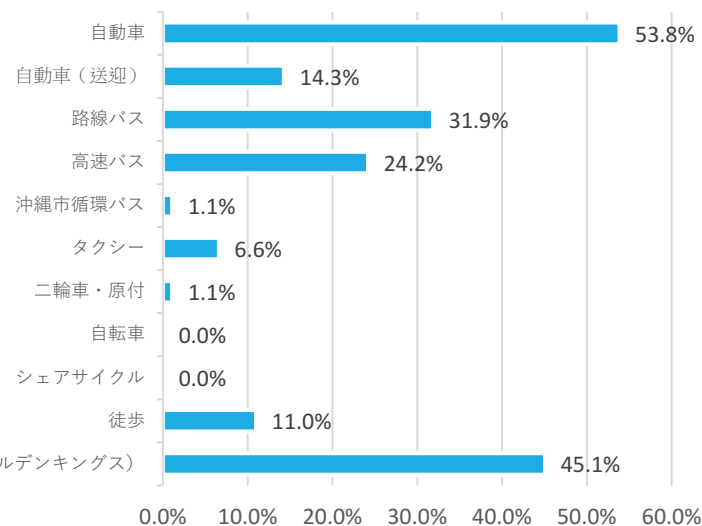


■アリーナへの来訪回数(N=91)

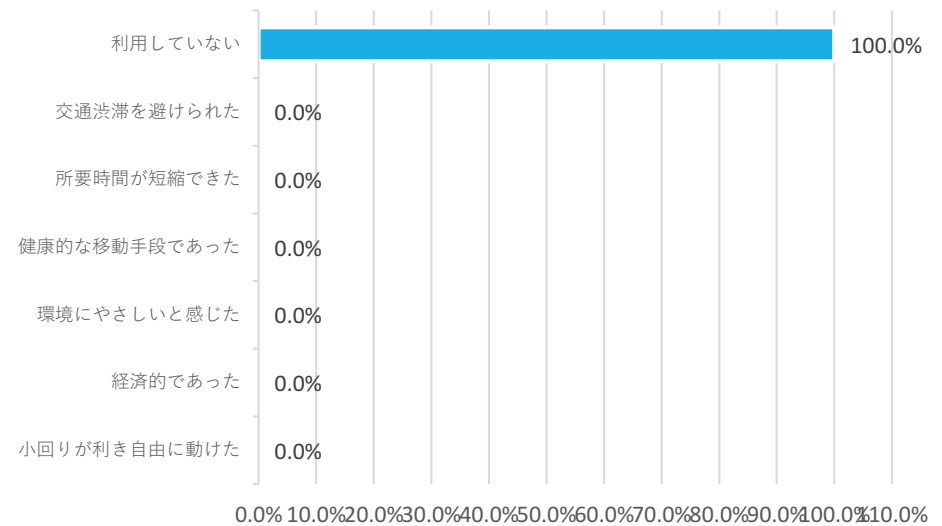
■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



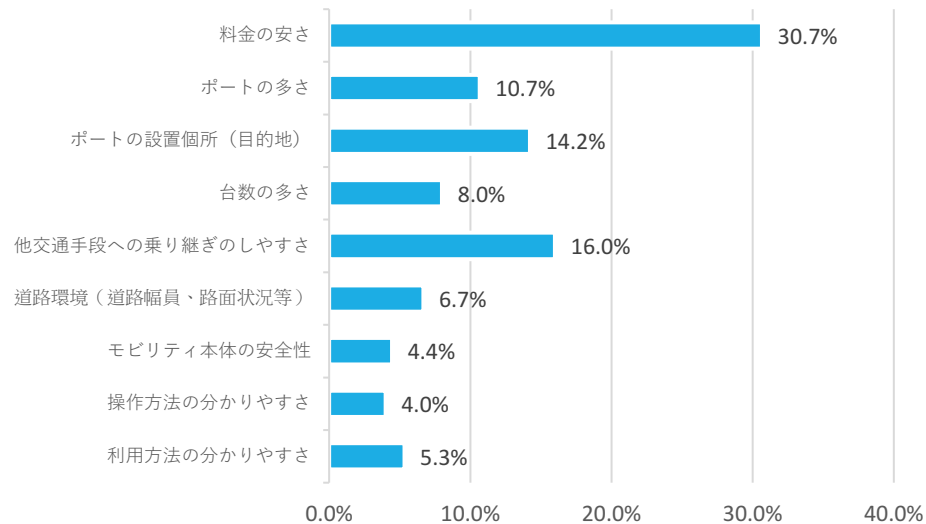
■アリーナへの移動手段(N=91)



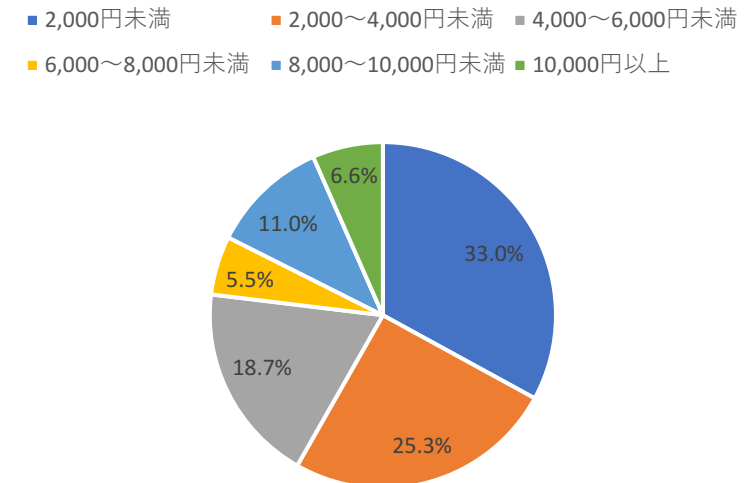
■シェアサイクルの利用(N=42)



■パーソナルモビリティで重要視すること(N=91)

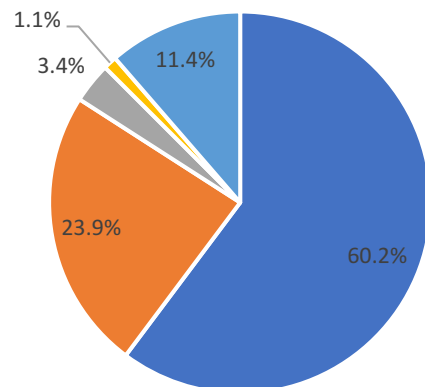


■アリーナでの消費額(N=91)

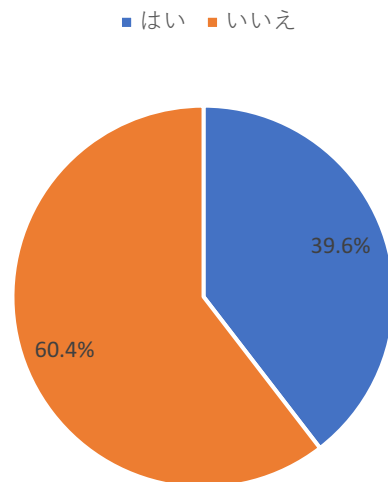


■アリーナ後の行先(N=88)

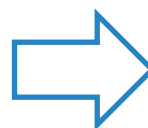
■自宅または宿泊先 ■市内(胡屋・中央地区) ■市内(その他) ■北谷 ■那覇



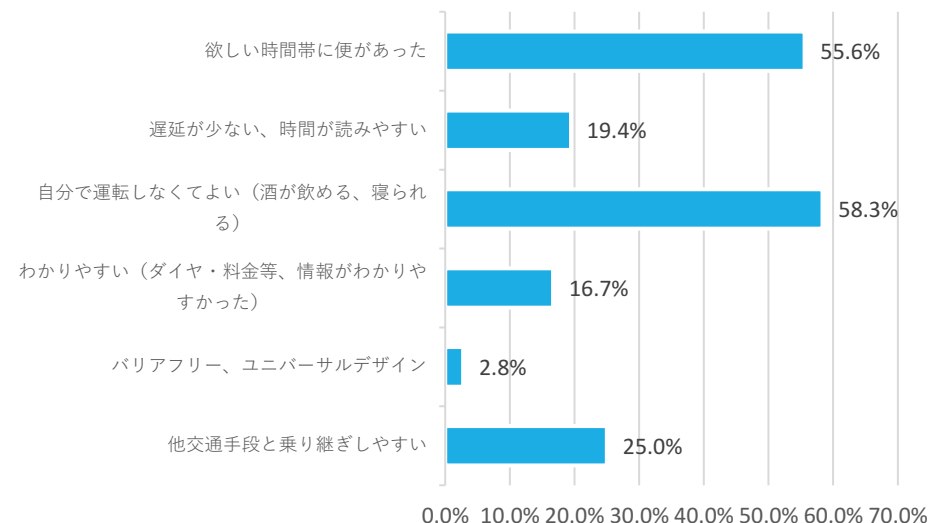
■連絡バスの利用状況(N=91)



「はい」と回答した人

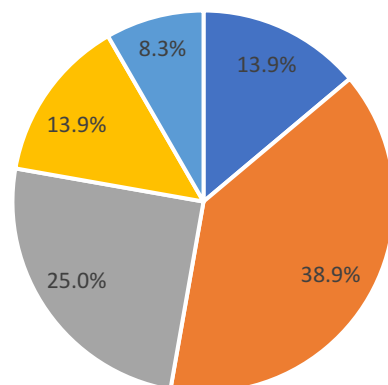


■連絡バスの良かった点(N=36)

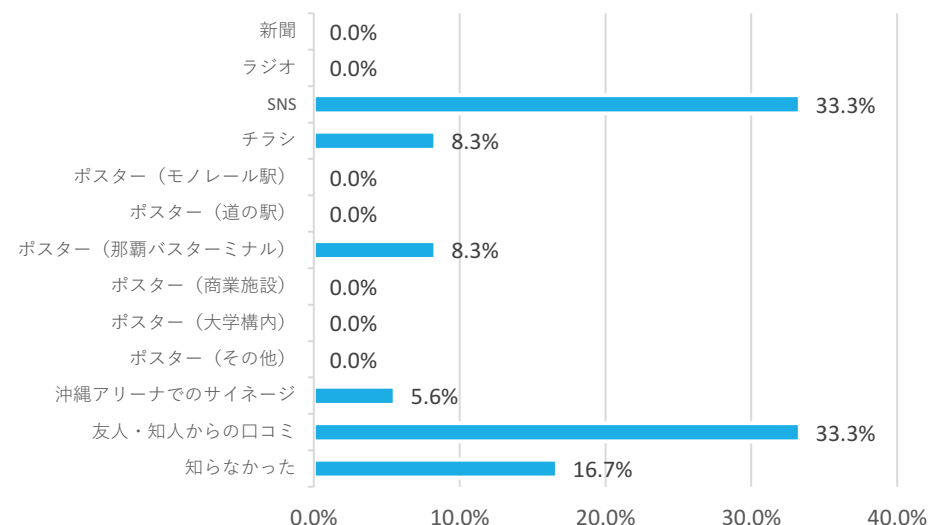


■連絡バスの料金(N=36)

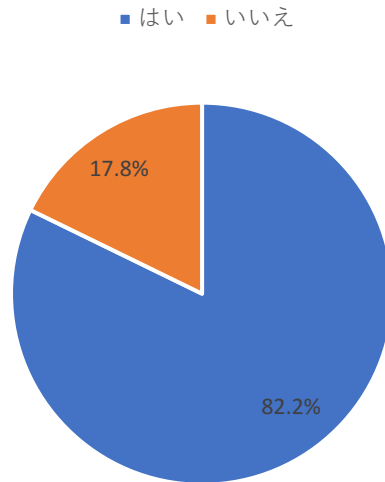
■ 100円以内 ■ 200円以内 ■ 300円以内 ■ 400円以内 ■ 500円以上



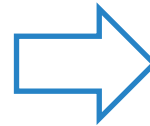
■連絡バスの情報入手ツール(N=36)



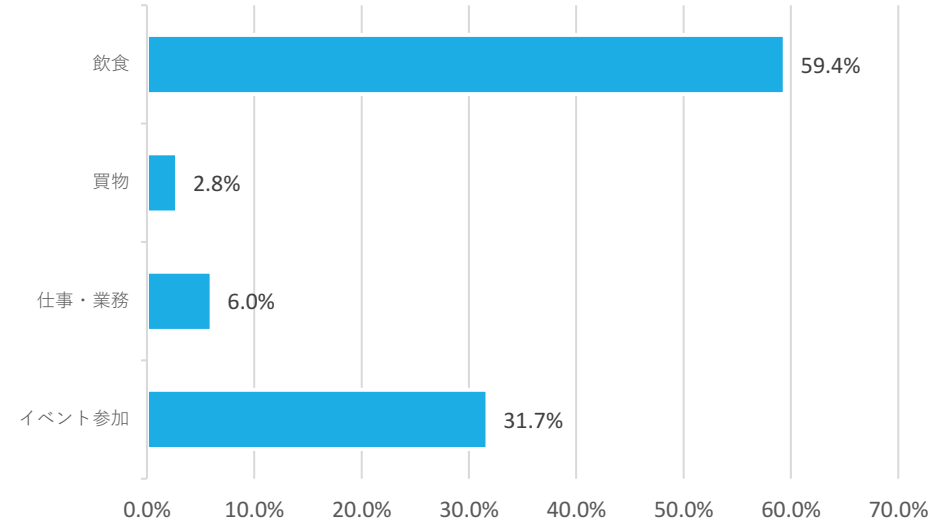
■胡屋・中央地区への来訪(N=274)



「はい」と回答した人

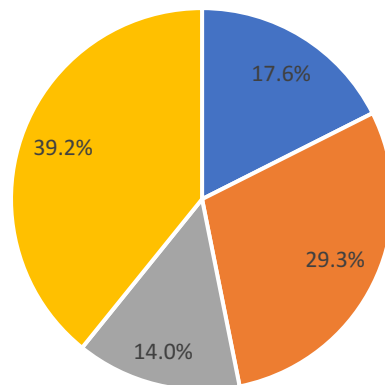


■胡屋・中央地区への来訪目的(N=226)

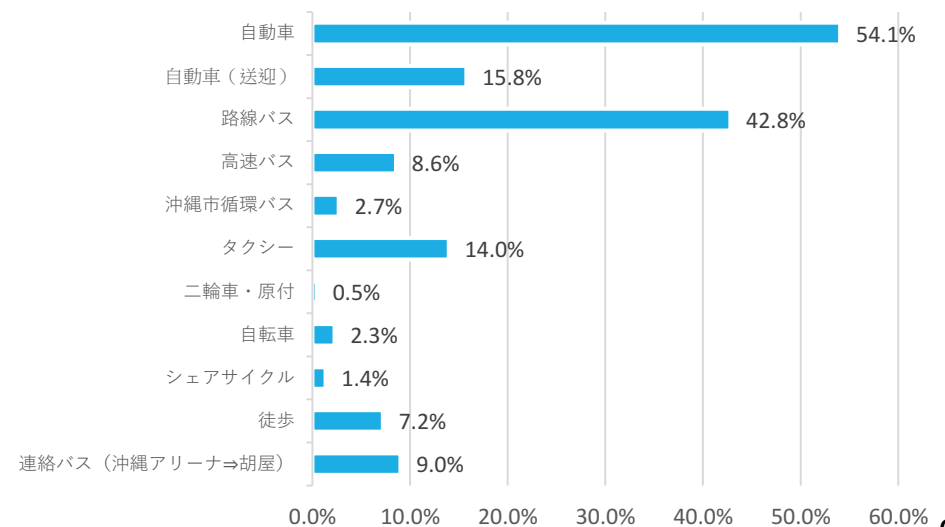


■胡屋・中央地区への来訪回数(N=226)

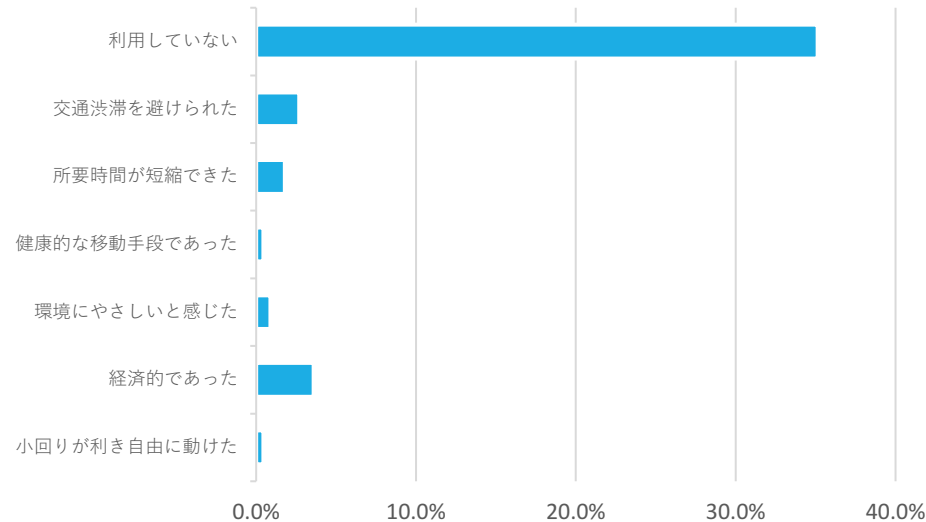
■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



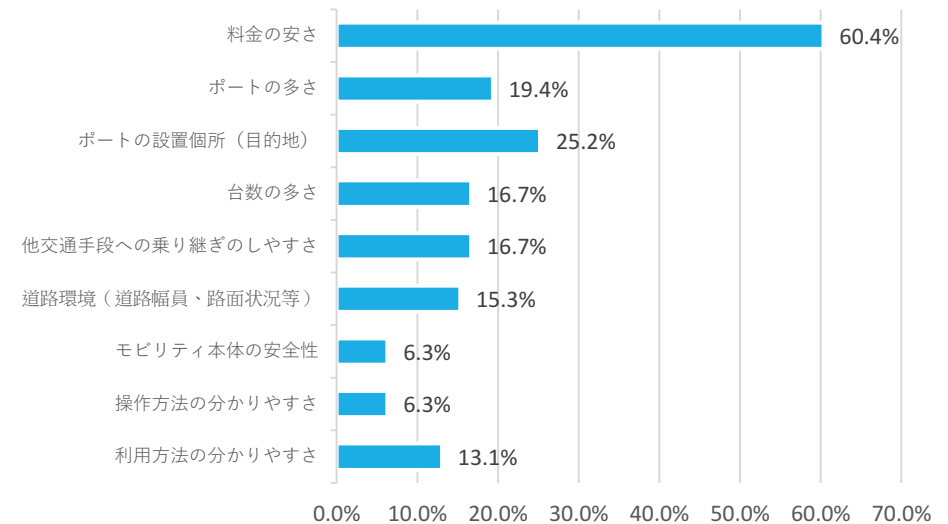
■胡屋・中央地区への来訪手段(N=226)



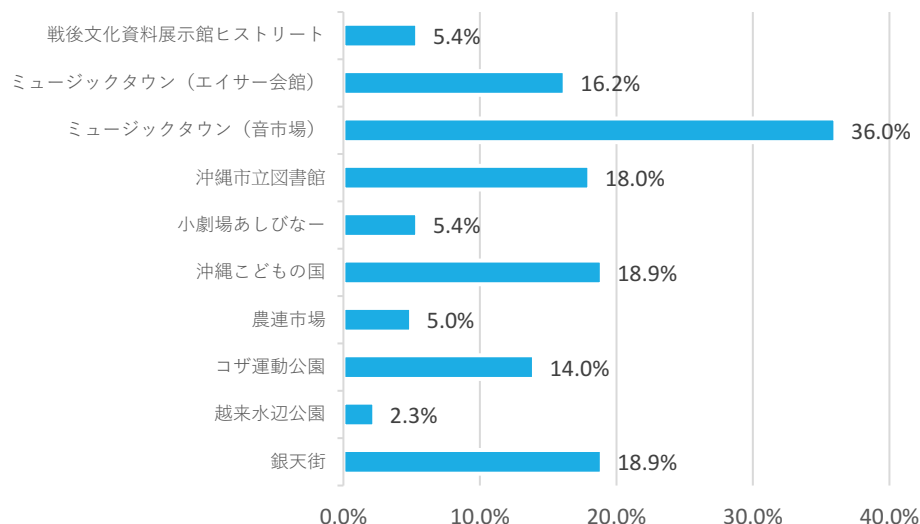
■シェアサイクルの利用(N=226)



■パーソナルモビリティで重要視すること(N=226)

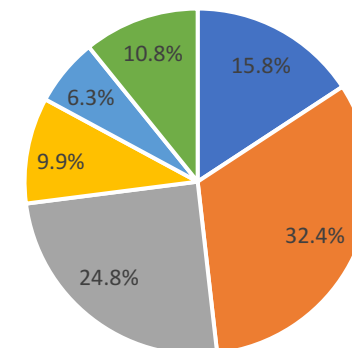


■他に訪れた施設(N=226)



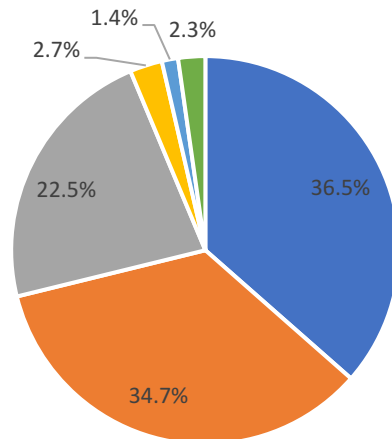
■胡屋・中央地区での消費額(N=226)

■ 2,000円未満
 ■ 2,000～4,000円未満
 ■ 4,000～6,000円未満
 ■ 6,000～8,000円未満
 ■ 8,000～10,000円未満
 ■ 10,000円以上



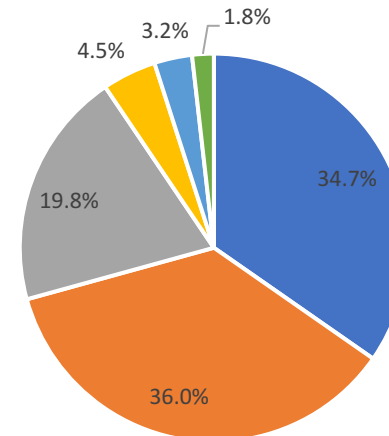
■ ①まち、通りの景観への満足度(N=226)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



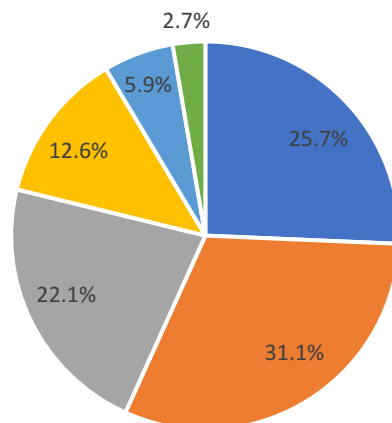
■ ②まち、通りの雰囲気への満足度(N=226)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



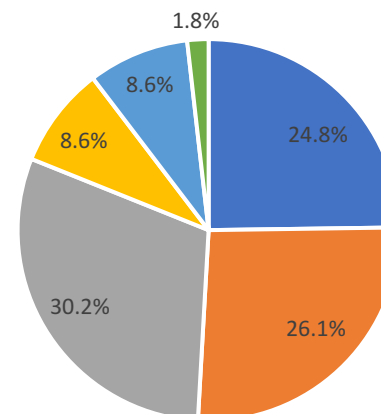
■ ③まち、通りの活気への満足度(N=226)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



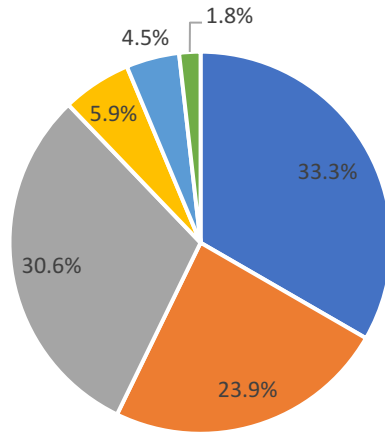
■ ④まち、通りの店舗への満足度(N=226)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



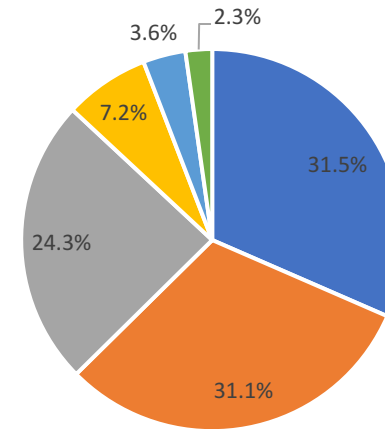
■ ⑤通りの歩きやすさへの満足度(N=226)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

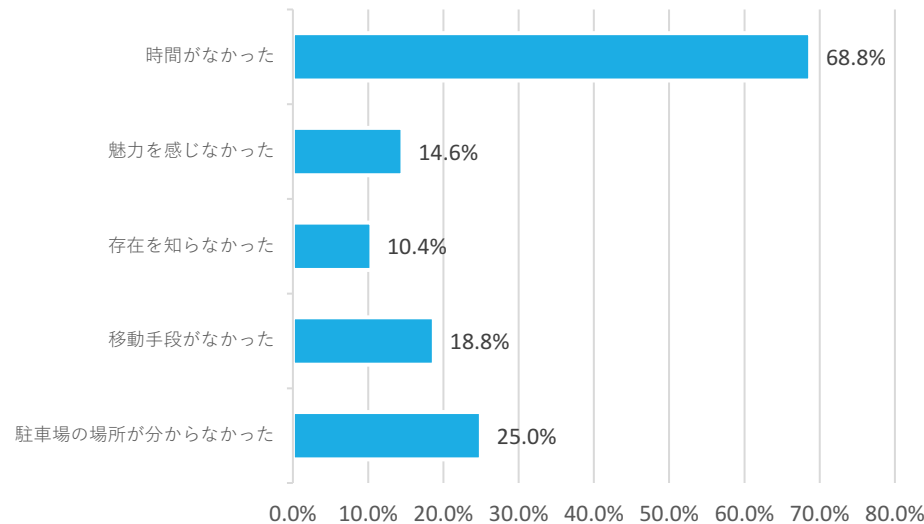


■ ⑥胡屋地区の全体の満足度(N=226)

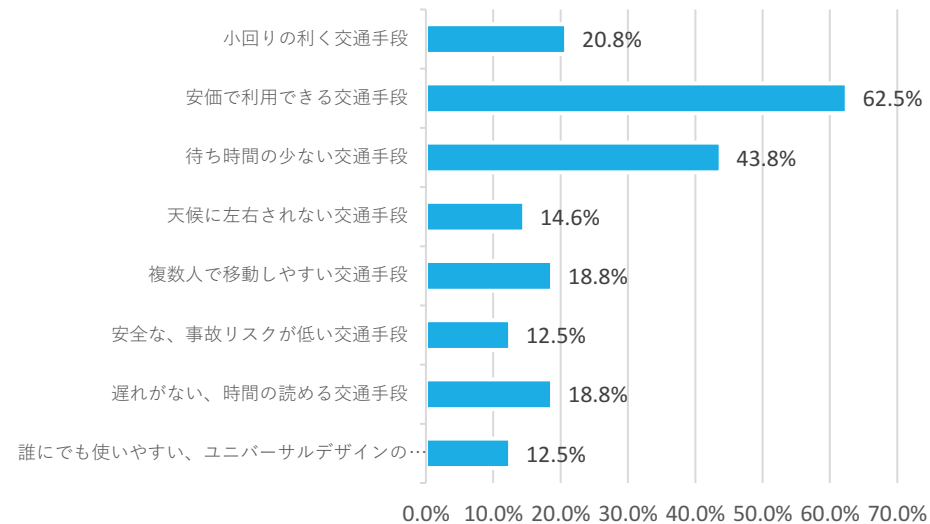
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



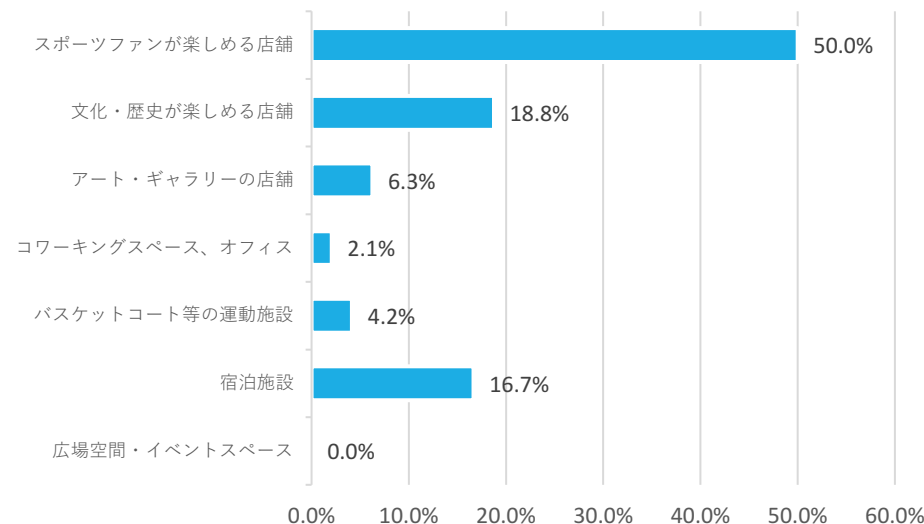
■ 胡屋に立ち寄らなかった理由(N=48)



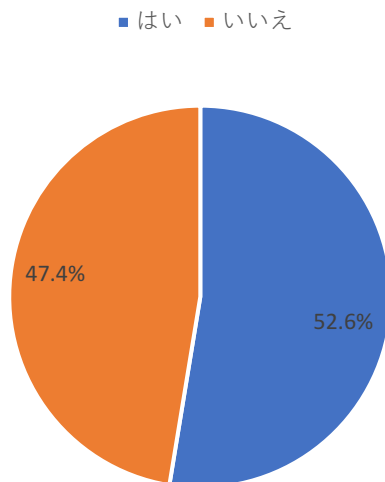
■ 立ち寄るための移動手段(N=48)



■ 立ち寄るための施設(N=48)



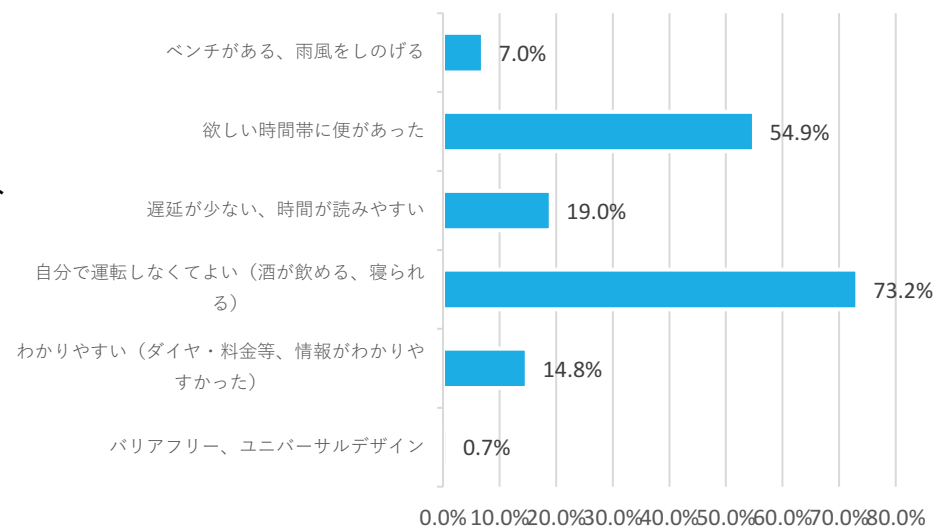
■夜間高速バスの利用(N=274)



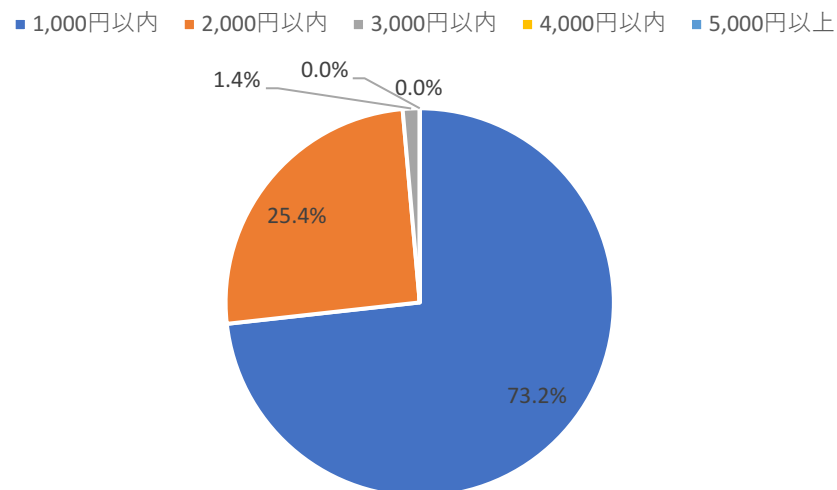
「はい」と回答した人



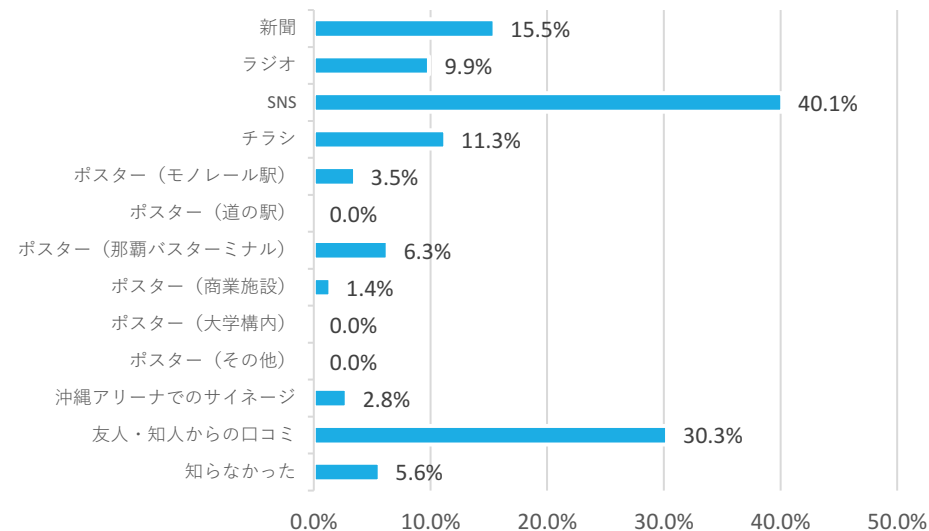
■夜間高速バスの利点(N=142)



■夜間高速バスの利用料金(N=142)

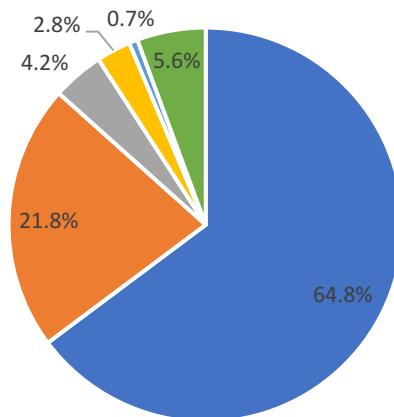


■夜間高速バスの情報収集ツール(N=226)



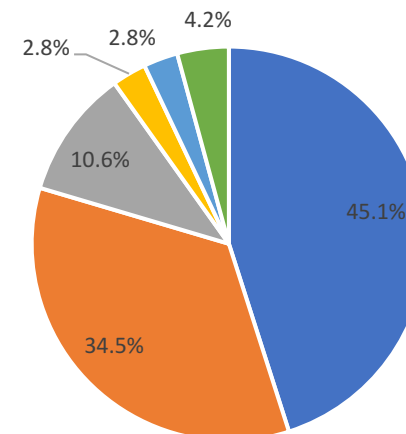
■ ①夜間バスの運行ルートへの満足度(N=142)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



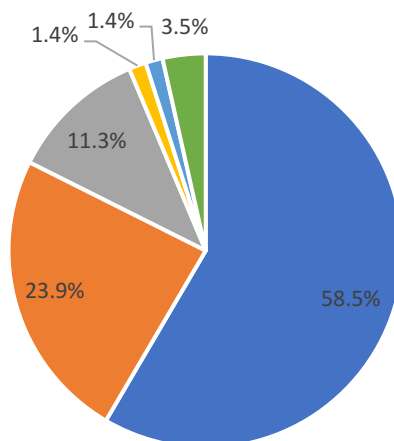
■ ②夜間バスのダイヤへの満足度(N=142)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



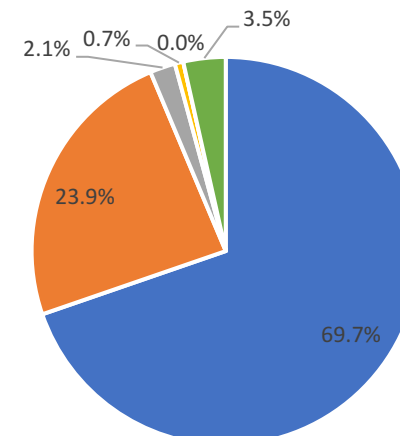
■ ③夜間バスの乗り場の満足度(N=142)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

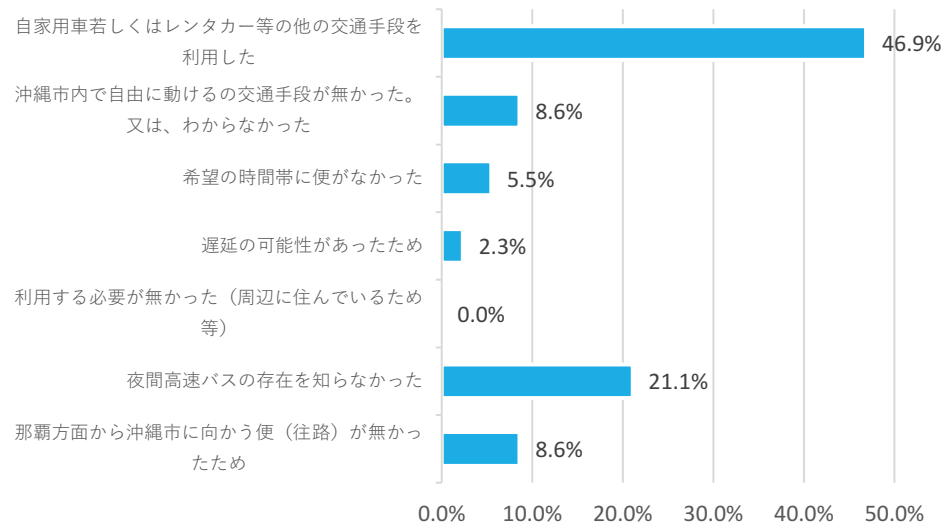


■ ④夜間バス全体に対する満足度(N=226)

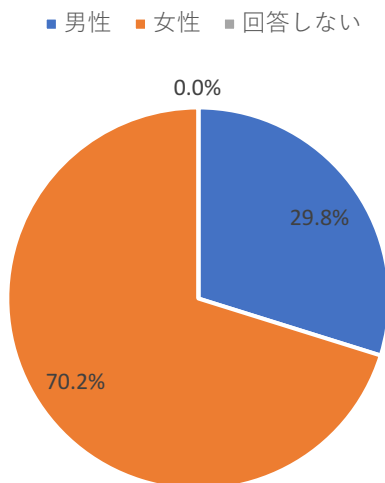
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



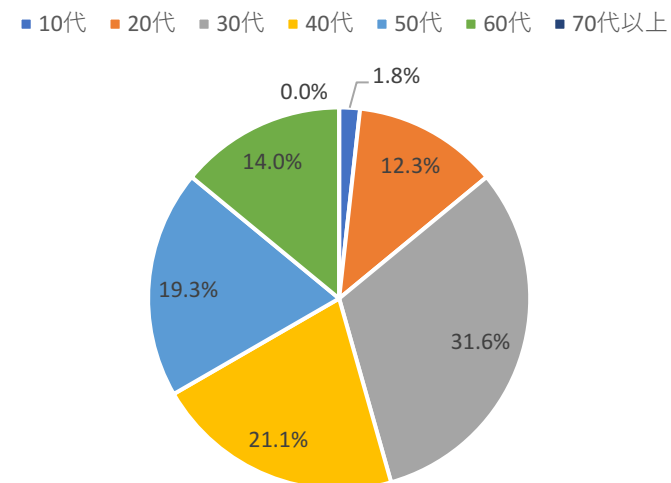
■利用しなかった理由(N=128)



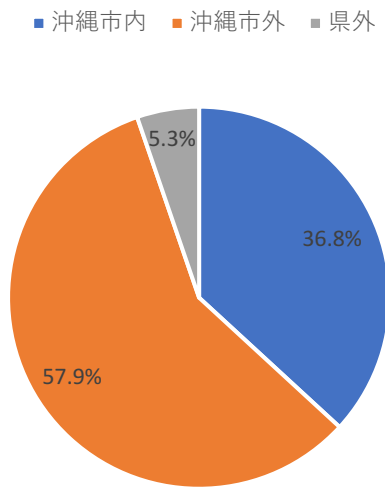
■性別(N=57)



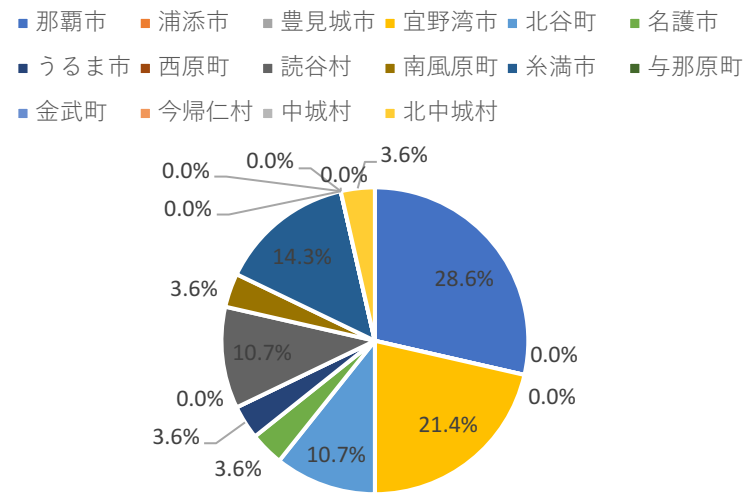
■年代(N=57)



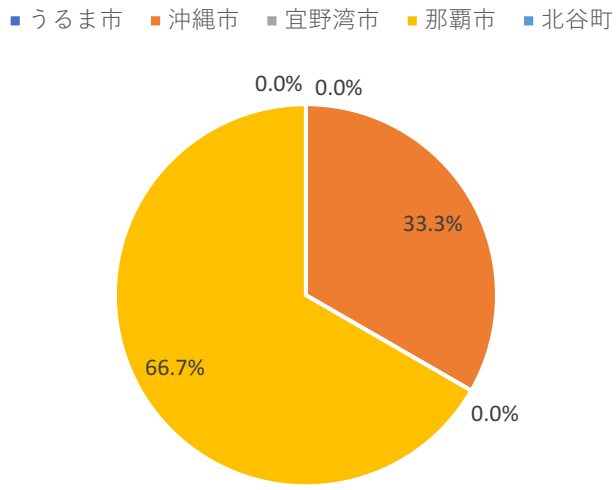
■ 来訪者の居住地(N=57)



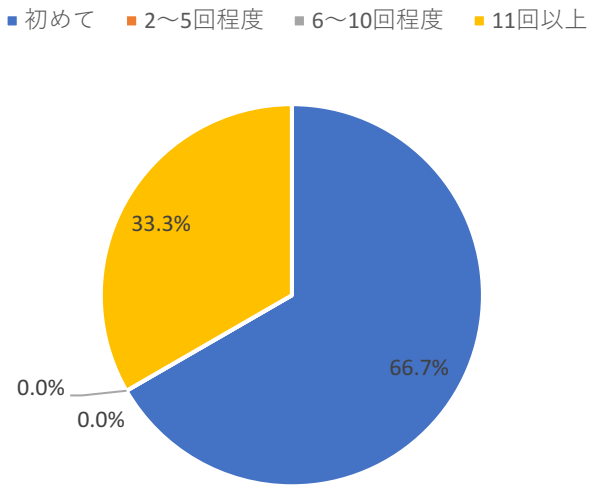
■ 沖縄市外の来訪者(N=33)



■ 県外の来訪者の宿泊先(N=3)

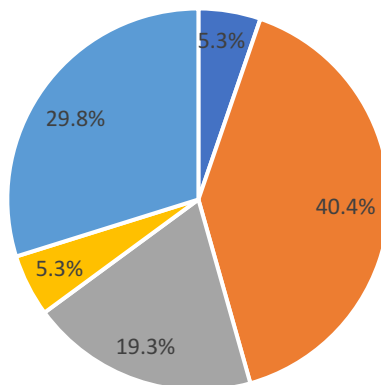


■ 沖縄本島への来訪回数(N=3)



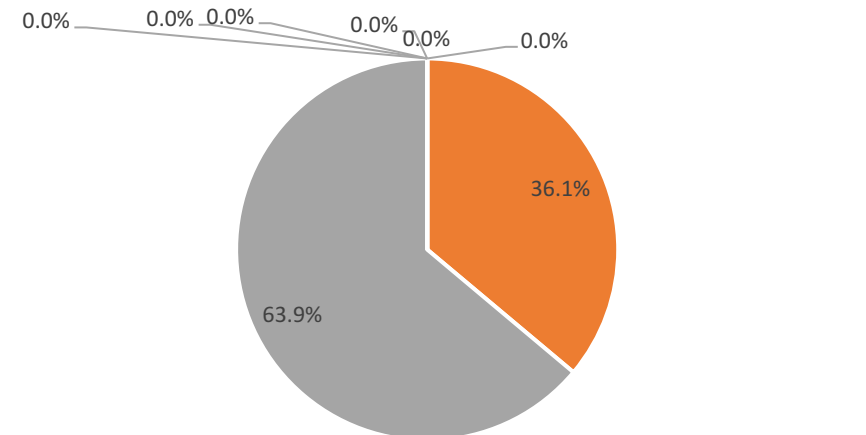
■同伴者の人数(N=57)

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上 ■ 同伴者はいない

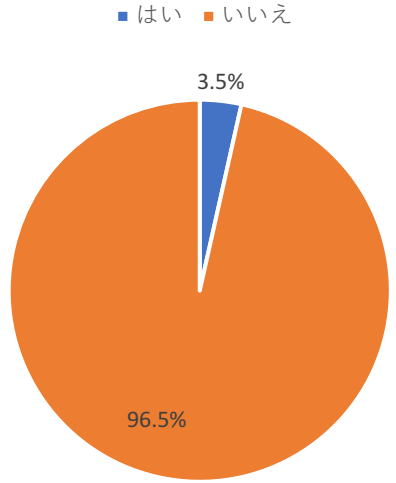


■同伴者との関係

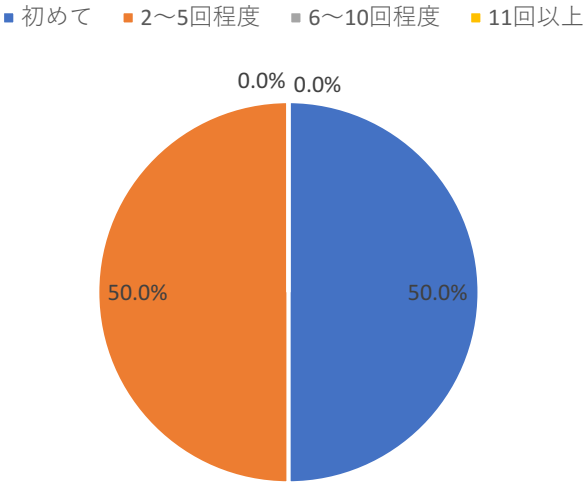
■ 同僚 ■ 友人 ■ 親・家族 ■ ひとり利用 ■ 彼女 ■ 彼氏 ■ カップル ■ 未回答



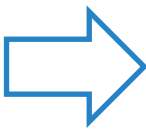
■アリーナへの来訪(N=57)



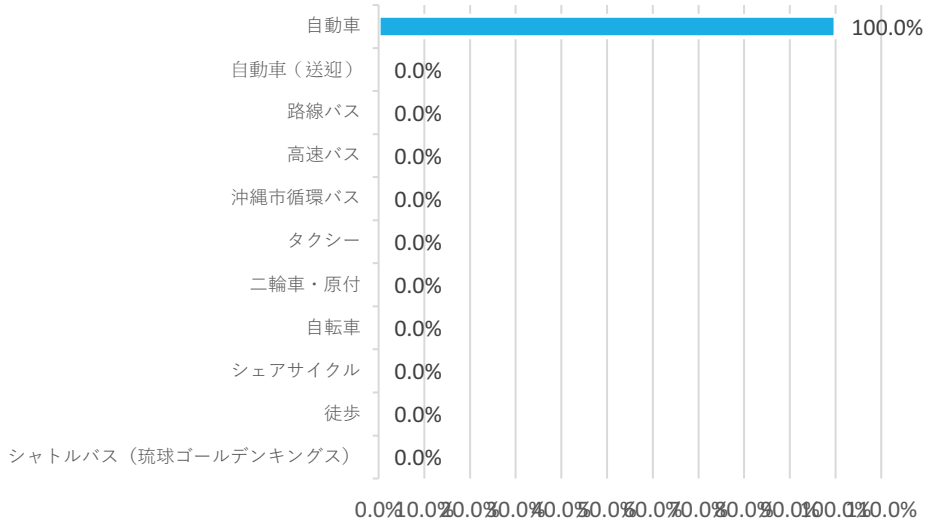
■アリーナへの来訪回数(N=2)



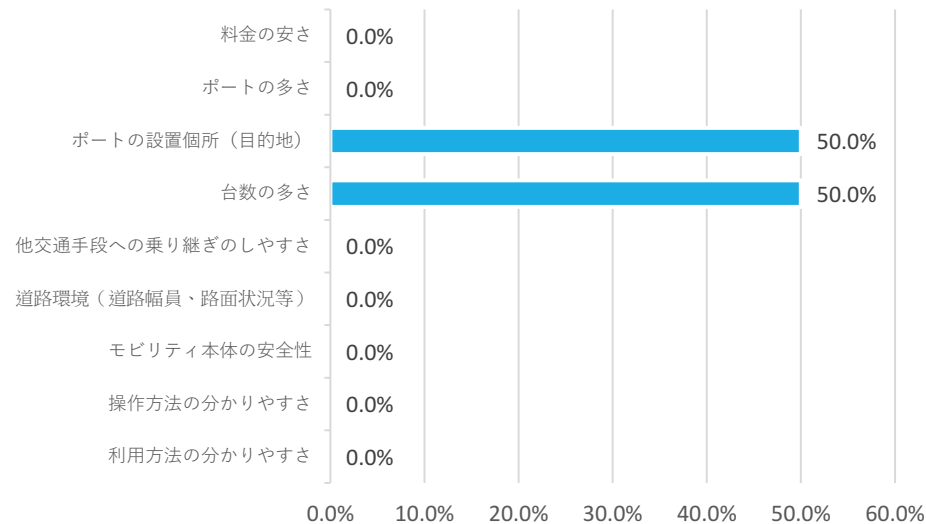
「はい」と回答した人



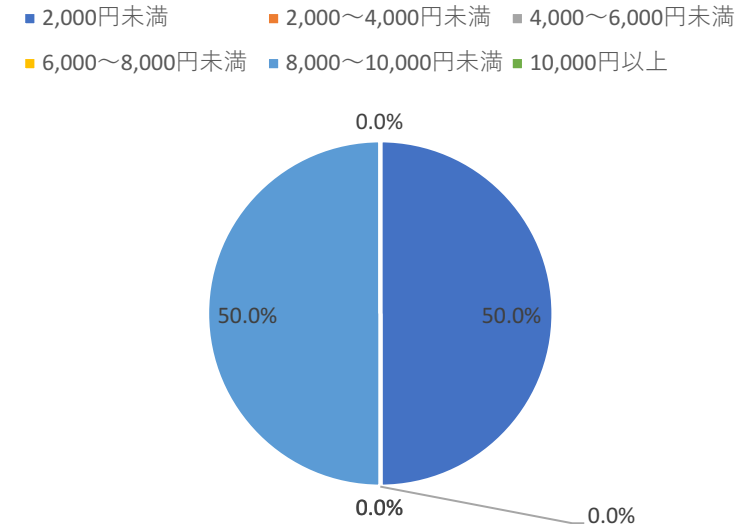
■アリーナへの移動手段(N=2)



■パーソナルモビリティで重要視すること(N=2)

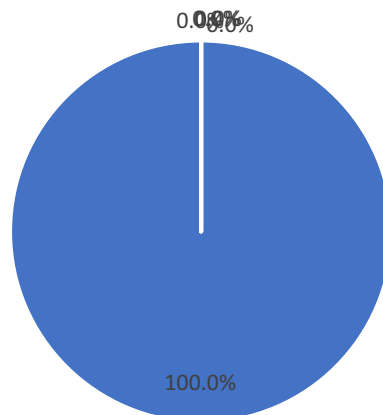


■アリーナでの消費額(N=2)

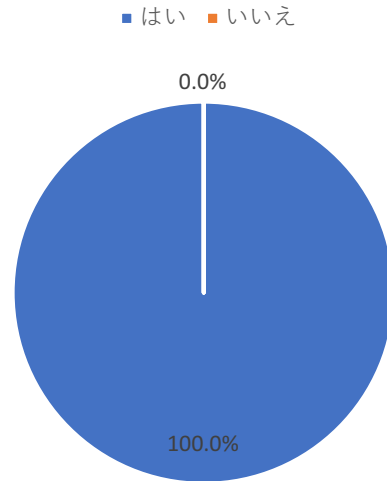


■アリーナ後の行先(N=2)

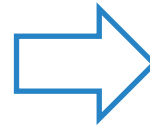
■自宅または宿泊先 ■市内(胡屋・中央地区) ■市内(その他) ■北谷 ■那覇



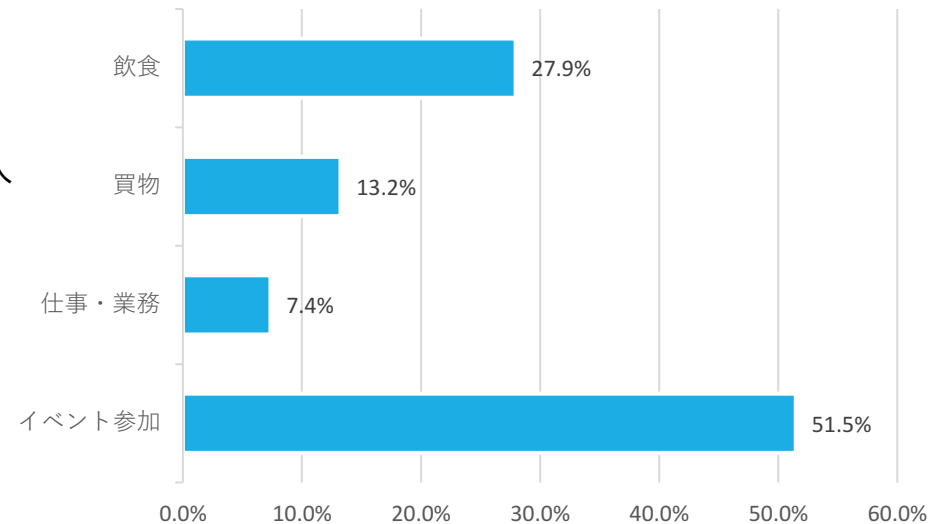
■胡屋・中央地区への来訪(N=57)



「はい」と回答した人

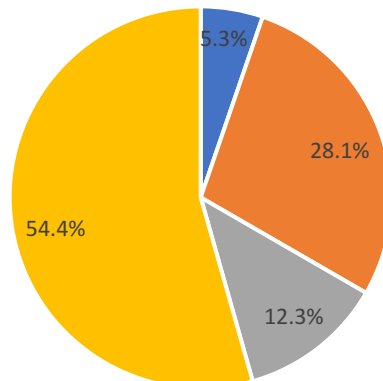


■胡屋・中央地区への来訪目的(N=57)

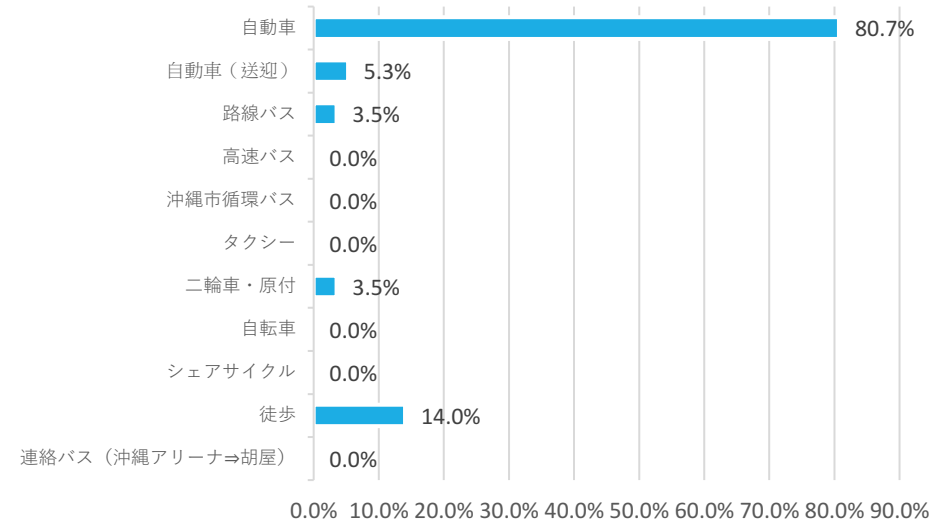


■胡屋・中央地区への来訪回数(N=57)

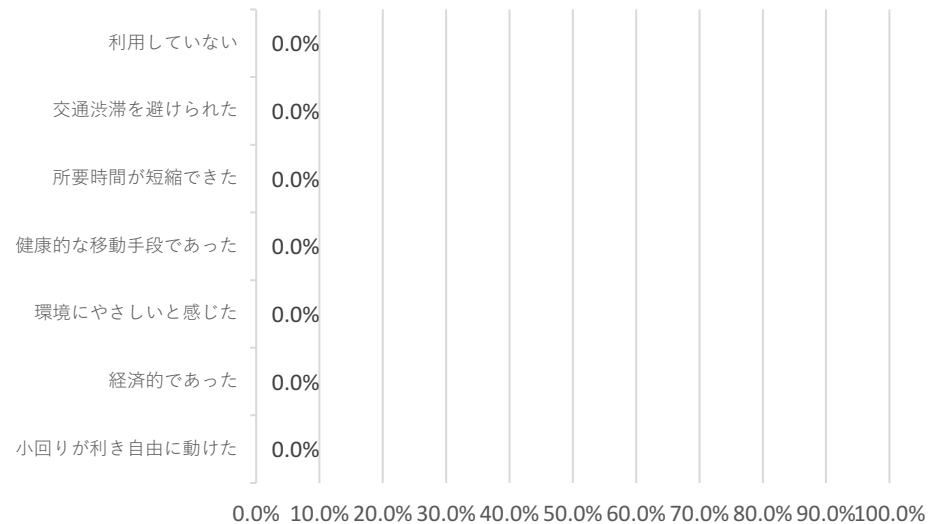
■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



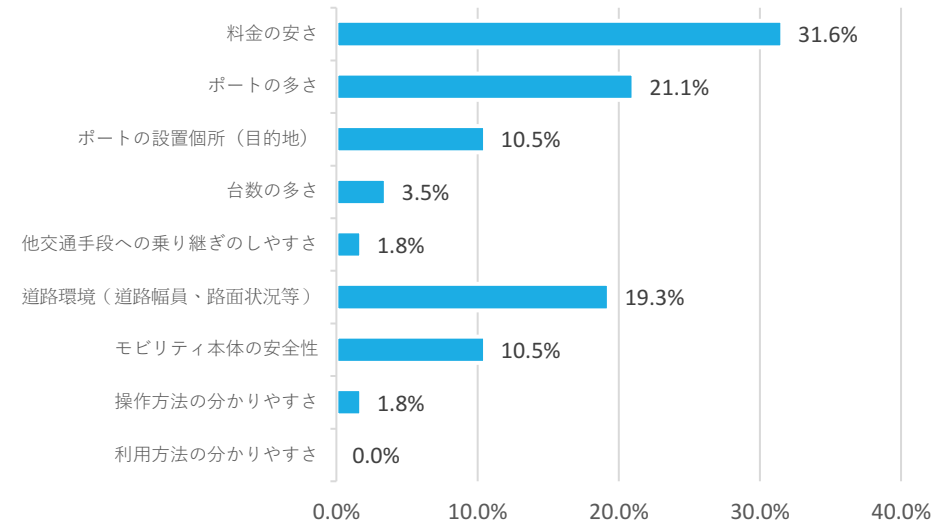
■胡屋・中央地区への来訪手段(N=57)



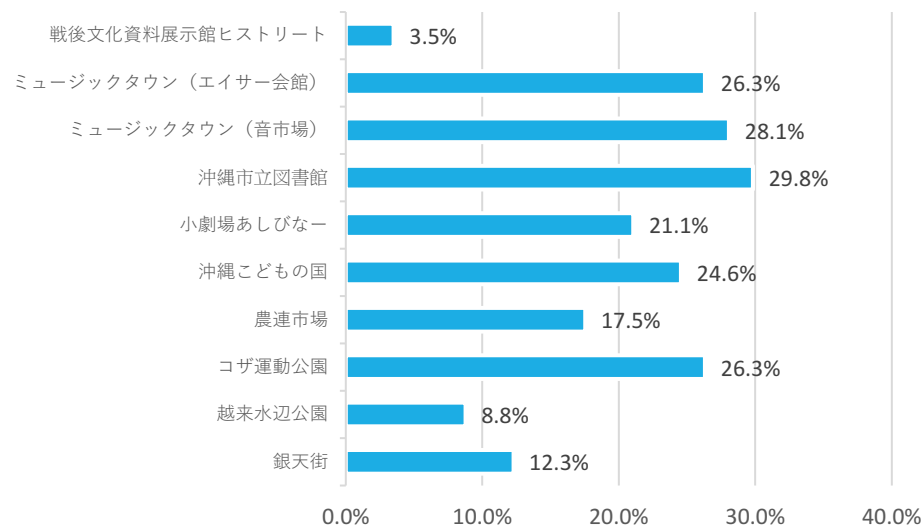
■シェアサイクルの利用(N=57)



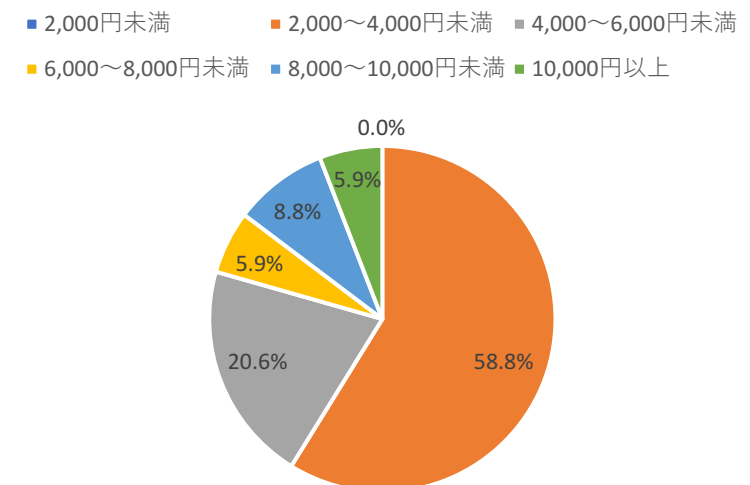
■パーソルビリティで重要視すること(N=57)



■他に訪れた施設(N=57)

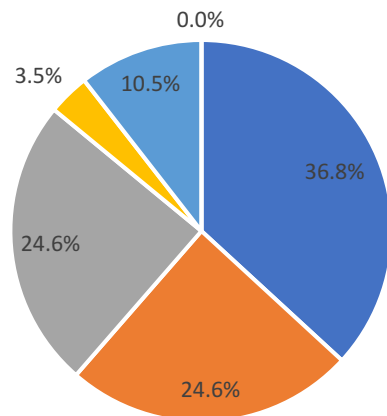


■胡屋・中央地区での消費額(N=57)



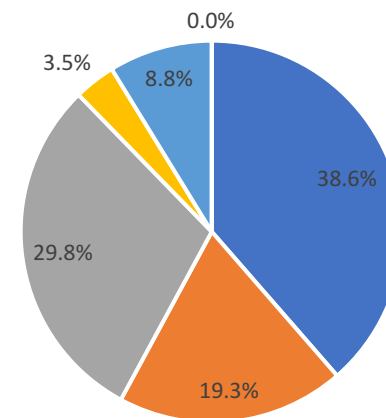
■ ①まち、通りの景観への満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



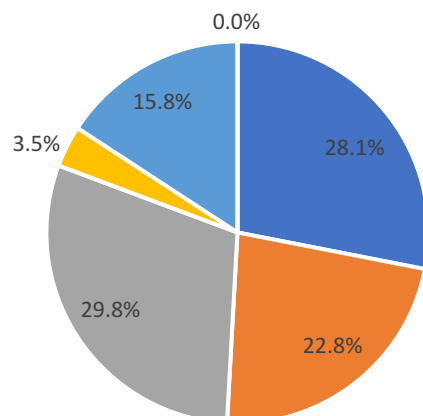
■ ②まち、通りの雰囲気への満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



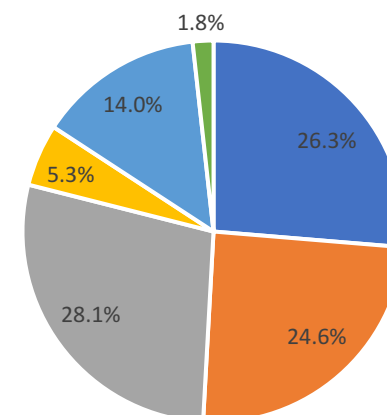
■ ③まち、通りの活気への満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



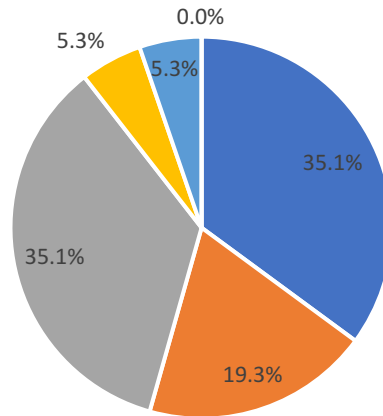
■ ④まち、通りの店舗への満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



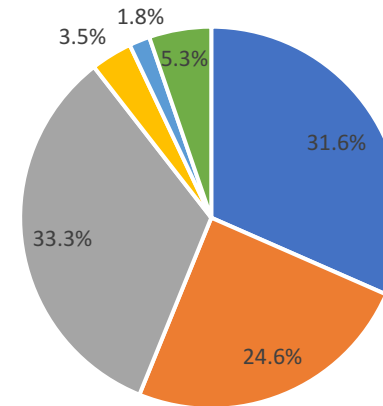
■ ⑤通りの歩きやすさへの満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



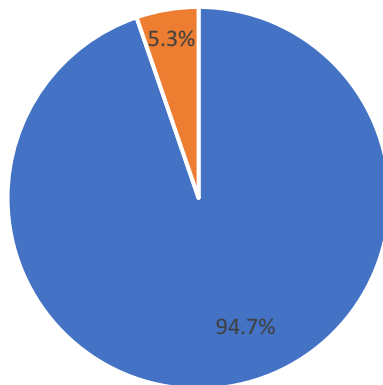
■ ⑥胡屋地区の全体の満足度(N=57)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

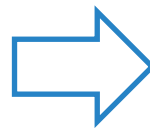


■ イベントへの参加(N=57)

■ はい ■ いいえ

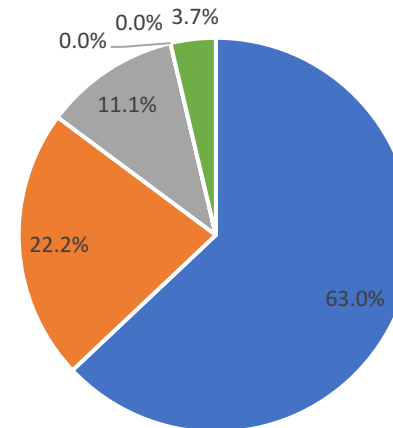


「はい」と回答した人



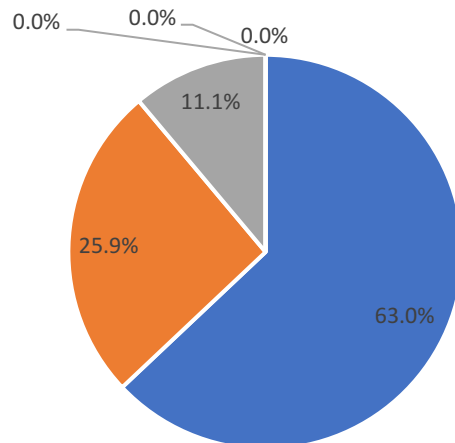
■ ①イベント等の催し物の満足度(N=54)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



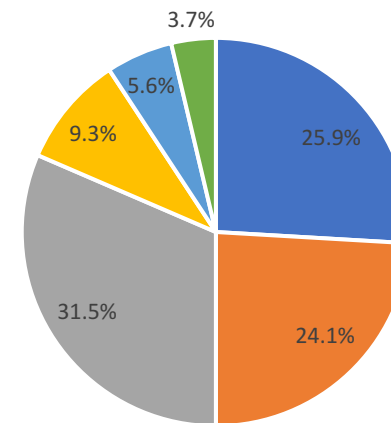
■ ②飲食のお店の満足度(N=54)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



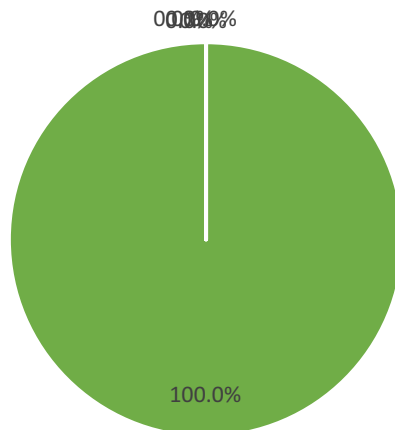
■ ③憩いの場としての満足度(N=54)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



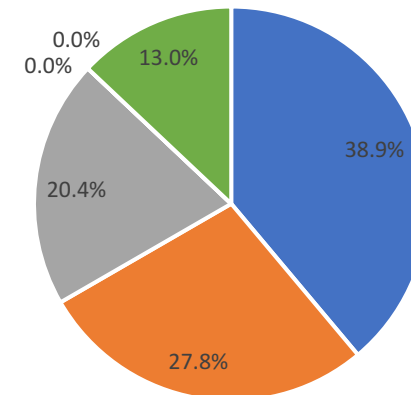
■ ④キングス商店街の満足度(N=54)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



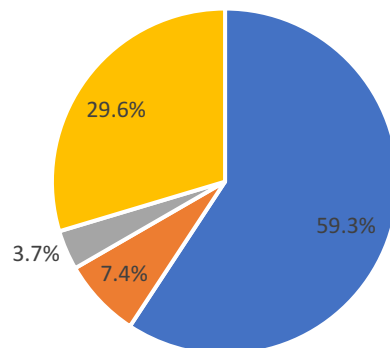
■ ⑤イベント全体の満足度(N=54)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

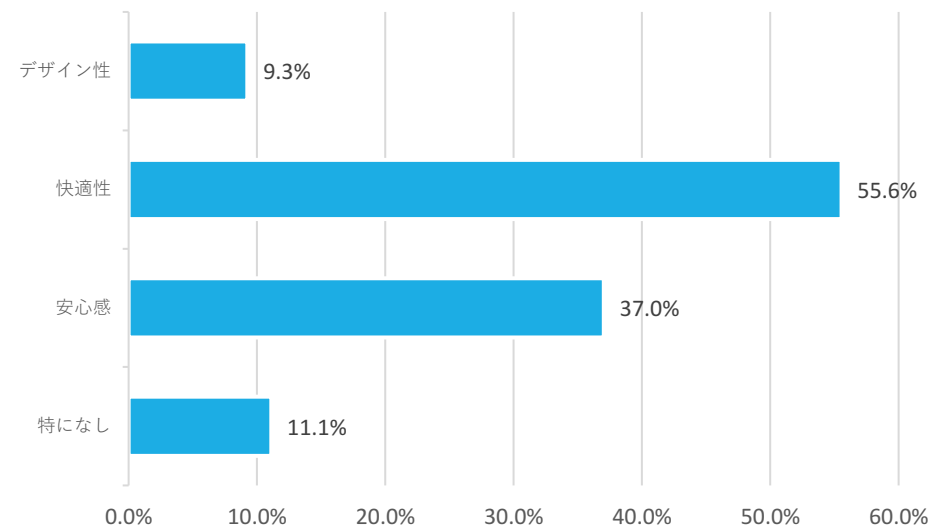


■ 憩いの場の利用(N=54)

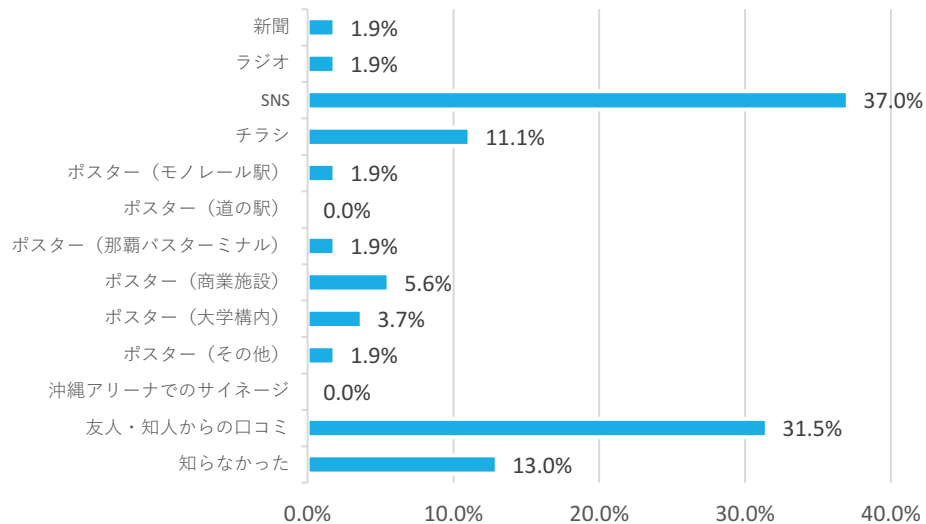
■ 利用する ■ どちらかといえば利用する ■ どちらかといえば利用しない ■ 利用しない



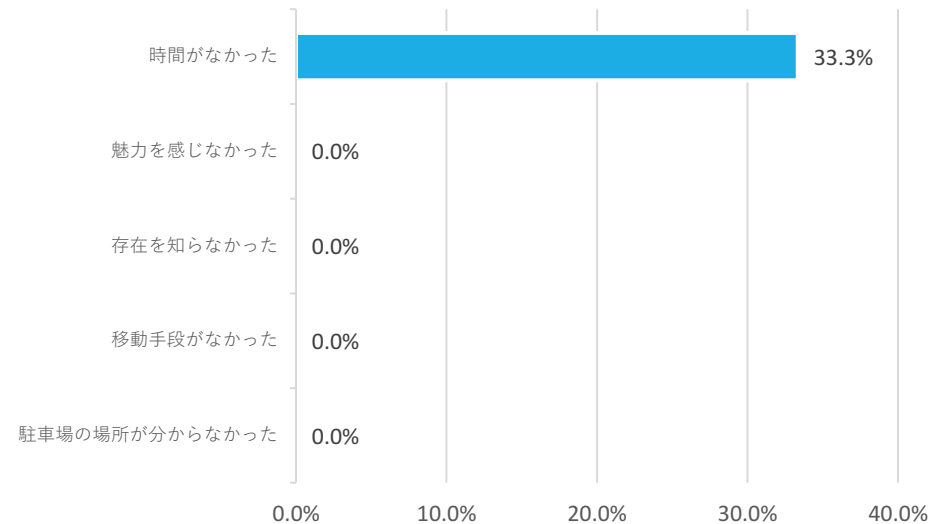
■ 憩いの場に求めるもの(N=54)



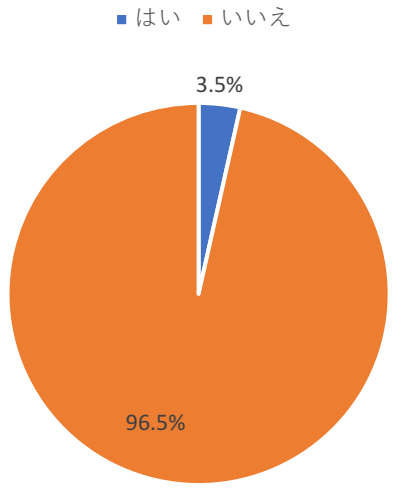
■ イベントに関する情報収集ツール(N=54)



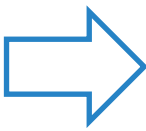
■ 参加しなかった理由(N=3)



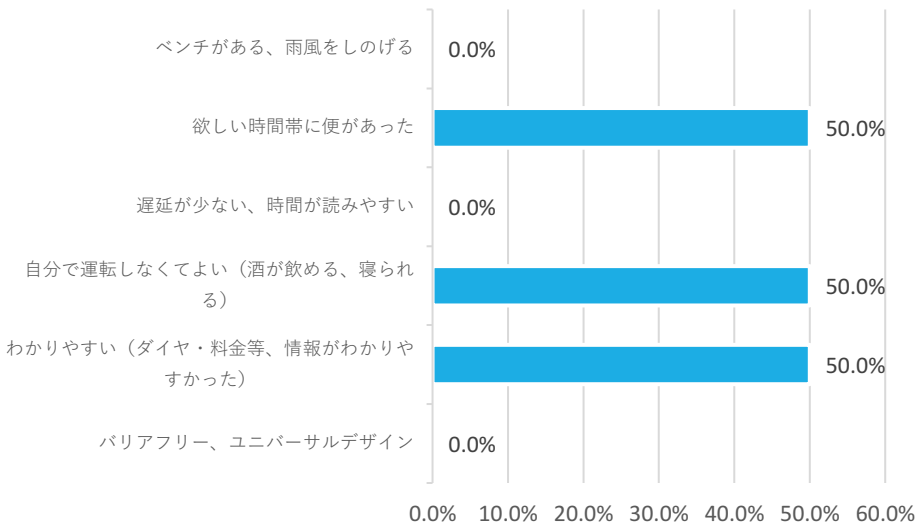
■夜間高速バスの利用(N=57)



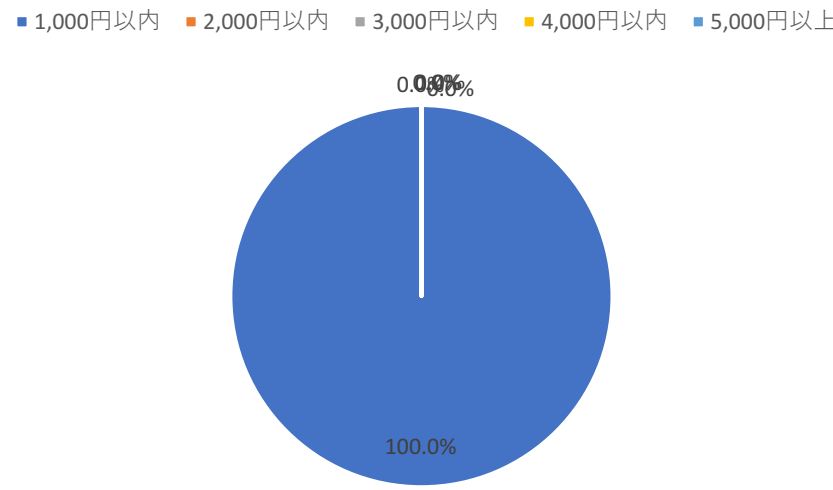
「はい」と回答した人



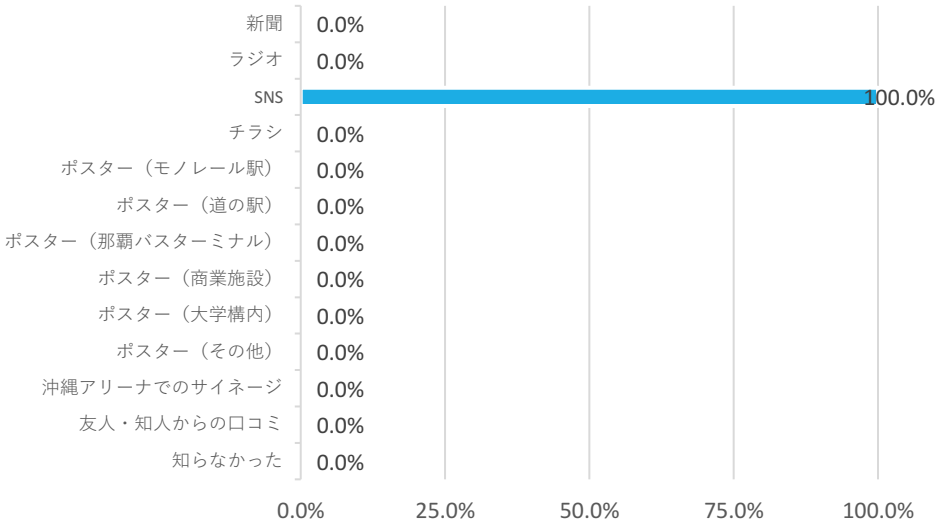
■夜間高速バスの利点(N=2)



■夜間高速バスの利用料金(N=2)

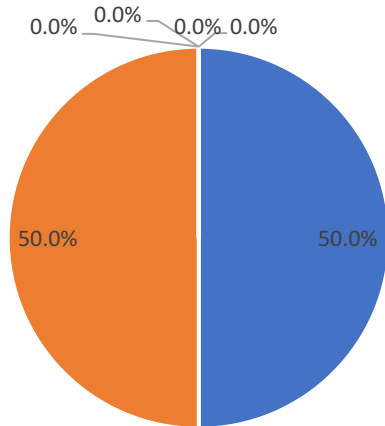


■夜間高速バスの情報収集ツール(N=2)



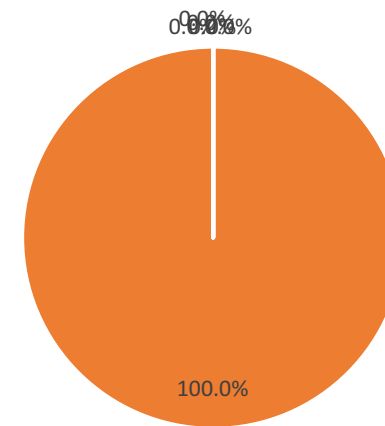
■ ①夜間バスの運行ルートへの満足度(N=2)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



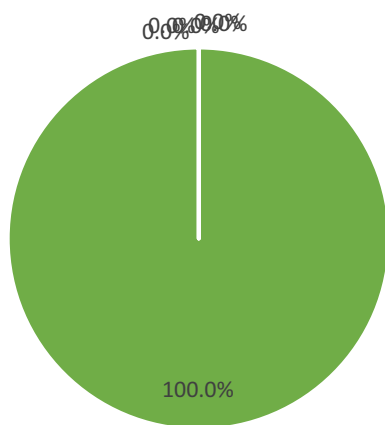
■ ②夜間バスのダイヤへの満足度(N=2)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



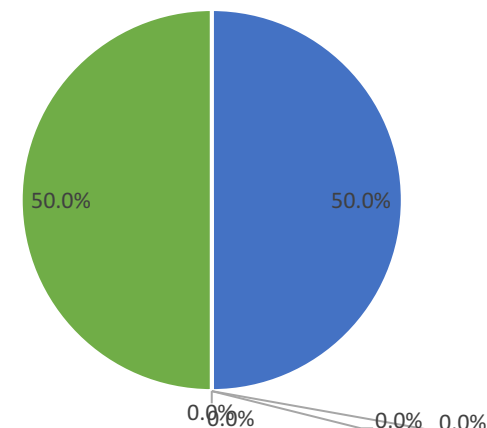
■ ③夜間バスの乗り場の満足度(N=2)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

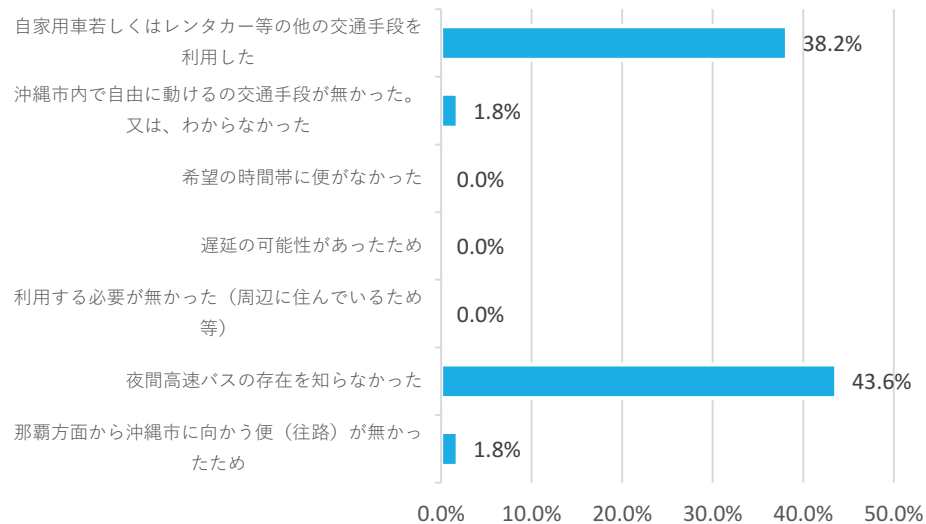


■ ④夜間バス全体に対する満足度(N=2)

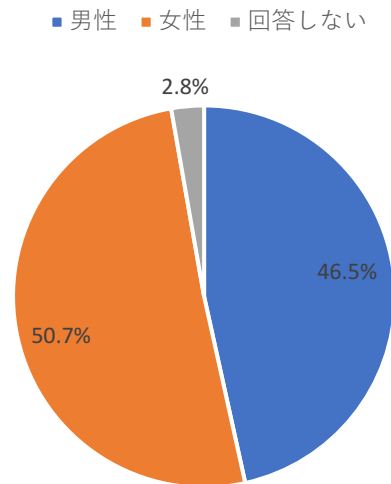
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



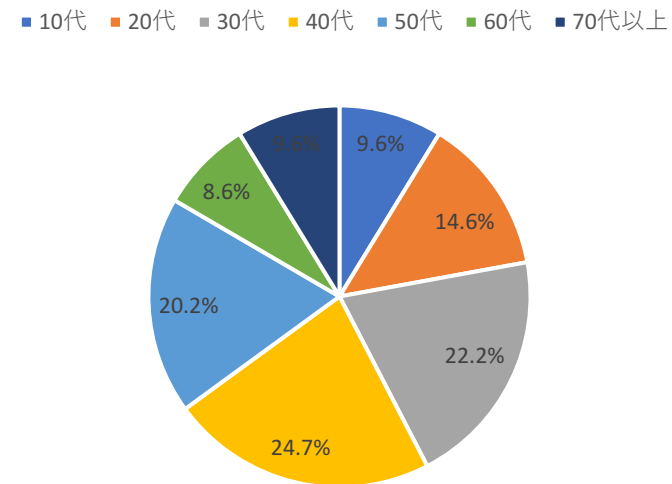
■利用しなかった理由(N=55)



■性別(N=217)

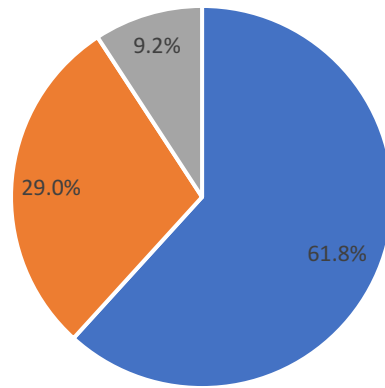


■年代(N=217)



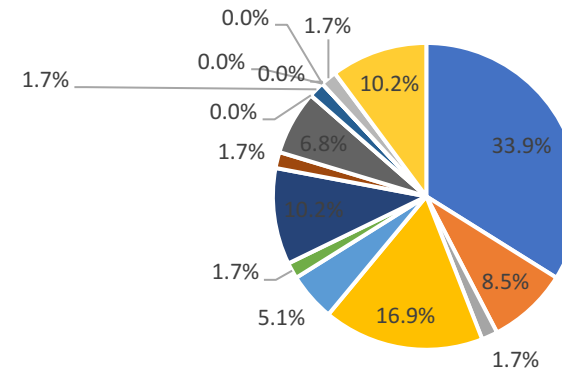
■来訪者の居住地(N=217)

■ 沖縄市内 ■ 沖縄市外 ■ 県外



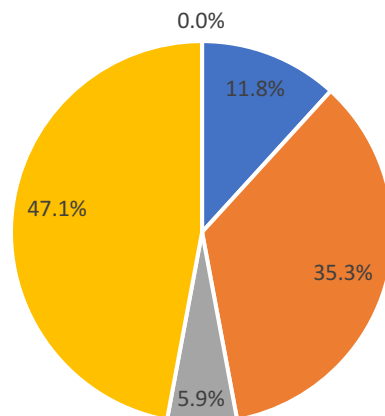
■沖縄市外の来訪者(N=63)

■ 那覇市 ■ 浦添市 ■ 豊見城市 ■ 宜野湾市 ■ 北谷町 ■ 名護市
 ■ うるま市 ■ 西原町 ■ 読谷村 ■ 南風原町 ■ 糸満市 ■ 与那原町
 ■ 金武町 ■ 今帰仁村 ■ 中城村 ■ 北中城村



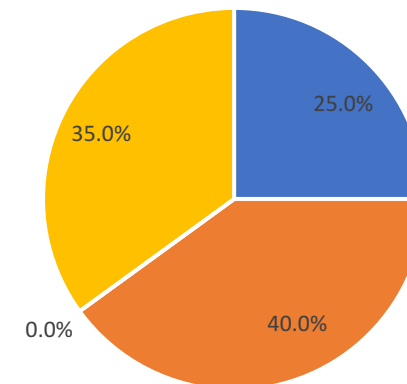
■県外の来訪者の宿泊先(N=20)

■ うるま市 ■ 沖縄市 ■ 宜野湾市 ■ 那覇市 ■ 北谷町



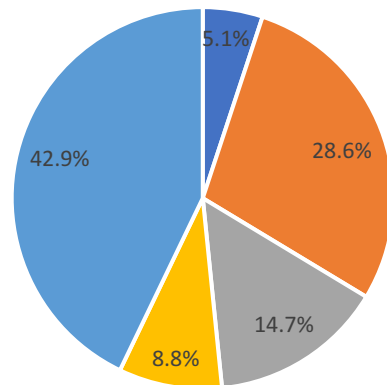
■沖縄本島への来訪回数(N=20)

■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



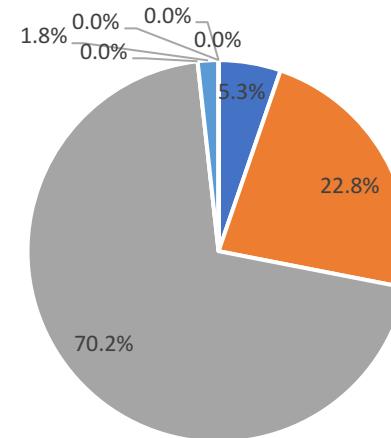
■同伴者の人数(N=217)

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上 ■ 同伴者はいない

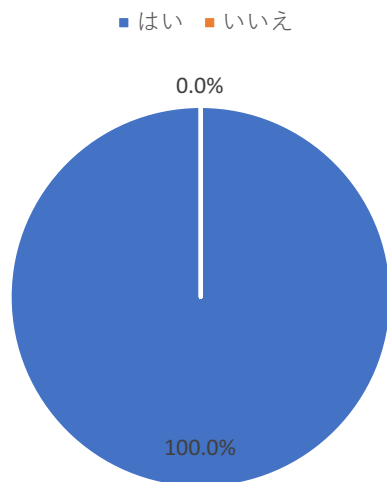


■同伴者との関係

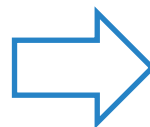
■ 同僚 ■ 友人 ■ 親・家族 ■ ひとり利用 ■ 彼女 ■ 彼氏 ■ カップル ■ 未回答



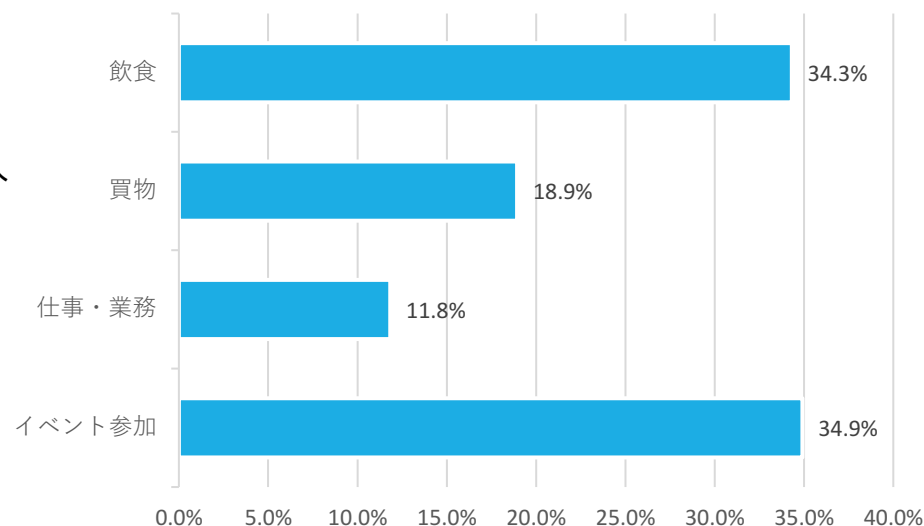
■胡屋・中央地区への来訪(N=217)



「はい」と回答した人

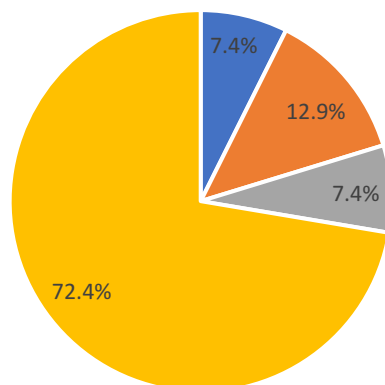


■胡屋・中央地区への来訪目的(N=217)

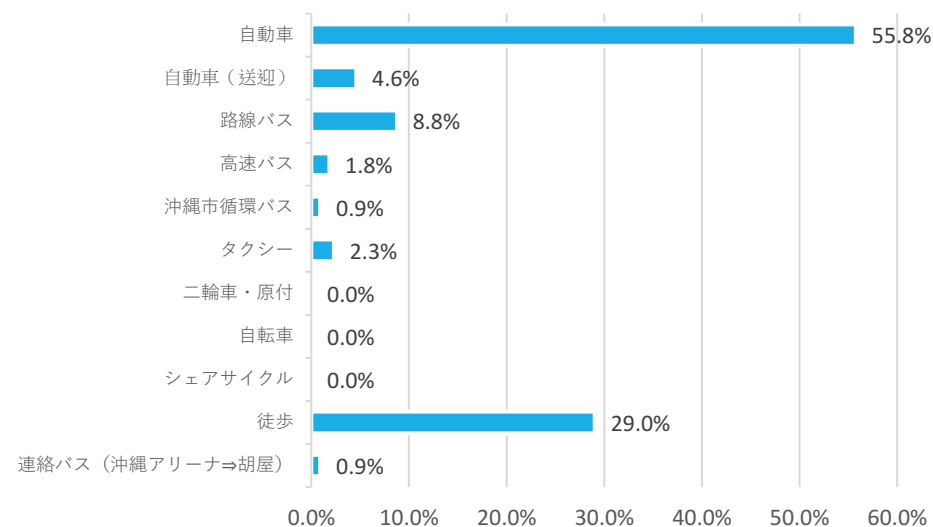


■胡屋・中央地区への来訪回数(N=217)

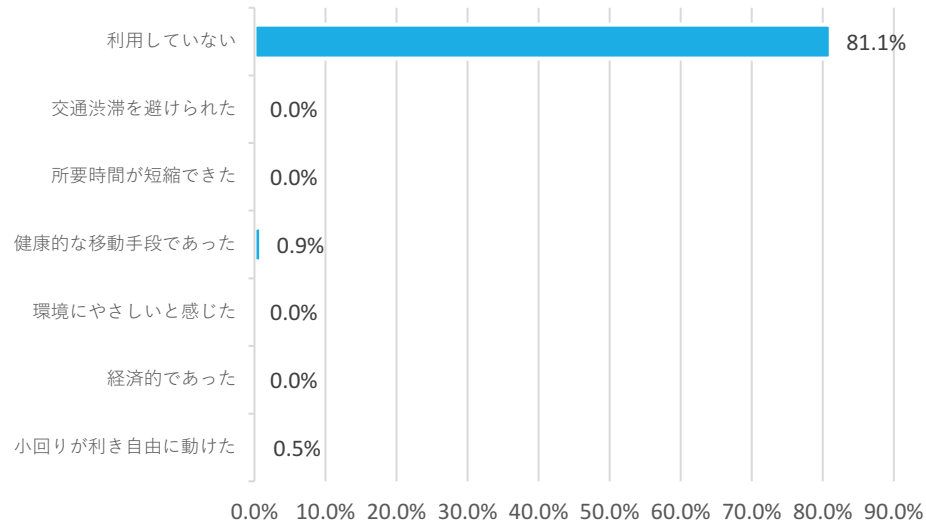
■ 初めて ■ 2～5回程度 ■ 6～10回程度 ■ 11回以上



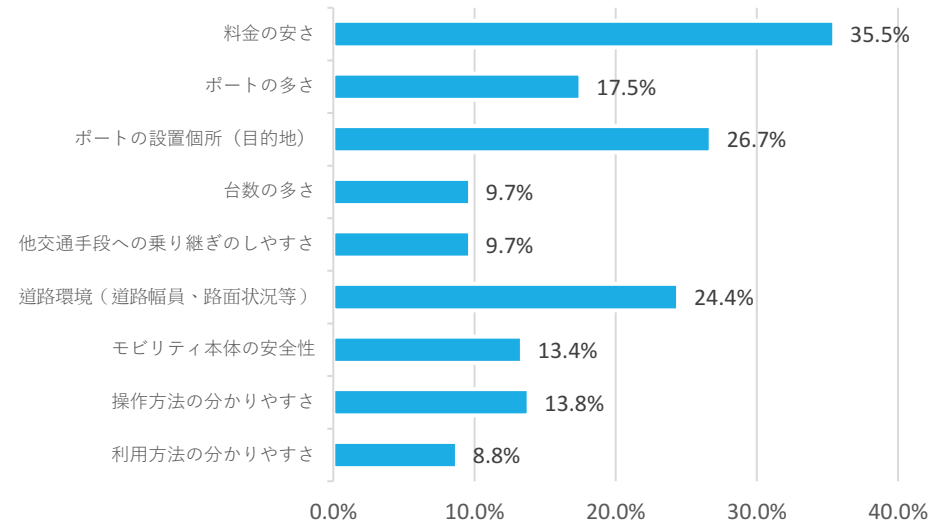
■胡屋・中央地区への来訪手段(N=217)



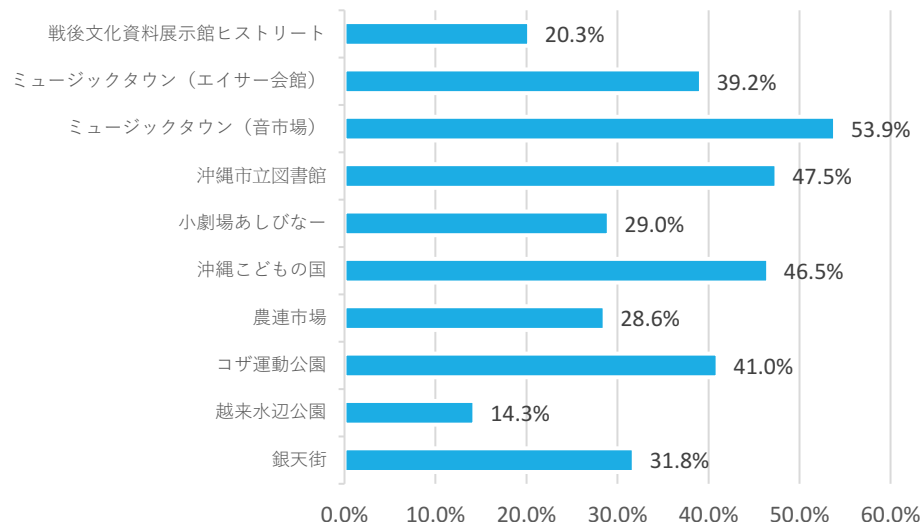
■シェアサイクルの利用(N=217)



■パーソナルモビリティで重要視すること(N=217)

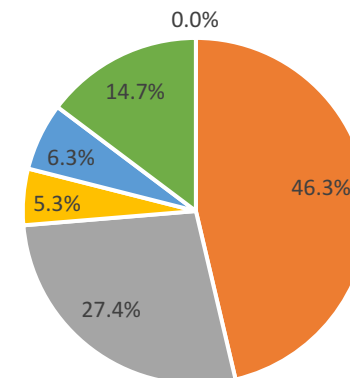


■他に訪れた施設(N=217)



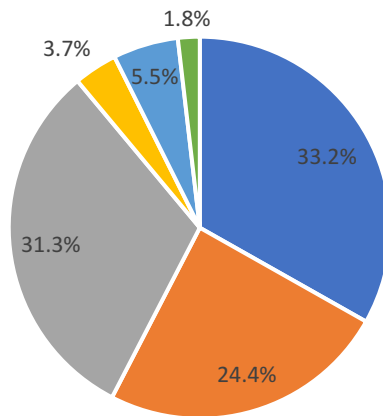
■胡屋・中央地区での消費額(N=217)

■ 2,000円未満 ■ 2,000～4,000円未満 ■ 4,000～6,000円未満
■ 6,000～8,000円未満 ■ 8,000～10,000円未満 ■ 10,000円以上



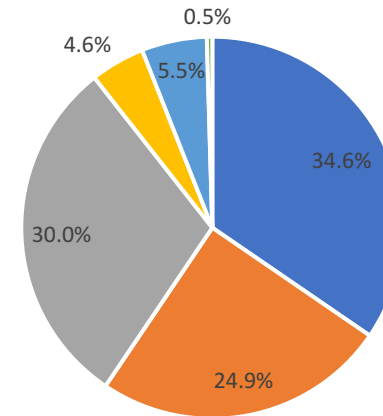
■ ①まち、通りの景観への満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



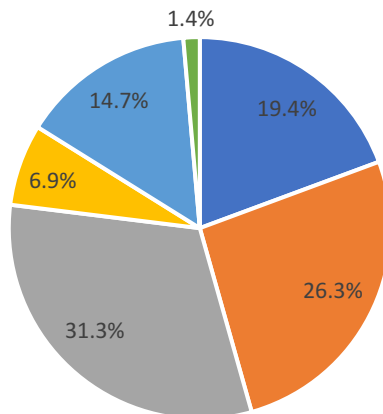
■ ②まち、通りの雰囲気への満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



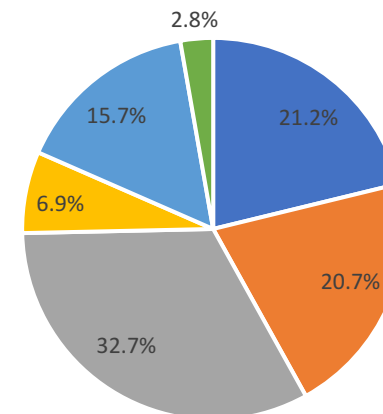
■ ③まち、通りの活気への満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



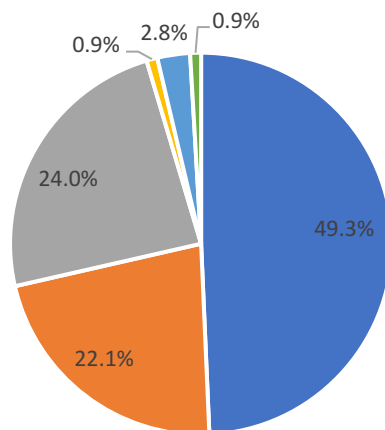
■ ④まち、通りの店舗への満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



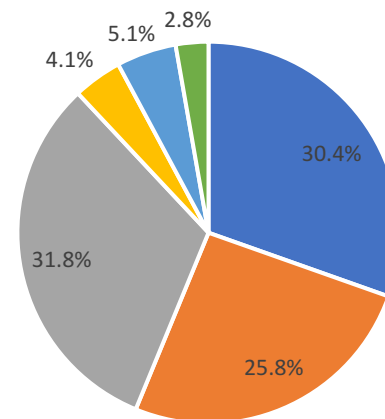
■ ⑤通りの歩きやすさへの満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



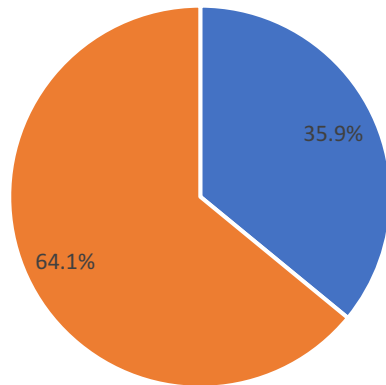
■ ⑥胡屋地区の全体の満足度(N=217)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

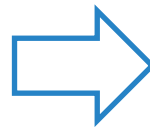


■ イベントへの参加(N=217)

■ はい ■ いいえ

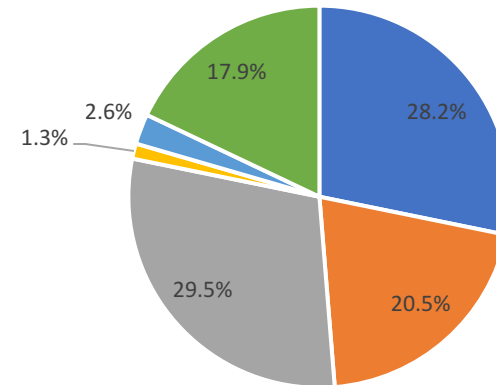


「はい」と回答した人



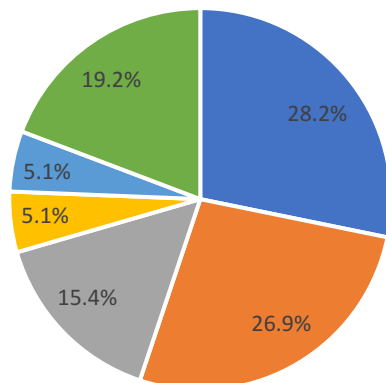
■ ① イベント等の催し物の満足度(N=78)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



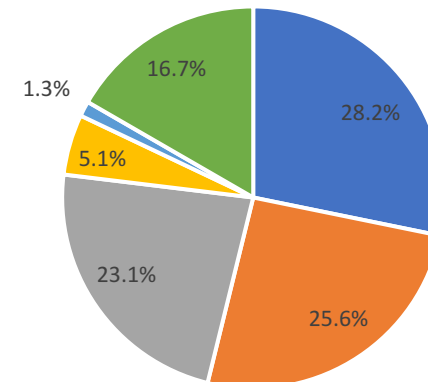
■ ② 飲食のお店の満足度(N=78)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



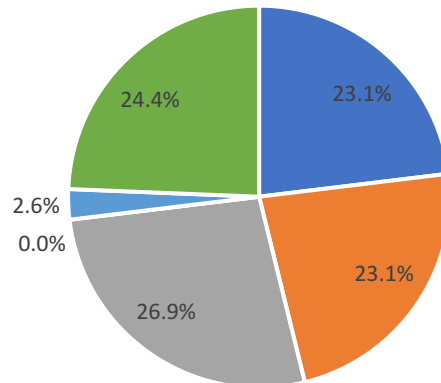
■ ③ 憩いの場としての満足度(N=78)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



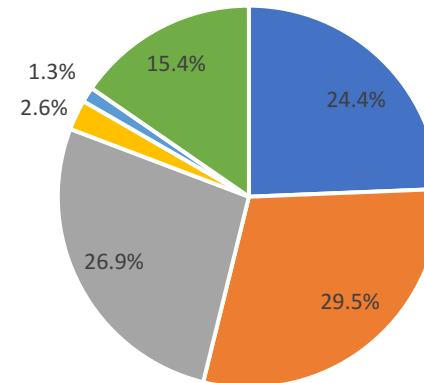
■ ④キングス商店街の満足度(N=78)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない



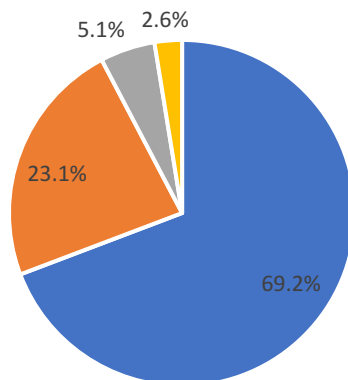
■ ⑤イベント全体の満足度(N=78)

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ 不満 ■ わからない

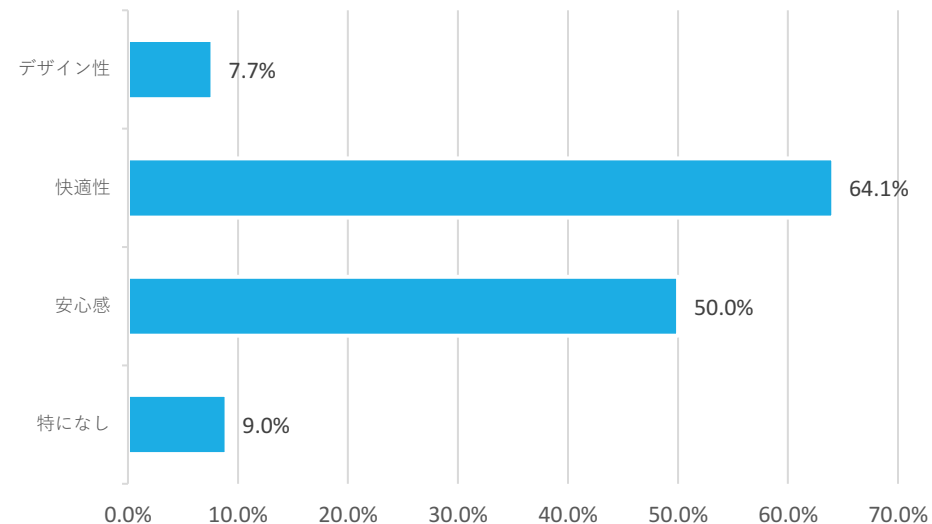


■ 憩いの場の利用(N=78)

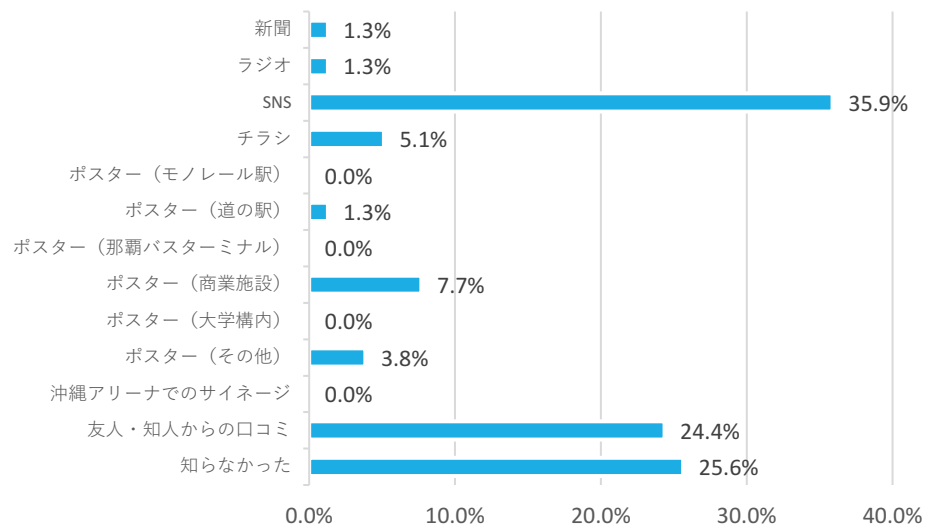
■ 利用する ■ どちらかといえば利用する ■ どちらかといえば利用しない ■ 利用しない



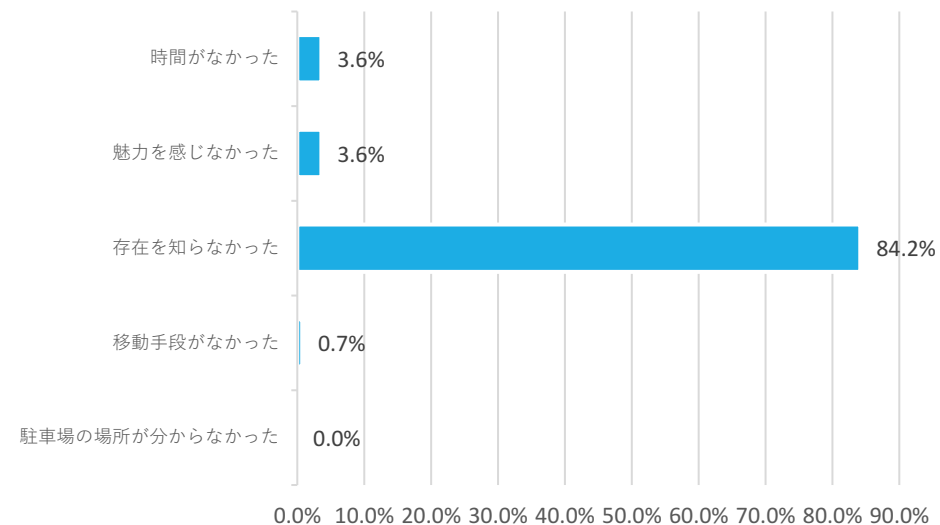
■ 憩いの場に求めるもの(N=78)



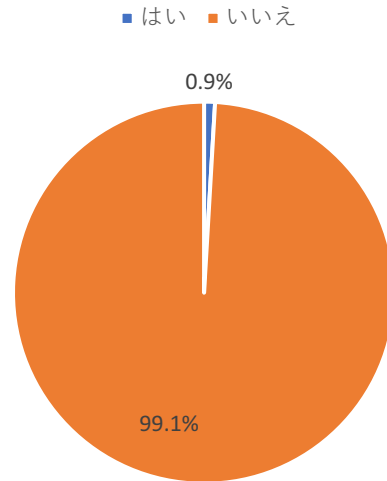
■ イベントに関する情報収集ツール(N=78)



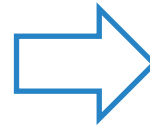
■ 参加しなかった理由(N=128)



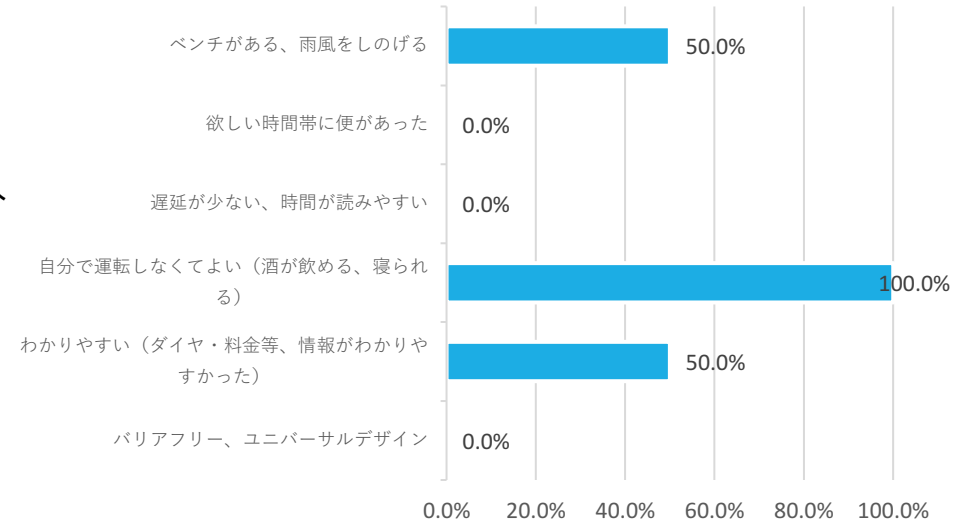
■夜間高速バスの利用(N=217)



「はい」と回答した人

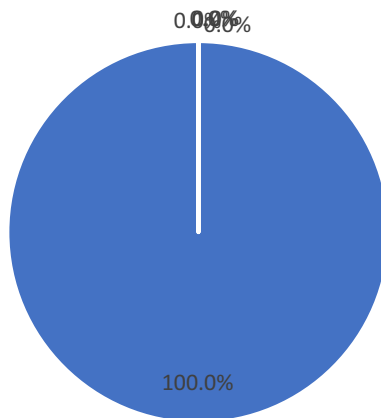


■夜間高速バスの利点(N=2)

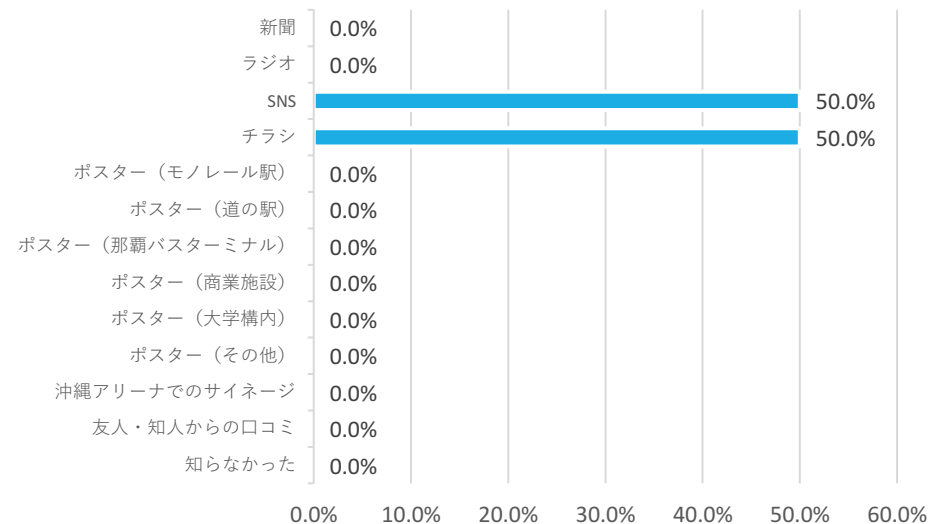


■夜間高速バスの利用料金(N=2)

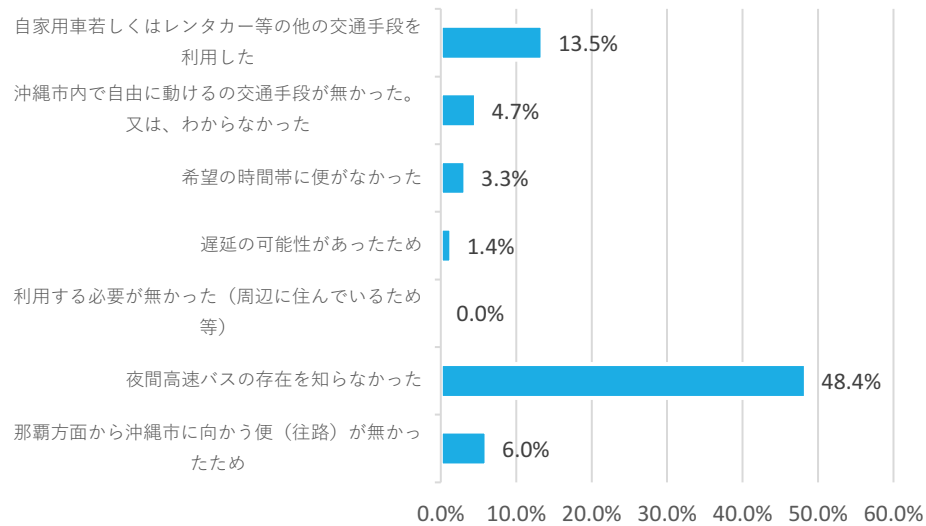
■ 1,000円以内 ■ 2,000円以内 ■ 3,000円以内 ■ 4,000円以内 ■ 5,000円以上



■夜間高速バスの情報収集ツール(N=2)



■利用しなかった理由(N=215)



■ シェアサイクルの満足度(N=496)

■ とても満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ とても不満

